消　防　概　要

令 和 4 年 版

『いせ咲く。』 ～共に歩む 未来創生都市～

伊 勢 崎 市 消 防 本 部

は　じ　め　に

この概要は、令和３年及び令和４年４月１日現在における伊勢崎市消防本部管内の現勢と消防諸般の事項を収録し、当消防本部の実態を広く紹介するとともに、今後の消防行政の合理的な運営に資するために編集したものです。

本書をご高覧いただき、消防行政に対するご理解をいただくとともに、防災思想の高揚を図るためご活用いただければ幸いに存じます。

令和４年７月

伊勢崎市消防本部

令和３年1月～12月 管内で発生した災害件数

火　災	84件
救　急	11,184件
救　助	114件

目　　次

◇ 一般概要

位置と地勢 …… 1
管内の面積・人口・世帯数 …… 1
消防の沿革 …… 2
消防署配置図 …… 12
消防の組織 …… 13
庁舎の位置・概要 …… 14
歴代の消防長 …… 15

◇ 総　務

職員の配置状況 …… 16
職員の階級別年齢状況 …… 17
職員の階級別勤続状況 …… 18
教育訓練・研修等実施状況 …… 19
職員特殊技能資格取得表 …… 21
令和３年度職場衛生管理状況 …… 21
令和４年度一般会計当初予算 …… 22
令和４年度消防費予算額 …… 23
予算と人口、世帯数との比較（過去５年間） …… 23
伊勢崎市消防費決算額（過去５年間） …… 23

◇ 予　防

〈査察対象物〉 …… 24
査察対象物の現況 …… 25
中高層建築物棟数（４階以上） …… 26
査察対象物の立入検査状況 …… 27
各種届出等の状況 …… 28
〈建築・設備〉 …… 29
建築同意事務処理の推移 …… 29
計画通知事務処理の推移 …… 29
建築通知事務処理の推移 …… 29
月別建築同意件数 …… 30
査察対象物の検査状況 …… 31
消防用設備等の検査状況 …… 32
防火対象物定期点検及び防災管理 …… 32
〈危険物施設〉 …… 33
危険物製造所等の設置状況 …… 34
危険物製造所等許可・検査・届出等の件数 …… 35
危険物製造所等施設数及び事業所数の推移 …… 36

◇ 警　防

〈消防救助〉

消防隊出動状況 …… 37
高速自動車国道等出動状況（救急・火災・救助・支援出動） …… 38
火薬類（煙火）消費許可 …… 39
水防関係・水防訓練 …… 40
水防倉庫資器材備蓄一覧表 …… 41
応援協定 …… 42
救助活動概要 …… 45
救助活動の推移（過去10年間） …… 45
事故種別救助活動状況 …… 46
事故種別発生場所別出動件数 …… 46

〈指揮調査〉

火災の概況
指揮活動・指揮隊出動内訳 …… 47
火災の状況（令和２年・令和３年比較） …… 48
市町別出火状況 …… 49
火災状況の推移・火災件数の推移 …… 50
火災件数（建物・車両・その他の火災の推移） …… 51
出火原因 …… 53
火災による死傷者 …… 55
署・分署別火災発生状況 …… 56

〈装備・施設〉

消防車両等現有配置状況 …… 57
消防車両一覧表 …… 58
装備品一覧表 …… 61
消防水利施設現況・年度別新設消火栓現況・消防水利整備事業 …… 63

◇ 救　急

救急概要 …… 64
救急出動件数の推移 …… 64
市町別救急出動件数の推移（過去10年間） …… 65
救急活動概要 …… 66
救急隊別出動状況 …… 66
発生市町別救急出動件数 …… 67
発生市町別救急搬送人員 …… 67
現場到着までの所要時間 …… 68
病院収容までの所要時間 …… 68
月別救急出動件数 …… 68
曜日別救急出動件数 …… 68
時間別救急出動件数 …… 69
救急隊員の行った応急処置件数 …… 69
事故種別年齢区分別搬送人員 …… 70
急病に係る疾病・傷病程度別搬送人員 …… 70
住民に対する応急手当普及啓発活動の実施状況 …… 71
応急手当普及啓発活動の推移（過去10年間） …… 71

◇ 通信指令

通信指令系統図 …… 72
高機能消防指令センターシステム系統図 …… 73
無線通信設備一覧 …… 74
119番通報受信状況 …… 75
災害情報案内テレホンサービス利用状況 …… 75
火災情報メール配信サービス利用状況 …… 75
救急病院等案内テレホンサービス利用状況 …… 76
救急病院等案内テレホンサービス科目別案内状況 …… 76
気象情報発表状況 …… 77

◇ 消防音楽隊

消防音楽隊編成表・歴代の音楽隊長 …… 78
派遣状況の推移 …… 79
令和３年度派遣状況 …… 79

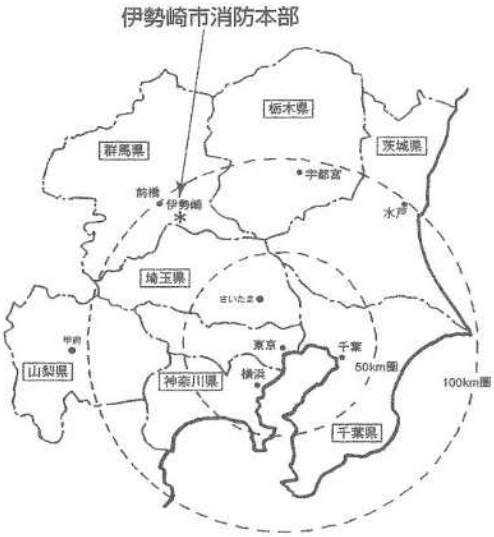
◇ 消防団

伊勢崎市消防本部管轄区域の消防団現況配置図 …… 80
伊勢崎市消防団の沿革 …… 81
伊勢崎市消防団組織表 …… 84
伊勢崎市消防団車両一覧表 …… 86
伊勢崎市消防団ポンプ車等の配備状況及び現有台数 …… 87
伊勢崎市消防団無線配備一覧表 …… 88
伊勢崎市消防団資機材配備一覧表 …… 88
伊勢崎市消防団員年齢別状況 …… 89
伊勢崎市消防団員階級別在団年数状況 …… 89
伊勢崎市消防団員の職業構成別状況 …… 89
伊勢崎市消防団員の就業形態別状況 …… 89
伊勢崎市消防団出動状況 …… 89
伊勢崎市消防団充足率 …… 89

◇ 消防関係団体

消防関係団体の現況 …… 90
女性防火クラブの現況 …… 91
少年消防クラブの現況 …… 91

一 般 概 要



位　置　と　地　勢

当消防本部は群馬県平野部のほぼ中央に位置し、首都東京から西北方約100ｋｍ圏内にあり諸機能の集積した前橋地区、太田地区および高崎地区とともに有機的な関連をもちつつ、これらの都市群の一角を形成し首都圏整備法に基づく広域都市開発区域として北関東における大規模都市建設の開発拠点となっている。

地勢は、北部に標高150ｍ～170ｍの丘陵が散在しているが、北部から、南東に向かって、約150分の1のきわめてゆるやかな勾配で平坦部が展開しており、丘陵地帯は、管内の僅か1.0％に満たない状況である。

また、地質は、西部から南部を流れる利根川、中部の広瀬川、粕川、東部を流れる早川などを中心に、沖積層が広がっており、洪積層にはさまった形で分布している。

なお、北方正面には赤城山がそびえ、西方には、榛名山をはじめ、上信越連峰が望見される環境であるため、冬は「上州名物からっ風」などと俗称される赤城おろしが強く、また夏には雷も激しい。

管内の面積・人口・世帯数

	面積(㎢)	令和3年4月1日現在		令和4年4月1日現在		人口伸び率(%)(前年度比)
		人口(人)	世帯数	人口(人)	世帯数	
伊勢崎市	139.44	212,946	92,487	212,178	93,119	-0.0036
玉 村 町	25.78	36,211	15,780	35,956	15,837	-0.0070
合　　計	165.22	249,157	108,267	248,134	108,956	-0.0041

消　防　の　沿　革

沿革　●協定　■訓練			施設・車両・通信等整備
昭和18年	３月	・伊勢崎市警防団常備消防部を開設する。（部員１４人・自動車ポンプ２台）	
昭和22年	１２月	・伊勢崎市警防団を伊勢崎市消防団に改称する。	
昭和28年	９月	・伊勢崎市消防団常備消防部が救急業務を開始する。	
昭和29年	１１月	・伊勢崎市消防団常備消防部を廃し、伊勢崎市消防本部・消防署を開設する。	
		（職員３１人・速消車２台・救急自動車１台・普通車１台）	
昭和30年	９月	・消防用無線電話(短波)装備設置(基地局１台・移動局１台・受信機３３機)	
		≪市長１・消防幹部５・消防団詰所２５・水源地１・東電１≫	
昭和32年	８月	・境町消防団常備消防部を開設する。（部員２人・速消車１台）	
昭和40年	３月	・超短波無線電話装置配備（基地局１台・救急自動車）	
昭和41年	４月	・玉村町は町役場職員により救急業務を開始する。	
	１２月	・超短波無線電話装置配備（１号車・３号車）	
昭和42年	３月	・超短波無線電話装置配備（２号車・化学車・指令車）	
	４月	・境町消防団常備消防部を廃し、境町消防本部・消防署を開設する。	
		（職員２８人・速消車１台・普通車１台）	
	１２月	・境町消防本部が救急業務を開始する。	
昭和44年	１月	・伊勢崎市が赤堀村・東村の救急業務を受託する。	
昭和45年	２月	【施設】伊勢崎市消防庁舎（後に広域消防本部庁舎）起工	
昭和46年	３月	・伊勢崎佐波消防組合発足に伴い、伊勢崎市消防本部・境町消防本部を解散する。	
	４月	・伊勢崎佐波消防組合を発足する。	
	１１月	【車両（新規）】連絡車（伊勢崎消防署）	
	１２月	【車両（新規）】スノーケル車（伊勢崎消防署）	
昭和47年	３月	【施設】伊勢崎消防署北分署庁舎・国定・境・玉村消防署が新築完成する。	
	４月	・国定消防署・玉村消防署・伊勢崎消防署北分署が業務を開始する。	
		・消防職員４６人増員する。（職員数１３８人）	
		（消防本部１９人・伊勢崎消防署４１人・北分署１３人・国定消防署１９人・	
		境消防署２９人・玉村消防署１７人）	
		【車両（新規）】水槽付消防ポンプ自動車・普通消防ポンプ自動車・連絡車	
		（伊勢崎消防署北分署）	
		【車両（新規）】水槽付消防ポンプ自動車・救急自動車・連絡車（国定消防署・玉村消防署）	
	５月	【車両（新規）】水槽付消防ポンプ自動車（境消防署）	
	８月	【車両（新規）】乗用車（消防本部）	
	９月	・伊勢崎佐波消防組合を解散する。	
	１０月	・伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合へ消防事務を編入する。	
昭和48年	２月	【車両（新規）】広報車（消防本部）	
		≪伊勢崎ライオンズクラブ・伊勢崎中央ライオンズクラブより寄贈≫	
	３月	・救急一斉指令装置配備（伊勢崎消防署）	
	４月	・消防職員９人増員する。（職員数１４１人）	
	７月	【車両（新規）】救急自動車（玉村消防署）≪群馬県農業共済協同組合連合会より寄贈≫	
	８月	【車両（新規）】救急自動車（伊勢崎消防署北分署）≪日本消防協会より寄贈≫	
	９月	【車両（新規）】救急自動車（境消防署）	
		・自動気象記録観測装置設置（伊勢崎消防署）	

	１０月	・伊勢崎消防署北分署が救急業務を開始する。
	１１月	【車両（新規）】大型消火器積載車（境消防署）≪境ライオンズクラブより寄贈≫
昭和49年	４月	・消防職員４人増員する。（職員数１４５人）
	１０月	【車両（新規）】乗用車（消防本部）≪伊勢崎佐波危険物安全協会より寄贈≫
昭和50年	４月	・消防本部総務課に消防団係を新設する。
	７月 ■	利根川水系連合水防演習が実施される。（八斗島ちびっこ広場）《建設省・関東１都６県共催》
	１１月	【車両（新規）】連絡車（国定消防署）≪国定ライオンズクラブより寄贈≫
		【車両（新規）】水槽付消防ポンプ自動車（伊勢崎消防署）
	１２月 ●	大火災・その他特殊火災が発生した場合の被害を最小にする目的で、群馬県全域の１１消防本部と相互応援協定を締結する。
昭和51年	２月	・防災通信の合理化（県波導入）のため、消防車用超短波無線基地局設置（消防本部）
	４月	・伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合消防団審議会を発足する。
		・消防職員５人増員する。（職員数１５０人）
	１１月	【車両（新規）】消防ポンプ自動車（伊勢崎消防署）≪日本損害保険協会より寄贈≫
	１２月 ●	特殊災害による被害を最小にする目的で、群馬・栃木隣接の５消防本部と相互応援協定を締結する。（桐生市・太田地区・館林地区・佐野地区・足利市）
昭和52年	２月	【装備】河川等における野火対策強化のため、可搬動力ポンプを配備する（伊勢崎消防署・境消防署）
	６月	【車両（新規）】広報車（伊勢崎消防署）
昭和53年	４月	・消防職員３人増員する。（職員数１５３人）
		【車両（新規）】連絡車（消防本部）
	９月	【車両（新規）】水槽付消防ポンプ自動車（伊勢崎消防署）
	１１月	・伊勢崎消防団の出場指令合理化を図るため緊急指令装置を設置する。（三郷・宮郷・豊受地区）≪２ヵ年継続事業≫
	１２月	【車両（新規）】救急自動車（伊勢崎消防署）≪日本損害保険協会より寄贈≫
昭和54年	１月	【車両（新規）】広報車（境消防署）
	２月	【車両（新規）】乗用車（境消防署）≪境危険物安全協会より寄贈≫
	４月	・消防職員２人増員する。（職員数１５５人）
	１１月	・伊勢崎消防団の出場指令合理化を図るため緊急指令装置を設置する。（殖蓮・伊勢崎北・南・茂呂・名和地区）≪継続２年次≫
昭和55年	４月	・消防職員２人増員する。（職員数１５７人）
		・救急医療情報システムを財団法人群馬県救急医療情報センターとの協定により運用開始する。
	６月	・住民サービスと通信業務を円滑にするため、テレホンサービスを開始する。
		【車両（新規）】広報連絡車（国定消防署・玉村消防署）
昭和56年	３月	【車両（新規）】30m級はしご付消防ポンプ自動車・化学消防ポンプ自動車Ⅲ型・救助工作車（伊勢崎消防署）
		【車両配置替え】スノーケル車（伊勢崎消防署→境消防署）
昭和57年	２月	【車両（新規）】広報車（消防本部）
	３月	【施設】伊勢崎消防署南分署庁舎及び救助訓練施設が新築完成する。
	４月	・消防職員１１人増員する。（職員数１６８人）
		・伊勢崎消防署南分署が業務を開始する。
		【車両（新規）】水槽付消防ポンプ自動車・普通ポンプ自動車・救急自動車・広報車
	８月	【車両（新規）】救急自動車（伊勢崎消防署）≪日本消防協会を通じ日本船舶振興会より寄贈≫
	１２月	【車両（新規）】広報連絡車（消防本部・伊勢崎消防署）

昭和58年	１月	【車両（新規）】水槽付消防ポンプ自動車（伊勢崎消防署北分署・国定・境・玉村消防署）
		【車両（新規）】救急自動車（国定消防署）
	３月	【車両（新規）】普通消防ポンプ自動車（伊勢崎消防署）
		【施設】境消防署庁舎・車庫を増改築する。
	９月	【車両（新規）】乗用車（消防本部）≪富士重工業㈱より寄贈≫
昭和59年	５月	■　第６回両毛六消防本部合同特殊災害訓練を実施する。（伊勢崎市役所）
	１１月	【車両（新規）】救急自動車（伊勢崎消防署北分署）≪日本自動車工業会より寄贈≫
昭和60年	３月	【車両（新規）】広報車（伊勢崎消防署北分署）
		【車両（新規）】広報車（国定消防署）≪国定ライオンズクラブより寄贈≫
		【車両（新規）】救急自動車（境消防署・玉村消防署）
	４月	・非常備消防に関する事務が組合の共同処理する事務から除かれ、消防団が市町村へ帰属する。
		・境町消防団の出場指令の合理化を図るため緊急指令装置を設置する。
	７月	■　利根川水系連合水防演習が実施される。（八斗島ちびっこ広場）《建設省・関東1都6県共催》
	１０月	【車両（新規）】水槽付消防ポンプ自動車（伊勢崎消防署）
		【装備（新規）】水難救助用アルミボート（伊勢崎消防署南分署）
昭和61年	４月	・消防職員１人増員する。（職員数１６９人）
		・群馬県消防学校へ職員を派遣する。（昭和６３年３月３１日まで）
		●　関越自動車道の本庄から関越トンネル内県境間における災害を最小にする目的で、６消防本部と相互応援協定を締結する。
	１１月	・消防本部警防課に通信指令係を新設する。
昭和62年	１月	【通信】広域消防の火災出場態勢を強化するため、出場区分を大幅に改正し、各無線局の呼出しを変更する。
		・広域管内における救急隊の多重出場に対処するため、出場区分を定める。
		【施設】国定消防署通信室を増改築する。
	１０月	【施設】消防本部庁舎３階に通信指令室及び事務室を増築する。
	１１月	【車両（更新）】普通ポンプ自動車ＢＤ－Ⅰ型（国定消防署・境消防署）
		【車両（新規）】15m級はしご付消防ポンプ自動車（バスケット付）（境消防署）
昭和63年	２月	【通信】昭和62・63年度2ヵ年継続事業（国庫補助）として計画した消防緊急情報システム（Ⅱ型）のうち指令装置・無線統制台・自動出場指令装置及び電話交換機の設置が完了し、運用開始する。
	４月	【通信】群馬県防災行政無線を群馬県との協定により運用開始する。
	６月	【車両（新規）】広報車（消防本部・伊勢崎消防署・玉村消防署）
	９月	【車両（新規）】水槽付消防ポンプ自動車（伊勢崎消防署）
		【施設】玉村消防署庁舎を新築移転する。
	１１月	【車両（新規）】マイクロバス（消防本部）
	１２月	【車両（新規）】救急自動車（伊勢崎消防署）
		【車両（新規）】連絡車（境消防署）≪境町危険物安全協会より寄贈≫
平成元年	２月	【施設】国定消防署車庫を増改築する。
	３月	【通信】消防緊急情報システム（Ⅱ型）のうち気象観測装置及び地図等検索装置の設置が完了し、運用開始する。
	５月	■　第１１回両毛六消防本部合同特殊災害訓練を実施する。（伊勢崎市文化会館）
	１１月	【車両（更新）】広報車（境消防署）
		【車両（新規）】資機材運搬車（伊勢崎消防署南分署）
	１２月	【施設】消防本部庁舎内部の改修工事を行い、伊勢崎消防署事務室を庁舎１階に移転する。

平成2年	３月	【施設】境消防署に訓練塔１基を建設する。
		【車両（更新）】小型動力ポンプ付水槽車（3,400ℓ）（玉村消防署）
	４月	・消防職員６人増員する。（職員数１７５人）
		・警防課装備施設係を廃し、その事務を総務課経理係に包含する。
	８月	【車両（新規）】小型動力ポンプ付水槽車（10,000ℓ）（伊勢崎消防署）
		■　群馬県総合防災訓練が実施される。（八斗島ちびっこ広場）≪群馬県・伊勢崎市共催≫
	１２月	【通信】救急出動の増加に伴い救急波無線を導入する。
平成3年	２月	【車両（更新）】広報車（消防本部）
	３月	【施設】東消防署庁舎が新築完成する。
		・デジタル式遠隔装置を導入する。
	４月	・消防職員４人増員する。（職員数１７９人）
		・東消防署が業務を開始する。
		【車両（新規）】水槽付消防ポンプ自動車（4,000ℓ）・救急自動車・広報車
		・国定消防署を赤堀消防署に改称する。
	１１月	【車両（更新）】水槽付消防ポンプ自動車（4,000ℓ）（境消防署・玉村消防署）
平成4年	３月	【車両（新規）】照明車（6,000W）（伊勢崎消防署）
		【車両（更新）】救急自動車（伊勢崎消防署南分署）
	４月	・消防職員７人増員する。（職員数１８６人）
	５月	【車両（新規）】乗用車（消防本部）≪恵工業株式会社より寄贈≫
	７月	【車両（更新）】広報車（伊勢崎消防署）
	９月	【車両（更新）】救急自動車（赤堀消防署）
	１２月	・伊勢崎市高齢者向緊急通報システムを運用開始する。
平成5年	３月	【施設】伊勢崎消防署西分署庁舎が新築完成する。
	４月	・消防職員１２人増員する。（職員数１９８人）
		・伊勢崎消防署西分署が業務を開始する。【車両（新規）】水槽付消防ポンプ自動車(4,000ℓ)・救急自動車
	７月	・東村オフトーク通信を東村との協定により運用開始する。
	１２月	・玉村町オフトーク通信を玉村町との協定により運用開始する。
平成6年	１月	【車両（更新）】救急自動車（伊勢崎消防署北分署）
	２月	・応急手当講習会（普通救命講習会）の第１回目が行われる。
	３月	【車両（更新）】水槽付消防ポンプ自動車（4,000ℓ）
		（伊勢崎消防署・伊勢崎消防署南分署・赤堀消防署）
		【車両（更新）】水槽付消防ポンプ自動車（境消防署）
		・パソコンを導入し、業務の合理化を図る。
	４月	・消防職員５人増員する。（職員数２０３人）
		・警防課通信指令係を廃し、通信指令課を新設する。（課長以下１３人　指令１係・指令２係）
		・群馬県消防学校へ職員を派遣する。（平成８年３月３１日まで）
	５月	・組合第１号救急救命士が誕生する。
	６月	・赤堀町防災無線を赤堀町との協定により運用開始する。
平成7年	２月	【車両（更新）】広報連絡車(高床式)(消防本部)、救助工作車Ⅱ型(伊勢崎消防署)、
		指令車(赤堀消防署)
		【車両（更新）】救急自動車（境消防署・玉村消防署）
	４月	・中隊制を係制に改める。
		・伊勢崎消防署に課制を敷き、救助１係・救助２係（各６人）を新設する。
	５月	■　利根川水系連合水防演習が実施される。（八斗島ちびっこ広場）《建設省・関東１都６県共催》

	６月	●　群馬県緊急消防援助隊が発足する。
	９月	【施設】消防本部庁舎の落雷対策工事を行う。
		■　第１７回両毛六消防本部合同特殊災害訓練を実施する。（群馬県教育センター）
	１０月	・定数条例を改定し、２０３人が２３３人となる。
		【車両（新規）】広報連絡車（伊勢崎消防署北分署・南分署・西分署）
平成8年	２月	【車両（更新）】化学車Ⅱ型（伊勢崎消防署）
	３月	【施設】赤堀消防署食堂等を増改築する。
		【施設】伊勢崎消防署西分署・玉村消防署に訓練塔１基建設する。
	４月	・消防職員１０人増員する。（職員数２１３人）
		・群馬県消防学校へ職員を派遣する。（平成９年３月３１日まで）
	１０月	【通信】テレドームの導入により同時情報提供（1,024人）サービスを開始する。
	１２月	・境町防災無線を境町との協定により運用開始する。
平成9年	１月	・群馬県防災航空隊へ職員を派遣する。（平成１１年３月３１日まで）
		●　火災・地震等大規模災害が発生した場合の人的・物的被害を最小にする目的で、利根川を挟み隣接する埼玉県児玉郡市広域市町村圏組合及び深谷市・岡部町共同事務組合と応援協定を締結する。
	３月	【施設】伊勢崎消防署北分署庁舎を新築移転する。（付帯設備　訓練塔）
		【車両（新規）】高規格救急自動車（伊勢崎消防署）
		【装備（新規）】高規格救急自動車導入に伴い、心電図受信装置を3病院（救急告示病院）に設置する。
		【車両（更新）】指令車２台（消防本部）、指令車（伊勢崎消防署・玉村消防署）
		【車両（新規）】資機材運搬車(消防本部)、普通ポンプ自動車(CD-Ⅰ型900ℓ水槽付)(東消防署)
	４月	・消防職員１１人増員する。（職員数２２４人）
		・本部次長制を廃止する。
		・消防本部予防課に予防係(３人)及び各消防署(各分署を除く)に救急１係、救急２係(各３人)を新設する。
	５月	●　地震・台風・水害・火災及び事故等の災害時に、群馬県防災航空隊の応援を受けることによって被害を最小にする目的で群馬県と応援協定を締結する。
	１１月	【車両（更新）】普通ポンプ自動車(CD-Ⅰ型900ℓ水槽付)(赤堀消防署・境消防署)
		【車両（新規）】指令車（消防本部）≪柏井建設㈱より寄贈≫
平成10年	１月	●　火災・地震等の災害時に、消火用水の供給応援を受けることによって被害を最小にする目的で、コンクリートミキサー車を有する企業と応援協定を締結する。
	４月	・消防職員３人増員する。（職員数２２７人）
		・群馬県消防学校へ職員を派遣する。（平成１２年３月３１日まで）
	８月	【施設】赤堀消防署訓練場に照明灯を設置する。
	１０月	【通信】携帯電話等からの１１９番通報システムを運用開始する。
平成11年	３月	【車両（更新）】４０ｍ級はしご付消防自動車（伊勢崎消防署）
		【車両（新規）】高規格救急自動車（伊勢崎消防署北分署）
	４月	・消防職員３人増員する。（職員数２３０人）
		・伊勢崎市役所農済行政部庶務課へ職員を出向させる。（平成１４年３月３１日まで）
	６月	【施設】玉村消防署訓練場に照明灯を設置する。
	１１月	【施設】東消防署訓練場に照明灯を設置する。
平成12年	１月	・ダイヤルイン方式の運用を開始する。
	２月	【通信】平成11年度事業(国庫補助)として計画した消防緊急通信指令施設(Ⅱ型)指令装置、表示盤、無線統制台、自動出動指定装置、指令伝達装置及び気象情報収集装置等の更新が完了し運用開始する。

		・群馬県知事特別功労表彰を受賞する。 （群馬県消防大会において参加したｱﾄﾗｸｼｮﾝ、寸劇「残月赤城山」が県知事に評価されたもの）
	３月	【車両（新規）】高規格救急自動車（Ⅱ課程対応）（東消防署）
	４月	・消防職員２人増員する。（職員数２３２人） ・火災調査課を新設する。（火災調査係　課長以下４人）【車両（新規）】火災調査車
		・群馬県総務部消防防災課へ職員を派遣する。（平成１４年３月３１日まで） ・群馬県防災航空隊へ職員を派遣する。（平成１４年３月３１日まで）
	１１月	【車両（更新）】広報連絡車（消防本部）
平成13年	３月	【車両（新規）】高規格救急自動車（Ⅱ課程対応）（赤堀消防署） ・イベント広報用のミニ消防車・超ミニ消防車を製作し運用を開始する。
	３月	・北関東自動車道開通に伴い、高速救急隊（北分署・１０人を併任）を発足し運用開始する。
	４月	・消防職員１人増員する。（職員数２３３人） ・定数条例を改正し、２３３人が２４２人となる。
	８月	【車両（新規）】高規格救急自動車（伊勢崎消防署北分署）
	１０月	【車両（新規）】指令車（境消防署）
平成14年	３月	【車両（更新）】水槽付消防ポンプ自動車（3,500ℓ）（伊勢崎消防署北分署） 【車両（更新）】高規格救急自動車（伊勢崎消防署南分署） 【車両（更新）】高規格救急自動車（Ⅱ課程対応）（伊勢崎消防署西分署） 【車両（更新）】小型動力ポンプ付水槽車（4,500ℓ）（玉村消防署）
	４月	・消防職員２人増員する。（職員数２３５人）
		・群馬県防災航空隊へ職員を派遣する。（平成１７年３月３１日まで） ・伊勢崎市役所農済行政部庶務課へ職員を出向させる。（平成１６年１２月３１日まで）
	１０月	・消防本部・各署（分署）へインターネット接続用パソコンを導入し、運用開始する。
	１１月	【装備（新規）】水難救助用水上バイク（境消防署）《境町ライオンズクラブより寄贈》
平成15年	２月	【車両（更新）】指令車（東消防署）、高規格救急自動車（玉村消防署）
	３月	【車両（更新）】火災調査車（火災調査課）、資機材運搬車（伊勢崎消防署南分署） 【施設】赤堀消防署庁舎を新築移転する。
	４月	・消防職員５人増員する。（職員数２４０人）
	９月	【装備（更新）】水難救助用パワーボート（伊勢崎消防署）
平成16年	２月	【車両（更新）】高規格救急自動車（境消防署） ・消防本部・伊勢崎消防署の一部に庁内ネットワークシステム（サーバ１台・パソコン３０台）を導入する。
	３月	【車両（更新）】小型動力ポンプ付水槽車（10,000ℓ）（伊勢崎消防署） 【車両（更新）】水槽付消防ポンプ自動車（3,500ℓ）（東消防署）、乗用車（消防本部） 【施設】火災調査課の消防本部庁舎移転に伴い改築する。
	４月	・消防職員１２人採用、前年度退職者１２人。（職員数２４０人）
		・群馬県消防学校へ職員を派遣する。（平成１８年３月３１日まで）
	６月	【通信】ＩＰ電話を用いた緊急通報を運用開始する。
	１２月	・伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合が解散する。
平成17年	１月	・市町村合併により伊勢崎市消防本部に名称変更する。 ・佐波郡玉村町より消防事務（消防団・水利事務を除く）を受託する。
		【車両（更新）】マイクロバス（消防本部）
	４月	・消防職員６人採用、前年度退職者４人。（職員数２４２人）
	５月	■　利根川水系連合水防演習が実施される。（八斗島ちびっこ広場）《国土交通省・関東１都６県共催》

	１２月	【通信】携帯電話直接受信システムを運用開始する。
平成18年	３月	【車両（更新）】指令車（伊勢崎消防署）
		【車両（更新）】災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（3,500ℓ）（境消防署）
	４月	・消防職員７人採用、市長部局より１人出向、前年度退職者１１人。（職員数２３９人）
		・消防本部警防課に救急救助係を新設し、消防係を消防安全係に名称変更する。
		・群馬県総務部消防防災課へ職員を派遣する。（平成２０年３月３１日まで）
		・群馬県防災航空隊へ職員を派遣する。（平成２１年３月３１日まで）
	８月	【装備（新規）】潜水用具（伊勢崎消防署）、水難救助用ゴムボート（伊勢崎消防署南分署）
		【車両（新規）】牽引用トレーラー（伊勢崎消防署南分署）
	９月	【施設】伊勢崎消防署北分署に浴室等を設置する。
平成19年	１月	【施設（更新）】高圧ガス製造所内空気充填設備（30MPa対応コンプレッサー）（消防本部）
	３月	【施設（更新）】緊急出動灯（伊勢崎消防署）
		【車両（更新）】高規格救急自動車(伊勢崎消防署)、 水槽付消防ポンプ自動車(3,500ℓ)(玉村消防署)
		【車両（更新）】災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車(2,000ℓ) (伊勢崎消防署西分署・境消防署)
	４月	・消防職員６人採用、前年度退職者５人。（職員数２４０人）
	９月	【施設】赤堀消防署庁舎の浴室を増設する。
平成20年	２月	【車両（更新）】指令車（消防本部）、15m級はしご付消防ポンプ自動車（境消防署）
		【車両（更新）】災害対応特殊救急自動車（赤堀消防署）
	４月	・消防職員１１人採用、前年度退職者１０人。（職員数２４２人）
		・火災調査課を廃し、消防本部に指揮調査課を新設する。（指揮調査第１係、第２係） （課長〔総務担当が兼任〕以下９人）
		・群馬県消防学校へ職員を派遣する。（平成２２年３月３１日まで）
	９月	【施設】伊勢崎消防署寝室棟が完成する。（リースによる規格建築物）
平成21年	１月	【車両】４０m級はしご付消防自動車のオーバーホールを実施する。（伊勢崎消防署）
	２月	【車両（更新）】災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（伊勢崎消防署）
		【車両（更新）】高規格救急自動車（伊勢崎消防署北分署）
	４月	・消防職員１６人採用、前年度退職者１６人。（職員数２４２人）
		・高崎市等広域市町村圏振興整備組合に消防救急無線共同整備に係る事務を委託する。
	１０月	【通信】消防緊急通信指令施設（Ⅱ型）のうち指令装置、表示盤、指令伝送装置の改修及び統合型位置情報通知装置（携帯・ＩＰ電話）の設置が完了し、運用を開始する。
	１２月	【車両（更新）】高規格救急自動車（東消防署）
平成22年	３月	【車両（更新）】水槽付消防ポンプ自動車（伊勢崎消防署南分署）
		【施設】伊勢崎消防署仮設訓練塔の建替を行う。
	４月	・消防職員５人採用、前年度退職者５人。（職員数２４２人）
		・群馬県防災航空隊へ職員を派遣する。（平成２５年３月３１日まで）
		・高崎市等広域消防局へ職員を派遣する。（平成２３年３月３１日まで）
		【車両配置替え】普通ポンプ自動車（CD-Ⅰ型900ℓ水槽付）《境消防署→伊勢崎市消防団本部》
		【車両配置替え】防火号≪伊勢崎市消防団本部→伊勢崎消防署≫
		【車両配置替え】水防車≪伊勢崎市消防団境方面隊本部→境消防署≫
	７月	【通信】統合型位置情報システム（ＮＴＴ固定電話）の運用を開始する。
平成23年	２月	【車両（更新）】高規格救急自動車（伊勢崎消防署南分署）
		【施設】玉村消防署庁舎を増築する。

	３月	【施設】消防本部庁舎の耐震診断を業務委託する。
	４月	・消防職員８人採用、前年度退職者８人。（職員数２４２人） ・定数条例を改正し２４２人が２６０人となる。
	６月	【施設】伊勢崎消防署緊急車両車庫の壁面塗装工事を行う。（東日本大震災による災害復旧工事）
	８月	【車両（更新）】指令車（消防本部・赤堀消防署）
	１０月	【車両（更新）】高規格救急自動車（伊勢崎消防署西分署）
平成24年	２月	【車両（更新）】高規格救急自動車（玉村消防署） 【車両（更新）】救助工作車Ⅲ型（伊勢崎消防署） ・消防水利（防火水槽）の一元管理を図るため、消防水利管理システムを構築する。
	３月	【装備】緊急消防援助隊設備及び多数傷病者発生災害対応の強化を図るため、チューブ膨張式エアーテント付属品(前室・エアコン等)を購入し、配備する。 ・高崎市等広域市町村圏振興整備組合との消防救急無線共同整備に係る事務委託を廃止する。
	４月	・消防職員１２人採用、前年度退職者１０人。（職員数２４４人）
		・毎月実施していたサイレンの定時吹鳴試験を、毎月１日の正午実施に変更する。
	８月	【通信】全国瞬時警報システム（J-ALERT）を整備し、運用開始する。 【通信】市民向け災害情報メールの配信を開始する。
	１１月	・イベント用ミニはしご車の運用を開始する。 ・消防本部庁舎敷地を拡幅する。（借用していた駐車場ほか５筆　1867.74㎡を取得）
平成25年	２月	【車両（更新）】指令車・指揮車（消防本部）・高規格救急自動車（境消防署） 【車両（更新）】玉村消防署に指令車が更新配備される。 ● 大規模災害時における石油類燃料の供給に関する協定を藤本商事株式会社と締結する。
	３月	【施設】伊勢崎消防署西分署に女性職員用スペース設置工事を行う。
	４月	・消防職員１６人採用、前年度退職者５人。（職員数２５５人） ・群馬県消防学校へ職員を派遣する。（平成２７年３月３１日まで） ・群馬県防災航空隊へ職員を派遣する。（平成２８年３月３１日まで）
	９月	■ 群馬県総合防災訓練が実施される。（八斗島ちびっこ広場）≪群馬県・伊勢崎市共催≫ 【施設】消防本部車庫棟が完成する。（リース契約） 【施設】消防本部庁舎建設工事を着工する。（平成２７年２月２７日まで）
	１０月	【施設】伊勢崎消防署南分署の車庫シャッター設置工事を行う。
平成26年	１月	【車両（更新）】高規格救急自動車（伊勢崎消防署）
	３月	【車両（更新）】資機材運搬車（パワーゲート付）（境消防署） 【車両配置替え】資機材運搬車≪境消防署→伊勢崎消防署南分署≫ 【通信】平成25・26年度2ヵ年事業として計画した消防救急無線デジタル化整備工事のうち移動局の車載型無線装置及び卓上型無線装置の設置工事、携帯型無線装置及び可搬型無線装置の配置が完了する。
	４月	・消防職員１６人採用、前年度退職者１６人。（職員数２５５人） ・前年度退職者６人を再任用する。（再任用職員数６人） ・伊勢崎消防署の各分署に救急１係・救急２係（各３人）を新設する。
平成27年	３月	【施設】平成25・26年度2ヵ年事業の消防本部庁舎が完成する。 【通信】平成26年度事業として計画した消防救急無線デジタル化整備工事により基地局無線設備及び指令センターの整備が完了し、高機能消防指令センターの運用を開始する。
	４月	・消防職員９人採用、前年度退職者７人。（職員数２５６人） ・前年度退職者３人を再任用する。（再任用職員数３人） ・指揮調査課に調査係を新設する。

	５月	■　利根川水系連合・総合水防演習が実施される。（境島村地先　利根川左岸１７７ｋｍ付近） ≪主催・国土交通省、関東１都６県、伊勢崎市≫
	６月	【施設】玉村消防署用地を拡幅する。（1546㎡を取得）
	９月	【施設】消防本部旧庁舎解体外工事を行う。
平成28年	１月	【施設】東消防署車庫棟塗装工事を行う。
		【車両（更新）】高規格救急自動車（赤堀消防署）
	３月	【車両（新規）】資機材運搬車（支援車Ⅱ型）（消防本部）
		【車両配置替え】水難救助用水上バイク≪境消防署→伊勢崎消防署南分署≫
		牽引用トレーラー≪境消防署→伊勢崎消防署南分署≫
		【車両配置替え】水難救助用ゴムボート≪伊勢崎消防署南分署→伊勢崎消防署≫
	４月	・消防職員３人採用、前年度退職者２人。（職員数２５７人）
		・前年度退職者２人を再任用する。（再任用職員数２人）
		・群馬県消防学校へ職員を派遣する。（平成３０年３月３１日まで）
	１１月	【施設】伊勢崎消防署南分署訓練塔木製パネル改修工事を行う。
平成29年	２月	【車両（更新）】広報連絡車（本部２）（消防本部）
		【車両（更新）】高規格救急自動車（伊勢崎消防署）
	３月	【施設】消防本部訓練塔が完成する。
	４月	・消防職員４人採用、前年度退職者２人。（職員数２５９人）
		・前々年度退職者２人を再任用する。（再任用職員数２人）
		・群馬県防災航空隊へ職員を派遣する。（平成３２年３月３１日まで）
	７月	【施設】伊勢崎消防署西分署空調設備機器等交換工事を行う。
		【施設】東消防署空調設備機器等交換工事を行う。
平成30年	１月	【車両（更新）】災害対応特殊化学消防ポンプ自動車Ⅱ型（伊勢崎消防署）
	３月	【水利】伊勢崎消防署南分署に耐震性貯水槽（潜函工法）40㎥を設置する。
	４月	・消防職員４人採用、前年度退職者４人。（職員数２５９人）
		・前年度退職者１人を再任用する。（再任用職員数１人）
	５月	【車両（新規）】危険物安全協会車２号車（消防本部）≪危険物安全協会より寄贈≫
	７月	【車両（修繕）】38m級はしご付消防自動車のオーバーホールを実施する。（伊勢崎消防署）
	１１月	【車両（修繕）】15m級はしご付消防ポンプ自動車のオーバーホールを実施する。（境消防署）
		【施設】伊勢崎消防署南分署車庫塗装工事を行う。
平成31年	１月	【施設】赤堀消防署訓練場舗装工事を行う。
	２月	【車両（更新）】高規格救急自動車（伊勢崎消防署北分署）
	３月	【車両（廃車）】防火号（伊勢崎消防署）
	４月	・消防職員４人採用、前年度退職者５人。（職員数２５８人）
		・前年度退職者１人を再任用する。（再任用職員数２人）
令和元年	７月	【装備（更新）】水難救助用ボート（境消防署）
	９月	【装備（更新）】水難救助ボート用船外機（境消防署）
令和2年	２月	【車両（更新）】災害対応特殊救急自動車（東消防署）
	３月	【車両（更新）】広報連絡車（伊勢崎消防署北分署・南分署・西分署）
		【車両（更新）】指令車（本部３）（消防本部）
	４月	・消防職員７人採用、前年度退職者４人。（職員数２６０人 ※市役所出向者除く）
		・前年度退職者３人を再任用する。（再任用職員数５人）
		・群馬県消防学校へ職員を派遣する。（令和４年３月３１日まで）
		・群馬県防災航空隊へ職員を派遣する。（令和４年３月３１日まで）

		・伊勢崎市役所総務部安心安全課へ職員を出向させる（令和５年３月３１日まで）
令和3年	１月	【車両（更新）】災害対応特殊救急自動車（伊勢崎消防署南分署）
	２月	【車両（更新）】災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（伊勢崎消防署北分署）
	４月	・消防職員５人採用、前年度退職者５人。（職員数２６０人※市役所出向者除く） ・前年度退職者３人を再任用する。（再任用職員数７人） ・消防本部に救急課（救急指導係・救急管理係）を新設する。 ・指揮調査課について、組織を警防課に移管し廃止する。 ・警防課について、上記組織の移管（１１人　指揮調査第１係・第２係）ほか、消防安全係を消防救助係に名称変更する。
	１２月	【車両（更新）】水槽付消防ポンプ自動車（東消防署）
令和4年	２月	【車両（更新）】高規格救急自動車（玉村消防署）
	３月	【車両（更新）】資機材運搬車（消防本部）
	４月	・消防職員６人採用、前年度退職者７人。（職員数２５９人※市役所出向者除く） ・前年度退職者３人を再任用する。（再任用職員数９人） ・定数条例を改正し２６０人が２８３人となる。
		・群馬県総務部消防保安課へ職員を派遣する。（令和６年３月３１日まで） 【車両配置換え】広報連絡車≪東消防署→消防本部≫

消防署配置図

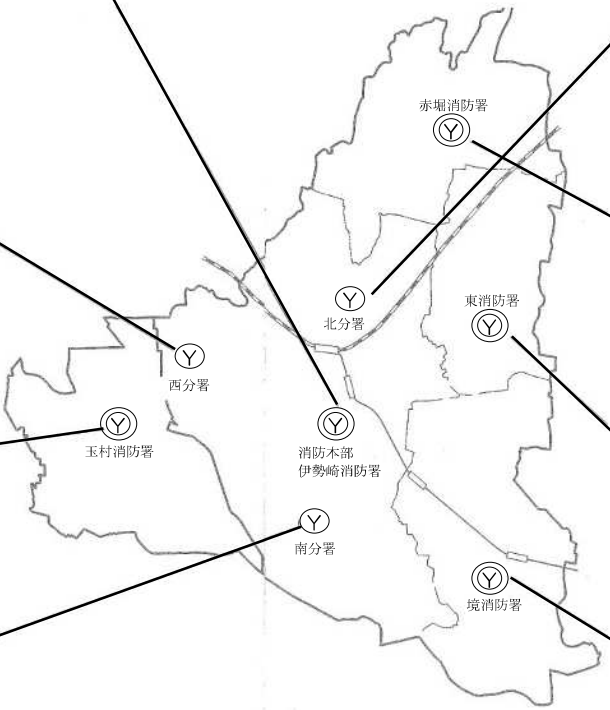
消防本部 伊勢崎市消防団本部	
人員	58名
指令車	4台
広報連絡車	4台
マイクロバス	1台
乗用車	1台
資機材運搬車	2台
指揮車	1台
火災調査車	1台
救急車(非常用)	2台
消火通報訓練指導車	1台

伊勢崎消防署 第1・第2方面隊本部	
人員	56名
タンク車	1台
小型動力ポンプ付水槽車	1台
救急車	2台
はしご車	1台
化学車	1台
救助工作車Ⅲ型	1台
救助工作車Ⅱ型(非常用)	1台
指令車	1台
資機材運搬車	1台

伊勢崎消防署北分署	
人員	19名
タンク車	1台
救急車	1台
広報連絡車	1台

伊勢崎消防署西分署	
人員	19名
タンク車	1台
救急車	1台
広報連絡車	1台

赤堀消防署 赤堀方面隊本部	
人員	20名
タンク車	1台
普通ポンプ車	1台
救急車	1台
指令車	1台



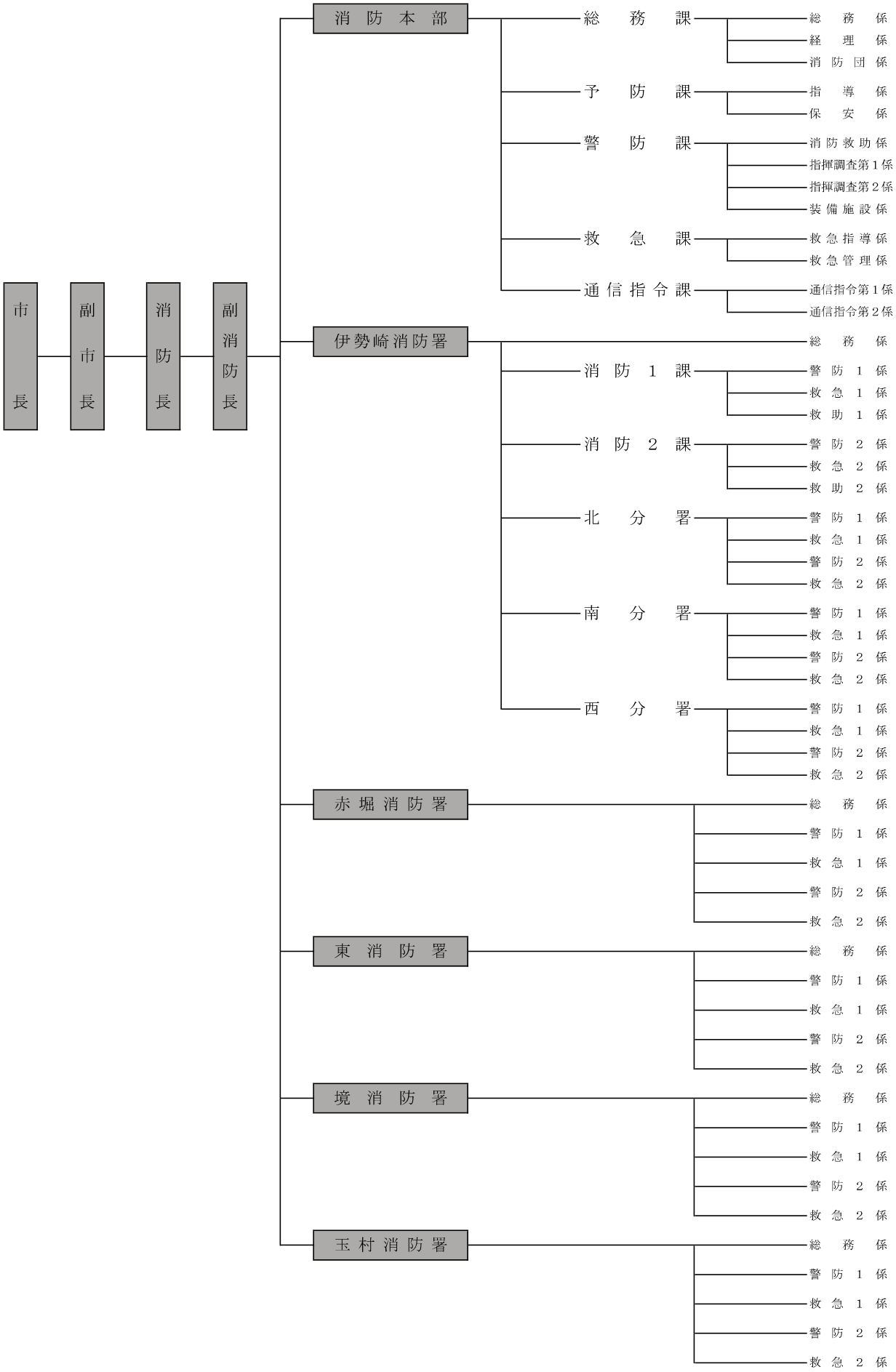
玉村消防署	
人員	24名
タンク車	1台
小型動力ポンプ付水槽車	1台
救急車	1台
指令車	1台

東消防署 東方面隊本部	
人員	20名
タンク車	1台
普通ポンプ車	1台
救急車	1台
指令車	1台

伊勢崎消防署南分署	
人員	19名
タンク車	1台
救急車	1台
資機材運搬車	1台
広報連絡車	1台
被牽引車	1台

境消防署 境方面隊本部	
人員	24名
タンク車	1台
小型動力ポンプ付水槽車	1台
救急車	1台
指令車	1台
はしご車	1台
資機材運搬車	1台

消　防　の　組　織


市長
副市長
消防長
副消防長
消防本部
総務課
総務係
経理係
消防団係
予防課
指導係
保安係
警防課
消防救助係
指揮調査第1係
指揮調査第2係
装備施設係
救急課
救急指導係
救急管理係
通信指令課
通信指令第1係
通信指令第2係
伊勢崎消防署
総務係
消防1課
警防1係
救急1係
救助1係
消防2課
警防2係
救急2係
救助2係
北分署
警防1係
救急1係
警防2係
救急2係
南分署
警防1係
救急1係
警防2係
救急2係
西分署
警防1係
救急1係
警防2係
救急2係
赤堀消防署
総務係
警防1係
救急1係
警防2係
救急2係
東消防署
総務係
警防1係
救急1係
警防2係
救急2係
境消防署
総務係
警防1係
救急1係
警防2係
救急2係
玉村消防署
総務係
警防1係
救急1係
警防2係
救急2係

庁 舎 の 位 置 ・ 概 要

名　　称	位　　置	建物面積・構造	敷地面積(㎡)	竣工年月日	工事費(千円)	電話・FAX(0270)	メールアドレス
消 防 本 部 伊勢崎消防署	〒372-0031 伊勢崎市今泉町二丁目895番地	鉄筋コンクリート造4階建 延4398.33㎡	7,161.92	H27. 3	1,197,434	TEL 25-3511（総） FAX 26-9995	sh-soumu@city.isesaki.lg.jp
		屋内貯蔵所　鉄筋コンクリート造 平屋建 17.39㎡		H27. 3	3,109	TEL 25-3311（予） TEL 25-3916（警） FAX 70-4121	yobou@city.isesaki.lg.jp keibou@city.isesaki.lg.jp
		車庫　鉄骨造平屋建 674.90㎡		H25 .9	83,601 （リース物件）	TEL 25-3933（救） TEL 25-3510（通） FAX 25-3613	kyukyu@city.isesaki.lg.jp tsushin@city.isesaki.lg.jp
		駐輪場（南）アルミ造平屋建 22.42㎡		H27. 3	978		
		駐輪場（北）アルミ造平屋建 20.00㎡		H27. 9	5,000		
		訓練塔Ａ 512.35㎡		H29. 3	197,121	TEL 25-3918（伊）	fd-isesaki@city.isesaki.lg.jp
		訓練塔Ｂ　36.00㎡		H29. 3	32,227	FAX 25-3650	
		訓練塔Ｃ 168.44㎡		H29. 3	50,176	TEL 25-3920（伊救）	
伊勢崎消防署 北　分　署	〒372-0015 伊勢崎市鹿島町429番地5	鉄筋コンクリート造2階建 延558.05㎡	2,000.00	H 9. 3	168,230	TEL 25-5247	fd-kita@city.isesaki.lg.jp
		訓練塔 16.00㎡		H 9. 3	6,046	FAX 50-8198	
伊勢崎消防署 南　分　署	〒372-0834 伊勢崎市堀口町656番地1	鉄筋コンクリート造2階建 延389.69㎡	2,131.42	S57. 3	72,905	TEL 32-0062	fd-minami@city.isesaki.lg.jp
		訓練塔 60.00㎡		S57. 3	上記金額に含まれる	FAX 32-9695	
伊勢崎消防署 西　分　署	〒372-0803 伊勢崎市宮古町89番地	鉄筋コンクリート造平屋建 延443.67㎡	3,204.00	H 5. 3	108,716	TEL 21-4545 FAX 50-8126	fd-nishi@city.isesaki.lg.jp
		器材倉庫 20.40㎡		H 5. 9	3,650		
		訓練塔 17.85㎡		H 8. 3	5,562		
赤 堀 消 防 署	〒379-2204 伊勢崎市西久保町二丁目341番地3	鉄筋コンクリート造2階建 延676.11㎡	4,950.00	H15. 3	178,565	TEL 62-0230 FAX 62-0199	fd-akabori@city.isesaki.lg.jp
		訓練塔 52.81㎡		H15. 3	14,066		
		危険物倉庫 3.97㎡		H15. 3	787		
		器材倉庫 32.08㎡		H15. 3	946		
東 消 防 署	〒379-2234 伊勢崎市東小保方町3238番地	鉄筋コンクリート造平屋建 延473.30㎡	4,200.49	H 3. 3	106,965	TEL 62-8980 FAX 40-9167	fd-azuma@city.isesaki.lg.jp
		危険物倉庫 4.00㎡		H 3. 3	1,100		
		器材倉庫 20.00㎡		H 3. 3	2,180		
		訓練塔 16.00㎡		H 3. 3	4,960		
境 消 防 署	〒370-0125 伊勢崎市境萩原1753番地	鉄筋コンクリート造2階建 延340.50㎡	2,751.12	S47. 3	14,800	TEL 74-0012 FAX 74-0042	fd-sakai@city.isesaki.lg.jp
		器材倉庫 9.10㎡		S49. 2	180		
		危険物倉庫 3.25㎡		S49. 3	180		
		車庫 鉄骨造平屋建 323.76㎡		S58. 3	32,300		
		訓練塔 16.00㎡		H 2. 3	3,553		
玉 村 消 防 署	〒370-1105 佐波郡玉村町大字福島548番地1	鉄筋コンクリート造2階建 延699.18㎡	4,446.00	S63.10	72,500	TEL 65-2982 FAX 65-3157	fd-tamamura@city.isesaki.lg.jp
		危険物倉庫 3.25㎡		S63.10	上記金額に含まれる		
		訓練塔 17.85㎡		H 8. 3	5,510		
				H23. 2	（庁舎増築）34,784		

歴 代 の 消 防 長

初 代 消 防 長	栗 原 豊治郎 氏	(昭和46年 4月～昭和47年9月)
第 2 代 消 防 長	髙 柳 良 太 氏	(昭和47年10月～昭和50年3月)
第 3 代 消 防 長	髙 橋 基 樹 氏	(昭和50年 4月～昭和51年3月)
第 4 代 消 防 長	栗 林 啓三郎 氏	(昭和51年 4月～昭和53年2月)
第 5 代 消 防 長	古 池 已之吉 氏	(昭和53年 3月～昭和53年6月)
第 6 代 消 防 長	中 野 美津夫 氏	(昭和53年 7月～昭和56年3月)
第 7 代 消 防 長	細 井 佐 内 氏	(昭和56年 4月～昭和63年3月)
第 8 代 消 防 長	古 部 三 郎 氏	(昭和63年 4月～平成元年3月)
第 9 代 消 防 長	品 川 忠 弥 氏	(平成元年 4月～平成 4年3月)
第 10 代 消 防 長	新 井 静 雄 氏	(平成 4年 4月～平成 6年3月)
第 11 代 消 防 長	新 井 周 雄 氏	(平成 6年 4月～平成 9年3月)
第 12 代 消 防 長	井 埜 宗 市 氏	(平成 9年 4月～平成10年3月)
第 13 代 消 防 長	多 田 紀 一 氏	(平成10年 4月～平成13年3月)
第 14 代 消 防 長	寺 岡 勝 氏	(平成13年 4月～平成14年3月)
第 15 代 消 防 長	栗 原 康 二 氏	(平成14年 4月～平成16年3月)
第 16 代 消 防 長	田 村 映 氏	(平成16年 4月～平成18年3月)
第 17 代 消 防 長	髙 橋 溥 氏	(平成18年 4月～平成19年3月)
第 18 代 消 防 長	岡 田 充 博 氏	(平成19年 4月～平成20年3月)
第 19 代 消 防 長	清 水 政 利 氏	(平成20年 4月～平成21年3月)
第 20 代 消 防 長	田 島 武 雄 氏	(平成21年 4月～平成24年3月)
第 21 代 消 防 長	毒 島 吉 一 氏	(平成24年 4月～平成26年3月)
第 22 代 消 防 長	吉 田 純 一 氏	(平成26年 4月～平成27年3月)
第 23 代 消 防 長	笠 原 仁 氏	(平成27年 4月～平成29年3月)
第 24 代 消 防 長	小 島 輝 男 氏	(平成29年 4月～平成30年3月)
第 25 代 消 防 長	大 澤 芳 夫 氏	(平成30年 4月～平成31年3月)
第 26 代 消 防 長	五十嵐 博 充 氏	(平成31年 4月～令和 3年3月)
第 27 代 消 防 長	鈴 木 義 人 氏	(令和 3年 4月～令和 4年3月)
第 28 代 消 防 長	秋 山 晴 彦	(令和 4年 4月～

総　　務

職 員 の 配 置 状 況

（令和4年4月1日現在）

配置別＼階級別	合計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他
条例定数	283									
実員	259 (9)	1	5	14	32	108	52 (9)	33	14	0
消防長	1	1								
副消防長	1		1							
消防本部	56 (8)		1	6	10	28	10 (8)	1		
総務課	11 (1)		1		2	4	4 (1)			
予防課	8 (2)			1	2	4	1 (2)			
警防課	17			3	3	9	1	1		
救急課	4 (1)			1		3	(1)			
通信指令課	14			1	3	6	4			
本部付	2 (4)					2	(4)			
伊勢崎消防署	113		1	6	10	46	21	23	6	
伊勢崎署	56		1	3	4	21	11	12	4	
北分署	19			1	2	8	4	3	1	
南分署	19			1	2	8	3	5		
西分署	19			1	2	9	3	3	1	
赤堀消防署	20			1	3	8	4	2	2	
東消防署	20			1	3	7	5	2	2	
境消防署	24 (1)		1		3	9	6 (1)	3	2	
玉村消防署	24		1		3	10	6	2	2	

（ ）は再任用職員

職員の階級別年齢状況

（令和4年4月1日現在）

階級別 / 年齢別	合計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他
総数	259 (9)	1	5	14	32	108	52 (9)	33	14	0
18 歳	2								2	
19 歳	1								1	
20 歳	2								2	
21 歳	2								2	
22 歳	5								5	
23 歳	4							2	2	
24 歳	4							4		
25 歳	5							5		
26 歳	4							4		
27 歳	4							4		
28 歳	8							8		
29 歳	4						1	3		
30 歳	13						10	3		
31 歳	10						10			
32 歳	7						7			
33 歳	7						7			
34 歳	12					5	7			
35 歳	12					5	7			
36 歳	8					7	1			
37 歳	10					8	2			
38 歳	6					6				
39 歳	8					8				
40 歳	5					5				
41 歳	7					7				
42 歳	4					4				
43 歳	9					9				
44 歳	6					6				
45 歳	10					10				
46 歳	8					8				
47 歳	13				4	9				
48 歳	7				2	5				
49 歳	8				5	3				
50 歳	9				6	3				
51 歳	4				4					
52 歳	7			3	4					
53 歳	4			1	3					
54 歳	7			4	3					
55 歳	1				1					
56 歳	4			4						
57 歳	3		1	2						
58 歳	5	1	4							
59 歳以上	0 (9)						(9)			

※平均年齢 39.0 歳（再任用職員除く）　　（ ）は再任用職員

職員の階級別勤続状況

（令和4年4月1日現在）

階級別 / 年齢別	合計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他
総数	259 (9)	1	5	14	32	108	52 (9)	33	14	0
1 年未満	6								6	
1 年	5								5	
2 年	7							4	3	
3 年	3							3		
4 年	4							4		
5 年	4							4		
6 年	3						1	2		
7 年	8						5	3		
8 年	15						9	6		
9 年	15						13	2		
10 年	12						9	3		
11 年	8					1	5	2		
12 年	4					1	3			
13 年	16					12	4			
14 年	10					7	3			
15 年	6					6				
16 年	7					7				
17 年	4					4				
18 年	9					9				
19 年	8					8				
20 年	6					6				
21 年	5					5				
22 年	5					5				
23 年	4					4				
24 年	5					5				
25 年	12				2	10				
26 年	11				5	6				
27 年	0									
28 年	8			1	5	2				
29 年	14			1	7	6				
30 年	10			3	3	4				
31 年	5				5					
32 年	7			3	4					
33 年	2			2						
34 年	2		1	1						
35 年	3	1	1	1						
36 年	1 (2)			1			(2)			
37 年	2 (1)			1	1		(1)			
38 年	1 (1)		1				(1)			
39 年	0									
40 年	2 (4)		2				(4)			
41 年	0									
42 年以上	0 (1)						(1)			

（ ）は再任用職員

教育訓練・研修等実施状況

消防大学校

（令和4年4月1日現在）

課　程	平成25年度以前	26	27	28	29	30	令和元年度	2	3	合計
幹　部　科	6				1	1				8
上級幹部科	1									1
警　防　科	10						1			11
予　防　科	12	1							1	14
危険物科	1		1							2
救　急　科	6			1		1				8
救　助　科	6				1					7
トップセミナー	1									1
火災調査科	4		1				1			6
新任教官科	1									1
合　計	48	1	2	1	2	2	2	0	1	59

群馬県消防学校

（令和4年4月1日現在）

課　程	平成25年度以前	26	27	28	29	30	令和元年度	2	3	合計
初　任　科	265	12	12	11	5	4	4	7	5	325
予防査察科	67	3	3	3	3	4	4	4	3	94
危険物科	62	3	3	3	3	4	4	4	3	89
火災調査科	60	3	3	3	3	4	4	4	3	87
警　防　科	107	3	3	3	3	4	4	4		131
無線通信課程	99	3	1							103
救　助　科	77	2	2	2	2	2	3	2	2	94
救急Ⅱ課程	62									62
救　急　科	143	12	12	14	14	6	5	6	2	214
初級幹部科	25			2			2			29
中級幹部科	23	2			2					27
上級幹部科	6		2			2				10
はしご自動車課程	44									44
音楽課程	54									54
ポンプ操法指導員	63		5		5		5			78
気管挿管講習	14									14
救急隊長講習	8									8
ビデオ喉頭鏡講習	2	2	3	1	3	1			1	13
合　計	1181	45	49	42	43	31	35	31	19	1476

救急救命士

	平成25年度以前	26	27	28	29	30	令和元年度	2	3	4
救急救命士数（人）		56	57	58	60	63	65	66	68	72
養成者数（人）	31	1	1	1	1	1	1	1	1	1

部内研修実施状況

（令和3年度）

研修種別	回数	人数	時間	場所	担当課
チェーンソー作業簡易特別教育	1	148	2 時間	各署・分署	総務課
消防大学校修了者研修	2	52	1.5時間	消防本部	総務課
予防技術検定受験準備講習会	2	16	5 時間	消防本部	予防課
作戦会議室研修	1	8	1 時間	消防本部	警防課
指揮研修	4	20	4 時間	各署・分署	警防課
指導救命士修了者研修	10	169	2～3時間	各署・分署	救急課
救急隊長研修	2	52	2 時間	各署・分署	救急課

部外研修実施状況

（令和3年度）

研修種別	人数	実施機関
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	1	（一社）群馬労働基準協会連合会
玉掛け技能講習	2	（一社）日本クレーン協会群馬支部
小型移動式クレーン運転技能講習	2	（一社）日本クレーン協会群馬支部
小型船舶操縦士免許取得講習（２級）	2	群馬県ボートライセンススクール
小型船舶操縦士免許取得講習（特殊）	2	群馬県ボートライセンススクール
潜水士免許試験受験準備講習会	2	（一財）安全衛生普及センター
伐木造材作業（チェーンソー作業）特別教育	1	林業・木材製造業労働災害防止協会群馬県支部
フルハーネス型墜落防止用器具特別教育	6	Clean Force Japan 株式会社・群馬県消防学校
共済基幹システム説明会（前橋市）	2	（公社）全国市有物件災害共済会関東地区事務局
症例検証会（管内告示病院・8回）	113	伊勢崎地域メディカルコントロール協議会
ＩＣＬＳプロバイダーコース（前橋市）	2	前橋赤十字病院・群馬県総務部消防保安課
群馬ＭＣＬＳコース（前橋市）	1	前橋赤十字病院・群馬県総務部消防保安課
スイフトウォーターレスキュー・テクニシャンレベル１	1	レスキュー３ジャパン

職員特殊技能資格取得表

（令和4年4月1日現在）

種別＼階級別			消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
自動車免許	大型	1　種	1	5	14	32	105	51	31	1	240
		2　種					1				1
	自動二輪車		1	3	5	17	36	16	5		83
	特　殊　車			1			6				7
小型船舶	1　　級					2	1				3
	2　　級			2	5	14	47	11	3		82
	特　　殊			1	5	17	32	8	4	1	68
潜　水　士				1		3	22	6	3		35
自動車整備士	ガソリン						2				2
	ディーゼル						1				1
無線	特　　殊		1	4	14	32	108	52	33	8	252
	アマチュア				4	8	1				13
ボイラー技士	2　級						2				2
熔接士	電　気					5	5	1	1		12
	ガ　ス				1	6	8	1	1	1	18
電気工事士					1	1	5	1			8
消防設備士	甲　種					1	3		1		5
	乙　種		1		1	8	8	1			19
危険物	甲　種		1			1	2				4
	乙　種		1	2	7	18	51	10	7	5	101
衛生管理者	1　種					1					1
	2　種		1	2	3	4	5				15
玉　掛　け				1	4	8	29	6	3		51
クレーン				1	4	9	29	6	3		52
酸素欠乏危険作業主任者				1	4	10	38	3	1		57
毒劇物取扱主任者							4				4

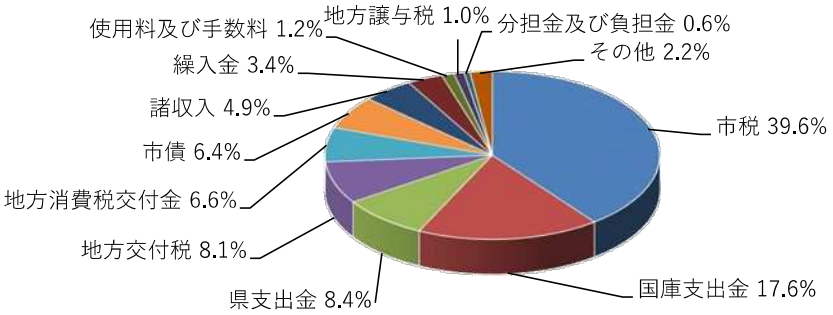
令和３年度職場衛生管理状況

内　　容	実　施　日	受診人数（人）	備　　考
健康診断	7/6・15	163	深夜業務従事者
	12/13・14	120	全職員（ドック受診者除く）
	2/17	6	初任科入校予定者
人間ドック	指定日	177	日帰り・一泊・脳
B型肝炎予防検診	指定日	12	
流行性ウイルス疾患予防検診	指定日	48	麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘
衛生管理規程に基づく職場巡視	7/9	巡視者：衛生委員、衛生管理者、職員課職員	

１．令和4年度一般会計当初予算

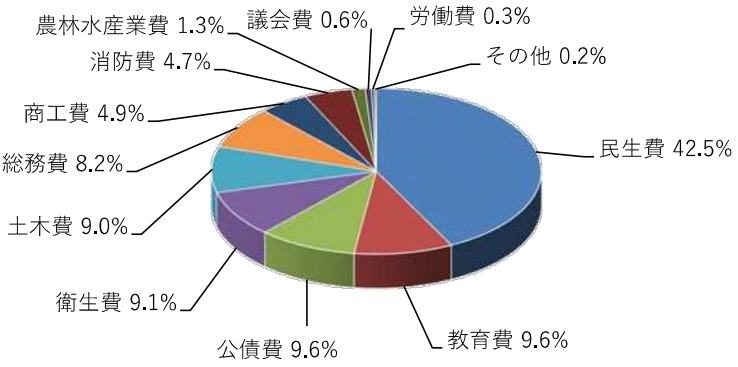
①歳入　　（単位：千円）

歳入科目	本年度予算額	比率（%）
市税	30,791,344	39.6
国庫支出金	13,684,563	17.6
県支出金	6,546,077	8.4
地方交付税	6,300,000	8.1
地方消費税交付金	5,140,000	6.6
市債	4,993,800	6.4
諸収入	3,832,309	4.9
繰入金	2,667,072	3.4
使用料及び手数料	937,213	1.2
地方譲与税	761,963	1.0
分担金及び負担金	448,713	0.6
その他	1,666,946	2.2
歳入合計	77,770,000	100



②歳出　　（単位：千円）

目的別区分	本年度予算額	比率（%）
民生費	33,050,923	42.5
教育費	7,509,977	9.6
公債費	7,495,530	9.6
衛生費	7,046,033	9.1
土木費	6,995,873	9.0
総務費	6,372,240	8.2
商工費	3,794,669	4.9
消防費	3,645,756	4.7
農林水産業費	1,012,572	1.3
議会費	460,105	0.6
労働費	236,122	0.3
その他	150,200	0.2
歳出合計	77,770,000	100



２．令和４年度消防費予算額

（単位：千円）

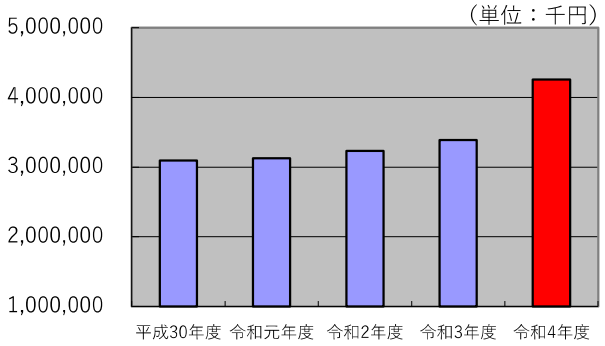
区分 市町名	消防費 予算額 A	一般会計 予算額 B	比率 A/B(%)
伊勢崎市	3,645,756	77,770,000	4.7
玉村町	609,800	11,690,000	5.2
合計	4,255,556	89,460,000	4.8

３．予算と人口、世帯数との比較（過去５年間）

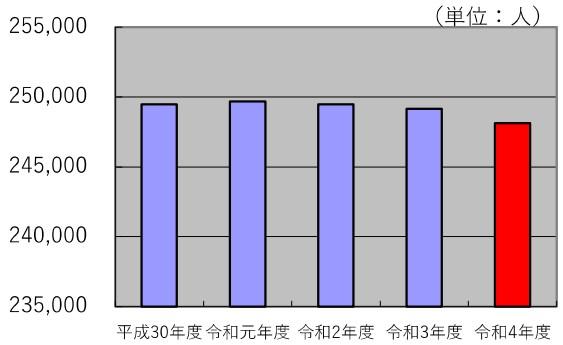
（4月1日現在）

区分 年度	消防費 当初予算額(千円)	人口（受託地域を含む）		世帯（受託地域を含む）	
		人口	1人当たり(円)	世帯数	1世帯当たり(円)
平成30年度	3,095,443	249,466	12,408	103,699	29,850
令和元年度	3,124,110	249,680	12,512	105,448	29,627
令和2年度	3,233,142	249,479	12,960	106,786	30,277
令和3年度	3,391,066	249,157	13,610	108,267	31,321
令和4年度	4,255,556	248,134	17,150	108,956	39,058

消防費当初予算額推移



人口推移



４．伊勢崎市消防費決算額（過去５年間）

（単位：円）

目別 年度別	常備消防 (人件費含) 決算額	非常備消防費 決算額	消防施設費 決算額	水防費 決算額	合計
平成29年度	2,221,292,470	159,467,425	178,312,705	1,272,832	2,560,345,432
平成30年度	2,238,992,185	154,778,791	183,829,918	665,799	2,578,266,693
令和元年度	2,285,766,014	153,057,919	150,948,448	1,156,783	2,590,929,164
令和2年度	2,285,034,650	149,860,775	227,973,682	643,469	2,663,512,576
令和3年度	2,317,233,220	139,625,824	321,078,270	557,736	2,778,495,050

予　　防

秋の全国火災予防運動広報活動

お出かけは　マスク戸締り　火の用心

（令和４年度全国統一防火標語）

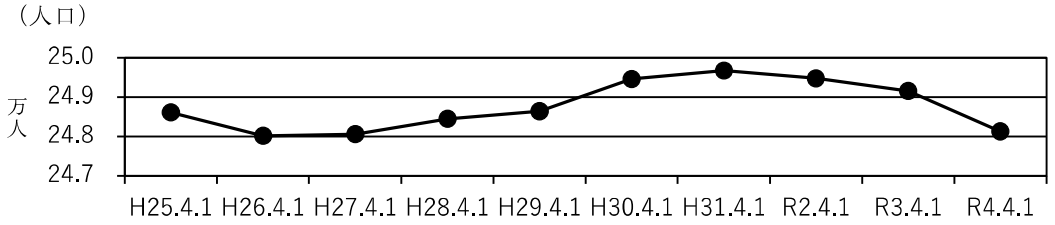
一連の　確かな所作で　無災害

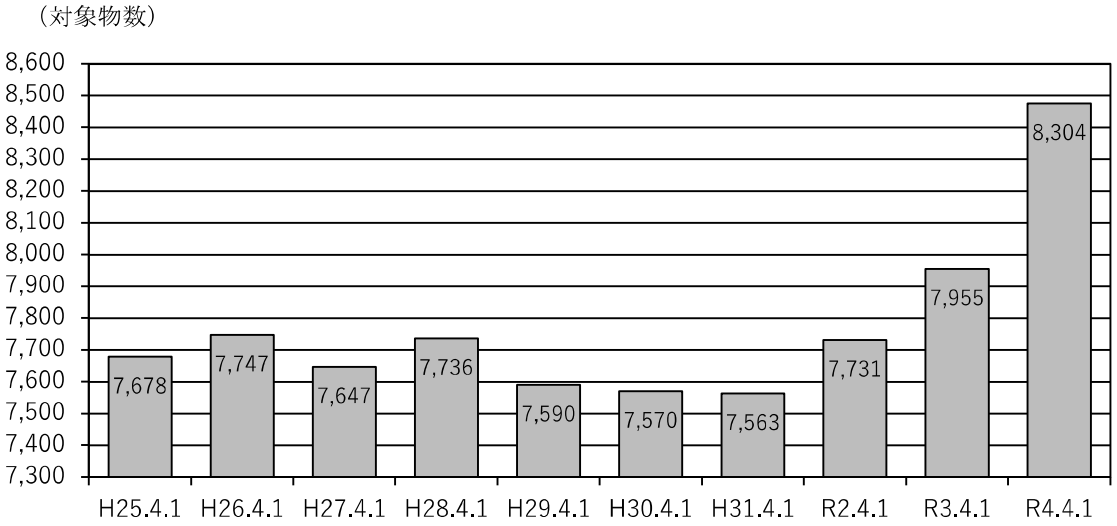
（令和４年度危険物安全週間推進標語）

査　察　対　象　物

管内における査察対象物の動向は、昨年に引き続き、高齢化社会の進展に伴い、高齢者福祉施設等が増加傾向にあります。また、法令の改正により、原則としてすべての飲食店に消火器の設置が義務付けられたことにより、飲食店の数が大幅に増加しました。

管内人口の推移と査察対象物の状況





地下タンク据付検査

査察対象物の現況

（令和4年4月1日現在）

項別		市町村別	伊勢崎市	玉村町	合　計
1	イ	劇場・映画館等	8		8
	ロ	公会堂・集会場	79	12	91
2	イ	キャバレー ナイトクラブ等	25		25
	ロ	ダンスホール・遊技場	26	4	30
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等			
	ニ	カラオケボックス等	9		9
3	イ	待合・料理店等	2		2
	ロ	飲食店	372	43	415
4		百貨店・マーケット等	463	36	499
5	イ	旅館・ホテル等	64		64
	ロ	共同住宅等	1,223	120	1,343
6	イ	病院・診療所等	166	21	187
	ロ	老人短期入所施設等	142	23	165
	ハ	老人デイサービス等	197	36	233
	ニ	幼稚園・特別支援学校	34	2	36
7		小・中・高・大学・各種学校等	156	46	202
8		図書館等	4		4
9	イ	サウナ浴場等	3		3
	ロ	公衆浴場等	2		2
10		車両・停車場等	3		3
11		神社・教会等	49	3	52
12	イ	工場・作業場	1,847	262	2,109
	ロ	映画・スタジオ等			
13	イ	車庫・駐車場等	63	12	75
	ロ	格納庫等	1		1
14		倉庫	1,342	230	1,572
15		事務所等	613	93	706
16	イ	複合用途防火対象物（特定）	261	32	293
	ロ	複合用途防火対象物（上記以外）	127	30	157
17		重要文化財等	17	1	18
合　計			7,298	1,006	8,304

中高層建築物棟数（４階以上）

（　）内数字は１１階以上又は高さ３１ｍを越える査察対象物数

（令和4年4月1日現在）

項別		市町村別	伊勢崎市	玉村町	合　計
1	イ	劇場・映画館等	1		1
	ロ	公会堂・集会場	3		3
2	イ	キャバレー ナイトクラブ等	1		1
	ロ	ダンスホール・遊技場	1		1
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等			
	ニ	カラオケボックス等			
3	イ	待合・料理店等			
	ロ	飲食店			
4		百貨店・マーケット等	5		5
5	イ	旅館・ホテル等	14(2)		14(2)
	ロ	共同住宅等	175(7)		175(7)
6	イ	病院・診療所等	8(1)		8(1)
	ロ	老人短期入所施設等	3		3
	ハ	老人デイサービス等	3		3
	ニ	幼稚園・特別支援学校	1		1
7		小・中・高・大学・各種学校等	14(１)	2	16(1)
12	イ	工場・作業場	11	2	13
	ロ	映画・スタジオ等			
13	イ	車庫・駐車場等	2		2
	ロ	格納庫等			
14		倉庫	2		2
15		事務所等	28(１)	3	31(1)
16	イ	複合用途防火対象物（特定）	28(４)	2	30(4)
	ロ	複合用途防火対象物（上記以外）	10	2(１)	12(1)
合　計			310(16)	11(1)	321(17)

１１階以上	8	1	9
１０階	4		4
９階	3		3
８階	4		4
７階	11		11
６階	26	2	28
５階	51		51
４階	203	8	211
合　計	310	11	321

査察対象物の立入検査状況

（令和3年度）

項別対象物数（査察対象物台帳の数とする）			伊勢崎市	玉村町	合　計
1	イ	劇場・映画館等	1		1
	ロ	公会堂・集会場	7		7
2	イ	キャバレー ナイトクラブ等	3		3
	ロ	ダンスホール・遊技場	9	2	11
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等			
	ニ	カラオケボックス等	2		2
3	イ	待合・料理店等	1		1
	ロ	飲食店	30		30
4	百貨店・マーケット等		43	4	47
5	イ	旅館・ホテル等	10		10
	ロ	共同住宅等	30	11	41
6	イ	病院・診療所等	9		9
	ロ	老人短期入所施設等	9	1	10
	ハ	老人デイサービス等	15		15
	ニ	幼稚園・特別支援学校	1		1
7	小・中・高・大学・各種学校等		5		5
8	図書館等				
9	イ	サウナ浴場等			
	ロ	公衆浴場等			
10	車両・停車場等				
11	神社・教会等		5		5
12	イ	工場・作業場	135	14	149
	ロ	映画・スタジオ等			
13	イ	車庫・駐車場等	3		3
	ロ	格納庫等			
14	倉庫		54	21	75
15	事務所等		16	3	19
16	イ	複合用途防火対象物（特定）	23	2	25
	ロ	複合用途防火対象物（上記以外）	10	5	15
17	重要文化財等				
その他					
合　計			421	63	484

各種届出等の状況

（令和3年度）

種別＼署別		伊勢崎署	赤堀署	東　署	境　署	玉村署	合　計
炉		9					9
暖房設備							
温風暖房機							
ボイラー・給湯湯沸設備		19	6	3	4	4	36
乾燥設備		5	4	2	9	2	22
サウナ設備			1				1
ヒートポンプ冷暖房機							
火花を生ずる設備							
放電加工機							
燃料電池発電設備							
発電設備		7		3	2	2	14
変電設備		32	6	9	19	7	73
急速充電設備			1				1
蓄電池設備		7		1	2	1	11
ネオン管灯設備							
水素ガスを充てんする気球							
火災と紛らわしい煙又は火災を発するおそれのある行為		29	3	6	6	16	60
煙火打上げ仕掛け		9	3	1	2		15
催物開催			1			3	4
水道断水・減水							
道路工事		3	8	7	2	82	102
少量危険物貯蔵取扱い		47	9	5	10	13	84
指定可燃物		17	6	7	1	7	38
消阻火害活物動質	圧縮アセチレンガス		1	2	3		6
	液化石油ガス	44	14	11	10	13	92
	毒物劇物	2					2
	その他の物質						
露店等の開設届出書		9	1	1	1	1	13
防火安全に関する意見書							
風俗営業に関する意見書							
合　計		239	64	58	71	151	583

建築・設備

建築同意事務処理の推移

年度別 市町村別	平成２９年度	平成３０年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
伊勢崎市	431	394	395	348	313
玉村町	43	59	49	28	32
合　計	474	453	444	376	345

計画通知事務処理の推移

年度別 市町村別	平成２９年度	平成３０年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
伊勢崎市	10	5	13	7	10
玉村町					
合　計	10	5	13	7	10

建築通知事務処理の推移

年度別 市町村別	平成２９年度	平成３０年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
伊勢崎市	1,252	1,239	1,147	1,055	1,210
玉村町	129	196	211	140	186
合　計	1,381	1,435	1,358	1,195	1,396

月別建築同意件数

（令和3年度）

項別		月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
1	イ	劇場・映画館等													
	ロ	公会堂・集会場													
2	イ	キャバレー ナイトクラブ等													
	ロ	ダンスホール・遊技場													
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等													
	ニ	カラオケボックス等													
3	イ	待合・料理店等													
	ロ	飲食店	1				1							2	4
4		百貨店・マーケット等		4	2	1	4			2	3	1		2	19
5	イ	旅館・ホテル等													
	ロ	共同住宅等			1	1				1	2	1		1	7
6	イ	病院・診療所等					1		1						2
	ロ	老人短期入所施設等				1	1			1		1			4
	ハ	老人デイサービス等		2	1	1	2		1	1	1			1	10
	ニ	幼稚園・特別支援学校													
7		小・中・高・大学・各種学校等													
8		図書館等						1							1
9	イ	サウナ浴場等													
	ロ	公衆浴場等													
10		車両・停車場等													
11		神社・教会等				1									1
12	イ	工場・作業場	3	2	3	2	2	2	4		1	2	2	3	26
	ロ	映画・スタジオ等													
13	イ	車庫・駐車場等	3	4	1	1			2	2		1		3	17
	ロ	格納庫等													
14		倉庫	2	5	6	2	3	2	4	7	2	3	3	7	46
15		事務所等	34	8	6	4	7	5	4	9	8	3	6	8	102
16	イ	複合用途防火対象物（特定）									1				1
	ロ	複合用途防火対象物（上記以外）					1								1
17		重要文化財等													
18		アーケード													
その他			8	8	17	14	13	11	5	9	9	2	3	5	104
合計			51	33	37	28	35	21	21	32	27	14	14	32	345

査察対象物の検査状況

（令和3年度）

項別		市町村別	伊勢崎市	玉村町	合　計
1	イ	劇場・映画館等			
	ロ	公会堂・集会場			
2	イ	キャバレー ナイトクラブ等	1		1
	ロ	ダンスホール・遊技場			
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等			
	ニ	カラオケボックス等	1		1
3	イ	待合・料理店等			
	ロ	飲食店	2		2
4		百貨店・マーケット等	5		5
5	イ	旅館・ホテル等	2		2
	ロ	共同住宅等	3		3
6	イ	病院・診療所等	4		4
	ロ	老人短期入所施設等	13	2	15
	ハ	老人デイサービス等	9	1	10
	ニ	幼稚園・特別支援学校			
7		小・中・高・大学・各種学校等	3		3
8		図書館等			
9	イ	サウナ浴場等			
	ロ	公衆浴場等			
10		車両・停車場等			
11		神社・教会等			
12	イ	工場・作業場	42	4	46
	ロ	映画・スタジオ等			
13	イ	車庫・駐車場等			
	ロ	格納庫等			
14		倉庫	28	2	30
15		事務所等	6	3	9
16	イ	複合用途防火対象物（特定）	7		7
	ロ	複合用途防火対象物（上記以外）	2		2
17		重要文化財等			
その他					
合　計			128	12	140

消防用設備等の検査状況

消防用設備等には、消火設備・警報設備・避難設備などの「消防の用に供する設備」、防火水槽・貯水池等の「消防用水」また消防隊が使用する「消火活動上必要な施設」などがあります。令和３年度中にこれらの設備の設置に伴う検査をしたものが下記の表であり、「必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備」をその他として示しています。

（令和3年度）

消火設備										警報設備						避難設備				消火活動上必要な施設					その他			
消火器	屋内消火栓設備	スプリンクラー設備	不活性ガス消火設備	泡消火設備	水噴霧消火設備	ハロゲン化物消火設備	粉末消火設備	屋外消火栓設備	動力消防ポンプ	自動火災報知設備	ガス漏れ火災報知設備	漏電火災警報器	消防機関へ通報する火災報知設備	非常警報設備（非常ベル等）	非常警報設備（放送設備）	避難器具	誘導灯	誘導標識	消防用水	排煙設備	連結散水設備	連結送水管	非常コンセント設備	無線通信補助設備	パッケージ型消火設備	パッケージ型自動消火設備	共同住宅用自動火災報知設備	合計
62	18	16					2	13	4	118			15	2	9	3	138		3						9	3		415

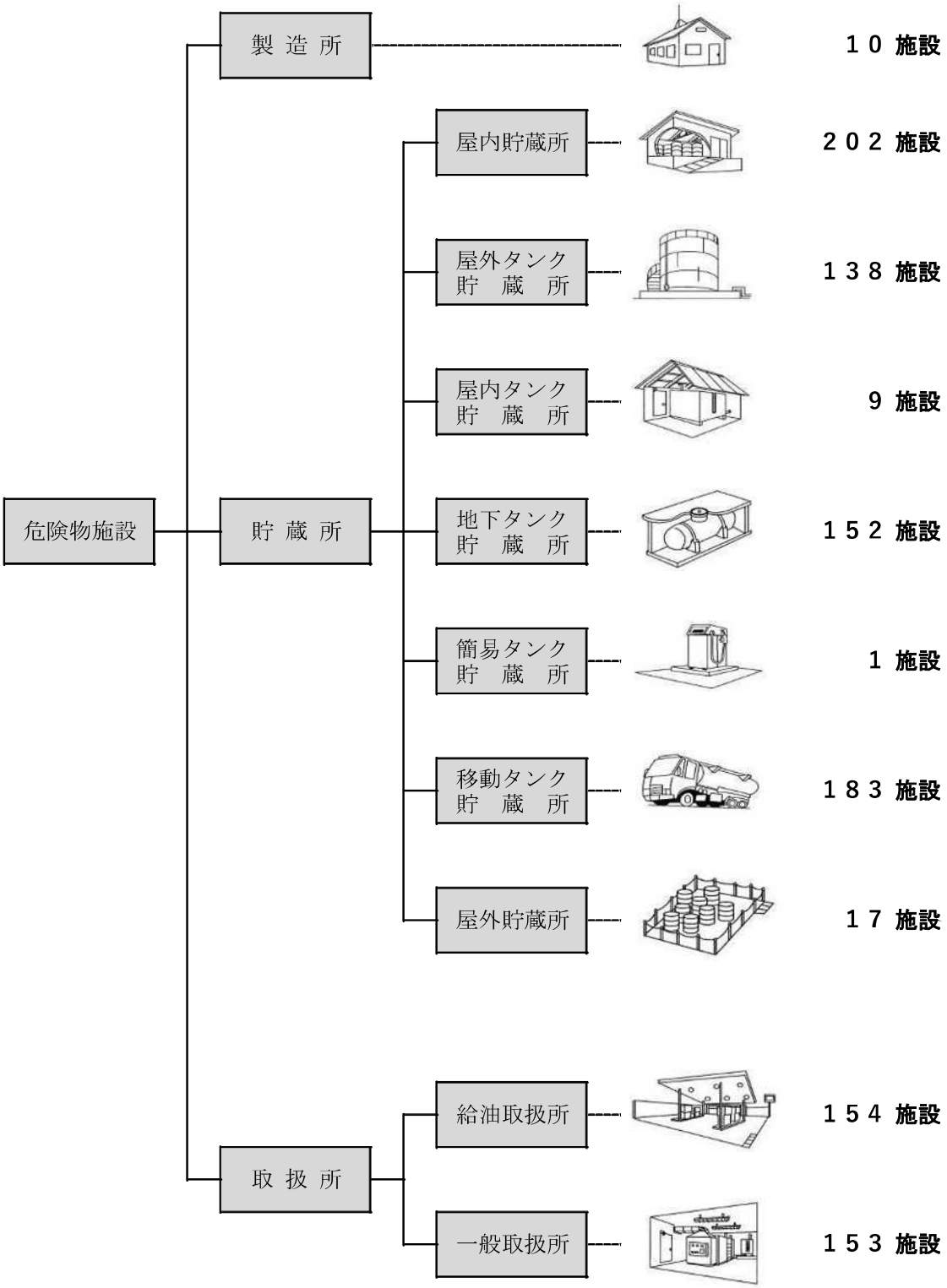
消火器・屋内消火栓設備の消防検査

防火対象物定期点検及び防災管理

	伊勢崎市	玉村町	合計
防火対象物定期点検が必要な建築物	127	11	138
防災管理者が必要な建築物	12	1	13

※防火対象物定期点検とは、多数の人が出入りする一定の防火対象物について、管理権原を有する人が火災予防のため資格者による定期点検を行い、その結果を消防機関へ報告するものです。
※防災管理者が必要な建築物とは、大規模・高層の建築物等で一定の規模以上の防火対象物です。

危 険 物 施 設


危険物施設
製 造 所
１０ 施設
貯 蔵 所
屋内貯蔵所
２０２ 施設
屋外タンク
貯 蔵 所
１３８ 施設
屋内タンク
貯 蔵 所
９ 施設
地下タンク
貯 蔵 所
１５２ 施設
簡易タンク
貯 蔵 所
１ 施設
移動タンク
貯 蔵 所
１８３ 施設
屋外貯蔵所
１７ 施設
取 扱 所
給油取扱所
１５４ 施設
一般取扱所
１５３ 施設

危険物製造所等の設置状況

（令和4年4月1日現在）

倍数別 市町別 / 製造所等の別 市町別		指定数量の倍数別									市町別	
		5倍以下	5倍を超え10倍以下	10倍を超え50倍以下	50倍を超え100倍以下	100倍を超え150倍以下	150倍を超え200倍以下	200倍を超え1000倍以下	1000倍を超え5000倍以下	合計	伊勢崎市	玉村町
製造所			2	4	2		1	1		10	7	3
貯蔵所	屋内貯蔵所	90	52	29	14	6	5	2	4	202	180	22
	屋外タンク貯蔵所	53	23	40	12	2	3	5		138	127	11
	屋内タンク貯蔵所	5	3	1						9	6	3
	地下タンク貯蔵所	65	35	35	13	2		2		152	120	32
	簡易タンク貯蔵所	1								1	1	
	移動タンク貯蔵所	121	4	12	36	10				183	57	126
	屋外貯蔵所	6	6	5						17	17	
取扱所	給油取扱所	6	14	66	9	10	9	40		154	116	38
	一般取扱所	65	51	29	6			2		153	123	30
合計		412	190	221	92	30	18	52	4	1,019	754	265
市町別	伊勢崎市	284	157	178	53	17	16	46	3	754		
	玉村町	128	33	43	39	13	2	6	1	265		

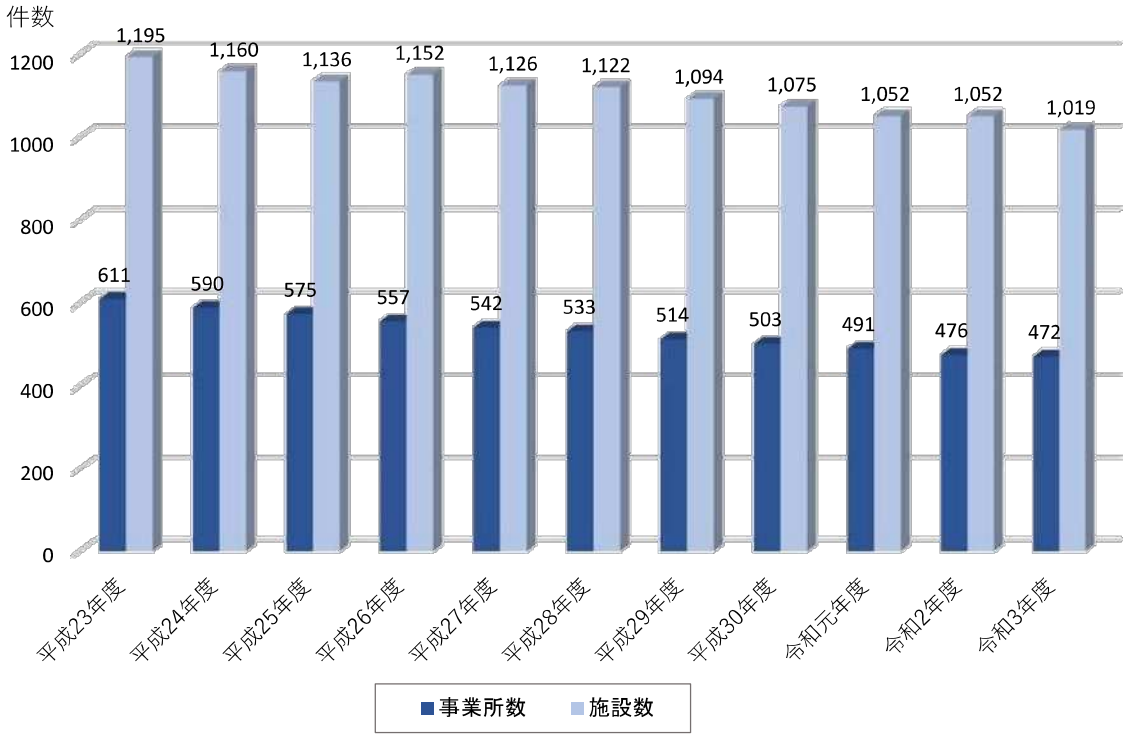
危険物製造所等許可・検査・届出等の件数

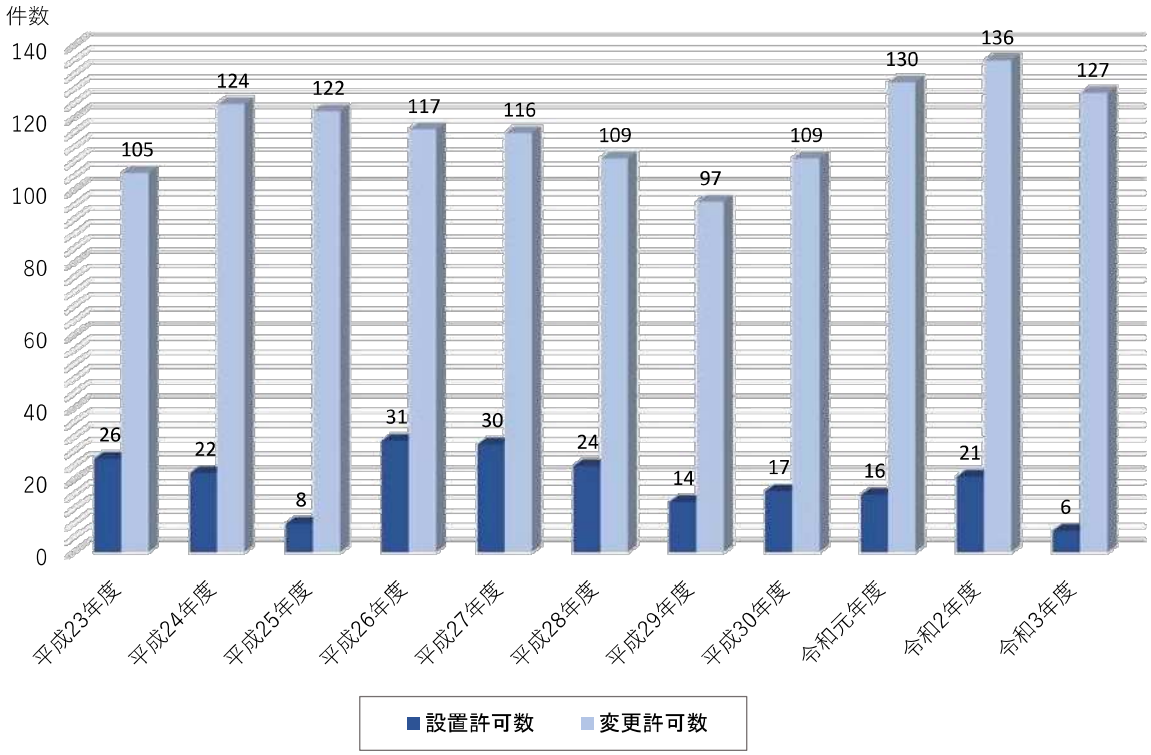
（令和3年度）

製造所等の別 市町別 / 許可・検査・届出の区分		製造所	貯蔵所							取扱所		合計	市町別	
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	一般取扱所		伊勢崎市	玉村町
許可	設置			1				4		1		6	1	5
	変更	8	4	4		3		71		15	22	127	50	77
完成検査	設置		1	1				4				6	1	5
	変更	8	3	4		3		54		15	23	110	50	60
仮使用承認		4	2	1		2				15	17	41	37	4
予防規程		1	3			1				9	4	18	15	3
保安監督者選解任届		1	34	9		3			4	17	17	85	75	10
関係資料提出書		6	56	40	2	41		3	4	60	74	286	232	54
譲渡引渡届								72				72	7	65
種類・数量変更届		1	15	1		1		6		1	3	28	20	8
廃止届			2	5		5		2		3	4	21	17	4
火気使用届														
仮貯蔵・仮取扱承認												5	4	1
液化石油ガス等の意見書														
液化石油ガス設備工事届												11	11	
完成検査前検査	タンク水張検査											2 (118)	2 (118)	( )
	タンク水圧検査											54 ( )	54 ( )	( )

※（　）は少量タンク

危険物製造所等施設数及び事業所数の推移





警　防

【緊急消防援助隊】静岡県熱海市で発生した土砂災害現場での活動の様子

消防隊出動状況

（令和3年中）

種別		月別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
火災出動	建　物	件数	44	5	6	6	4	2	1	6	1	3	3	2	5
		隊数	287	39	31	63	28	19	1	39	10	20	13	3	21
		人員	983	118	127	204	104	64	3	133	36	67	42	15	70
	車　両	件数	13			3		1	2	1	1	2	1		2
		隊数	51			15		3	10	2	3	5	3		10
		人員	197			74		11	31	9	13	19	13		27
	その他	件数	27	4		6	6	2	2	1	1		1	3	1
		隊数	123	11		38	34	16	5	1	3		2	7	6
		人員	404	36		113	119	55	12	3	11		8	23	24
	小　計	件数	84	9	6	15	10	5	5	8	3	5	5	5	8
		隊数	461	50	31	116	62	38	16	42	16	25	18	10	37
		人員	1,584	154	127	391	223	130	46	145	60	86	63	38	121
救助出動※1		件数	89	5	4	8	3	10	6	7	11	7	8	8	12
		隊数	285	15	13	25	9	33	21	24	38	22	25	23	37
		人員	966	47	40	88	31	114	80	75	118	77	84	78	134
自然災害出動		件数	3			1			1	1					
		隊数	3			1			1	1					
		人員	12			6			3	3					
警戒出動・その他災害出動※2		件数	1,340	131	106	96	111	110	108	103	113	107	110	92	153
		隊数	1,513	157	120	118	130	126	119	113	122	123	120	100	165
		人員	4,452	438	386	343	387	372	343	334	362	347	370	286	484
誤　報		件数	127	7	4	9	12	20	6	16	25	8	6	5	9
		隊数	229	20	4	17	21	36	7	25	43	9	17	11	19
		人員	801	71	18	53	80	124	24	70	153	23	68	43	74
合　計		件数	1,643	152	120	129	136	145	126	135	152	127	129	110	182
		隊数	2,491	242	168	277	222	233	164	205	219	179	180	144	258
		人員	7,815	710	571	881	721	740	496	627	693	533	585	445	813

演習・訓練	隊数	55		1		7	4	1	9	3	12	7	8	3
	人員	166		2		22	10	4	19	7	38	23	31	10
広報・指導	隊数	985	145	82	106	51	54	49	56	60	61	87	150	84
	人員	2,333	378	190	243	129	123	111	121	113	122	211	387	205
警防調査	隊数	305	20	9	9	79	13	35	36	30	22	15	21	16
	人員	833	54	25	26	218	34	88	99	78	69	41	57	44
特別警戒	隊数	7												7
	人員	20												20
予防査察	隊数	408	19	6	9	8	1	3	73	8	5	77	149	50
	人員	1,170	52	15	23	21	2	7	212	21	14	214	455	134
その他	隊数	1,550	92	108	142	127	127	95	118	179	108	128	156	170
	人員	3,735	251	254	315	248	298	233	287	446	256	325	392	430
合　計	隊数	3,310	276	206	266	272	199	183	292	280	208	314	484	330
	人員	8,257	735	486	607	638	467	443	738	665	499	814	1,322	843

※1　火災、特殊災害、管外応援及び誤報を除く。

※2　その他災害出動とは、特殊災害出動、救急支援出動、ドクターヘリ支援出動、危険排除出動等をいう。

高速自動車国道等出動状況

1　救急出動

（令和3年中）

路線＼種別		救急									救急合計
		火災	自然災害	交通事故	労働災害	一般負傷	加害	自損行為	急病	左記以外の救急	
関　越	出動件数										
	搬送人員										
上信越	出動件数										
	搬送人員										
北関東	出動件数			2					2		4
	搬送人員			1					2		3
合　計	出動件数			2					2		4
	搬送人員			1					2		3

2　火災出動・救助出動・支援出動

（令和3年中）

路線＼種別		火災			火災合計	救助				救助合計	支援等
		建物火災	車両火災	左記以外の火災		火災	交通事故	風水害等自然災害	左記以外の救助		
関　越	出動件数										
	出動台数										
上信越	出動件数										
	出動台数										
北関東	出動件数		2		2						2
	出動台数		11		11						7
合　計	出動件数		2		2						2
	出動台数		11		11						7

火薬類（煙火）消費許可

（令和3年度）

実施日	実施名	火薬類の種類及び数量							
		火薬	2号玉	2.5号玉	3号玉	4号玉	5号玉	マスターイン	小型
6月27日(日)	オートレース優勝戦後花火打上	5.7kg	67個	10個	15個				
8月15日(日)	オートレース優勝戦後花火打上	7.0kg	96個	80個	40個				
9月12日(日)	オートレース優勝戦後花火打上	7.0kg	96個	80個	40個				
10月23日(土)	Cheer up 花火打上	7.2kg						1台	
10月30日(土)	伊勢崎市の地域活性化と子供達の笑顔のため花火打上	42.748kg			13個	90個	40個	6台	3台
11月11日(木)	群馬県立障害者リハビリテーションセンター文化祭	9.3kg		50個				2台	6台
11月13日(土)	赤堀南小区花火打上	10.45kg		10個	50個	35個		6台	9台
12月11日(土)	いせさき冬花火	85.38kg			10個			1台	
3月11日(金)	地域活性化による花火打上	20.491kg		40個	80個	30個		6台	13台

水 防 関 係

※伊勢崎市消防団水防活動マニュアルから抜粋

令和３年度伊勢崎市水防訓練

実施訓練	実施日	訓練会場
伊勢崎市消防団 水防活動マニュアル等説明会	6月22日・6月24日	消防本部４階会議室

水防倉庫資器材備蓄一覧表

資器材別 ＼ 水防倉庫別		伊勢崎消防署水防倉庫	太田水防倉庫	華蔵寺水防倉庫	南分署水防倉庫 ※	西分署水防倉庫 ※	赤堀消防署水防倉庫	東消防署水防倉庫	境消防署水防倉庫 ※	境（旧保泉）水防倉庫 ※	境防災センター水防倉庫 ※	境島村公民館水防倉庫 ※	境平塚水防倉庫 ※	境三ツ木水防倉庫	伊勢崎下流域水防倉庫	道路維持課分室水防倉庫 ※	合計
完成土のう	個	421	260	350	358	493	472	359	450			300	26	600	840		4,929
土のう袋	枚	8,527	3,800	3,400	1,935	1,618	1,880	1,798	2,133	1,514	1,250	3,200	1,800	2,015	1,389		36,259
木杭	本	45	20	200			39		3			21		80	5		413
丸太	本	71	10				7	30			24						142
鉄杭	本	79	21					9	360	60				70	9		608
鉄杭(黄・黒柄)	本	402	191	478	200	85	98	79	198	55	50	87	43	53	40		2,059
パイプ杭(Φ40㎜)	本	123	35				30										188
縄	巻	10	5	6			4					4				3	32
ロープ(黄・黒柄)	巻	3	2	3	3	2	7	2	4				2				28
ビニールロープ	巻	8	2	13	5	3	3	2	3		2	2	2	2	2		49
鉄線	kg	80	30	75	50	8	40	25	10		50	30	20	20	30		468
ビニールシート	枚	25	5	5	4	5	5	3	5	3	5	5	5	5	5	2	87
釘	kg	4	4	4													12
軽量鋼板	枚	70					30							46			146
シート張り	枚																0
塩ビ　パイプ	本	5	1	1			1	1	2	1	4	2	1	1	1		21
竹とげ	丁	3		1		1	1	1	1					20			28
剣先スコップ	丁	64	30	40	41	20	23	17	26	11	23	34	21	23	27	5	405
角スコップ	丁	28			7	5	6	10	11				5			17	89
掛矢	丁	23	20	27	12	4	6	7	8	4	4	5	5	3	4	2	134
なた	丁	4	5	6	4	2	5	5	3	4	4	7	6	4	4	3	66
かま	丁	18	10	19	9	2	11	10	6	7	5	8	9	5	5	9	133
のこぎり	丁	15	15	19	5	3	7	6	8	8	10	11	9	7	4	5	132
斧(大＝杭ごしらえ可)	丁	5					5	1	1	1	2			1	2		18
斧(小)	丁	2	2	5	5	2	2	2	2	1	3	3	2	1			32
唐ぐわ	丁	5	4	4	3		4	3	1	3	2	2	3	2	2		38
つるはし	丁	11	11	25	7	4	5	5	2	2	2	4	4	2	2	2	88
ペンチ	丁	8	2		2	2	2	3		2	2	4	2	2		3	34
ハンマー（両手）	丁	12	2	1	5	10	5	6	5	2	3	3	2	2	1	2	61
ハンマー（片手大）	丁	16	6					1	3								26
ハンマー（片手小）	丁	13		13	10	6		7	12	1	6	11	13	8	5	2	107
鉄線カッター	丁	5	3	2	2	2	2	1	1	1	2	1	2	2	1	1	28
バール	丁	3	2	2	3	2	2	1	4	2	2	4	2	2	3	5	39
しの	丁	3			2	4	6	2					1				18
もっこ	台					10			2								12
たこづち	丁	11			2	2	2	2	2								21
一輪車	台	3			1	1	2	2	2							1	12
水防マット	枚	4						5									9
チェンソー	機	1			1	1	1	1	1							3	9
排水ポンプ	基							1	1							3	5

※　アルミ製コンテナ

応　援　協　定

群馬県消防相互応援協定

大規模かつ広域的な災害、その他緊急を要する災害が発生した場合において、協定団体相互間の消防力を活用して当該災害による被害を最小限度に防止する目的で、関係消防機関と相互応援協定を締結している。（群馬県全域）

平成１９年９月４日

協定団体

前橋市消防局	利根沼田広域消防本部
高崎市等広域消防局	渋川広域消防本部
桐生市消防本部	多野藤岡広域消防本部
太田市消防本部	富岡甘楽広域消防本部
館林地区消防本部	吾妻広域消防本部

特殊災害消防対策相互応援協定

隣接消防機関の相互の緊密なる協力のもとに特殊災害に対処する目的で、群馬、栃木隣接の関係消防機関と相互応援協定を締結している。

平成１８年３月２７日

協定団体

桐生市消防本部	佐野市消防本部
太田市消防本部	足利市消防本部
館林地区消防本部	

関越自動車道、上信越自動車道及び北関東自動車道における消防相互応援協定

関越自動車道の本庄・関越トンネル間、上信越自動車道の藤岡・佐久間及び北関東自動車道の高崎・足利間における、火災又は救急事故等が発生した際に消防業務の円滑化を図る目的で、関係消防機関と相互応援協定を締結している。

平成２３年３月９日

協定団体

前橋市消防局	利根沼田広域消防本部
高崎市等広域消防局	富岡甘楽広域消防本部
多野藤岡広域消防本部	佐久広域連合消防本部
児玉郡市広域消防本部	太田市消防本部
渋川広域消防本部	足利市消防本部

消防相互応援協定

火災、地震その他緊急を要する災害が発生した場合において、協定団体相互間の消防力を活用して、当該災害による被害を最小限に防止する目的で、利根川を挟み隣接する埼玉県の消防機関と相互応援協定を締結している。

平成２０年４月１日

協定団体

児玉郡市広域消防本部
深谷市消防本部

群馬県防災航空隊支援協定

地震･台風･水火災及び事故等の災害の場合において、群馬県防災航空隊（防災ヘリコプター）の支援を受けることによって被害を最小限に防止する目的で、群馬県と支援協定を締結している。

平成１８年３月２７日

協定団体

群馬県

鉄道災害時における鉄道事業者と消防機関との連携に関する応援協定

鉄道災害発生時において、鉄道事業者及び消防機関との連携を図り、より迅速かつ効率的な消防活動及び安全管理体制の確保に努めるとともに、公共交通機関の早期運転再開の実施を図る目的で、群馬県、鉄道事業者、消防機関と応援協定を締結している。

平成２０年１０月１日

協定団体

群馬県	利根沼田広域消防本部
東日本旅客鉄道株式会社高崎	渋川広域消防本部
上信電鉄株式会社	多野藤岡広域消防本部
前橋市消防局	富岡甘楽広域消防本部
高崎市等広域消防局	吾妻広域消防本部
桐生市消防本部	

鉄道災害時における鉄道事業者と消防機関との連携に関する応援協定

鉄道災害発生時において、鉄道事業者及び消防機関との連携を図り、より迅速かつ効率的な消防活動及び安全管理体制の確保に努めるとともに、公共交通機関の早期運転再開の実施を図る目的で、鉄道事業者、消防機関と応援協定を締結している。

平成２１年７月１日

協定団体

東武鉄道株式会社	桐生市消防本部
太田市消防本部	館林地区消防本部

火災または地震等の災害時における消火用水供給応援に関する協定

火災又は地震等の消火活動に関し、消火用水の供給応援を受けることによって被害を最小限度に防止する目的で、コンクリートミキサー車を有する企業と応援協定を締結している。

平成１０年１月１７日

協定団体

上州生コン株式会社
田中生コン株式会社

大規模災害時における石油類燃料の供給に関する協定

地震等の大規模な災害の発生により市内のサービスステーションが混雑し、緊急車輌の運行に必要な石油類燃料の調達が困難となった場合において、優先的かつ安定的な石油類燃料の供給を受ける目的で、サービスステーションを所有する企業と応援協定を締結している。

平成２５年２月１日

協定団体

藤本商事株式会社

消防活動の協力に関する協定

火災等の災害時の消防活動に関し、重機等を保有する建設事業者に対して協力要請を迅速に行う目的で協定を締結している。

平成３０年５月２４日

協定団体

株式会社サンケン

平成３０年６月２８日

協定団体

第一工業株式会社

群馬ボートライセンススクールとの連携・協力に関する協定

大規模災害発生時の協力体制及び職員の教育・人材育成の推進のため、相互協力が可能な事項について連携・協力し、消防力強化を効果的に生み出していく目的で協定を締結している。

令和４年４月１２日

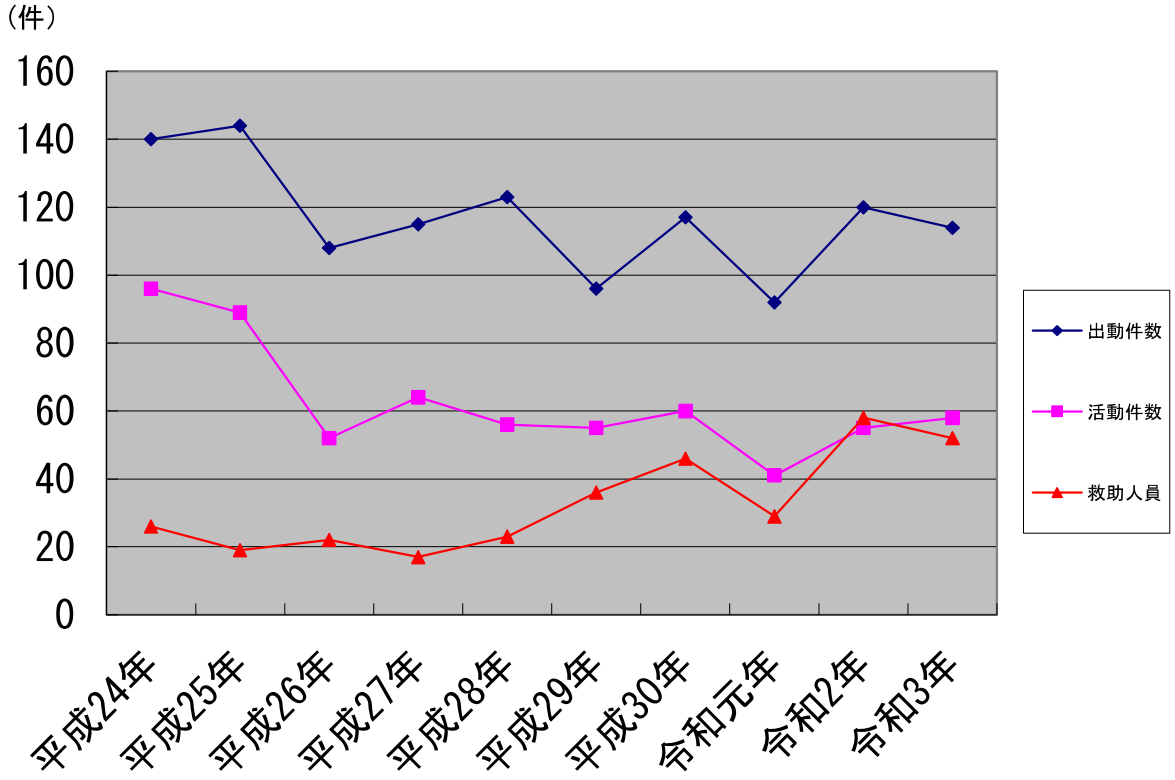
協定団体

有限会社籠島装業　群馬ボートライセンススクール

救　助　活　動　概　要

令和3年中の救助出動件数は114件、活動件数は58件で前年と比較すると出動件数は6件増し、活動件数3件増となっています。
また、消防隊等により救助された人（救助人員）は、52人で前年と比較すると6人増加しています。

救助活動の推移（過去10年間）



区分 年	出動件数	活動件数	救助人員
平成24年	140	96	26
平成25年	144	89	19
平成26年	108	52	22
平成27年	115	64	17
平成28年	123	56	23
平成29年	96	55	36
平成30年	117	60	46
令和元年	92	41	29
令和2年	120	55	58
令和3年	114	58	52

事故種別救助活動状況

（令和３年中）

区分 / 事故種別		救助出動件数		救助活動件数	
火災	建　　物	12	12	12	12
	建物以外	0		0	
交　通　事　故		53	102	22	46
水　難　事　故		5		4	
自然災害事故		0		0	
機械による事故		4		2	
建物等による事故		13		9	
ガス及び酸欠事故		2		2	
破　裂　事　故		0		0	
その他の事故		25		7	
合　計		114		58	

事故種別発生場所別出動件数

（令和３年中）

事故種別 / 発生場所			火　災		交通事故	水難事故	自然災害事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計
			建物	建物以外									
屋内	住　　居		10						10			7	27
屋内	その他の屋内		2					3	2			7	14
屋外	道路	高速自動車国道等											0
屋外	道路	その他の道路			51							1	52
屋外	水面	内　水　面				5							5
屋外	水面	外　水　面											0
屋外	山　　岳												0
屋外	その他の屋外				2			1	1	2		9	15
地　　下													0
そ　の　他												1	1
合　　計			12	0	53	5	0	4	13	2	0	25	114

指　揮　調　査

警察機関と合同で実況見分を行っている状況

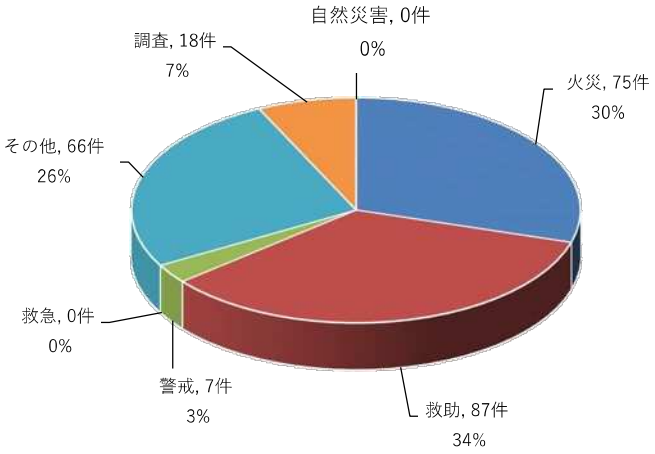
〈火災の概況〉

令和３年中の管内における火災件数は８４件で前年に比べ２件増加しています。
構成市町別では伊勢崎市が７６件、玉村町が８件となっております。
損害額については１４，８１３万円であり、前年より４，１１４万円の減少となりました。

指　揮　活　動

指揮活動の状況

指揮隊出動件数 ・ 災害種別内訳



指揮隊出動内訳

（令和3年中）

	火　災	救　助	警　戒	救　急	その他	調　査	自然災害	月　計
１月	8	4	1	0	8	2	0	23
２月	6	4	2	0	2	0	0	14
３月	15	8	1	0	4	4	0	32
４月	9	3	2	0	6	3	0	23
５月	5	10	0	0	8	2	0	25
６月	4	6	0	0	5	0	0	15
７月	6	7	0	0	4	2	0	19
８月	4	11	0	0	9	1	0	25
９月	5	7	0	0	3	2	0	17
１０月	4	8	1	0	4	1	0	18
１１月	3	7	0	0	6	0	0	16
１２月	6	12	0	0	7	1	0	26
合計（件）	75	87	7	0	66	18	0	253

火 災 の 状 況

（令和2年･令和3年比較）

		令和3年（A）	令和2年（B）	増減（A）－（B）（C）	増減率(C)/(B)×100 （%）
出火件数（件）		84	82	2	2
	建　　物	44	51	△ 7	△ 14
	車　　両	13	10	3	30
	そ の 他	27	21	6	29
焼損棟数（棟）		58	66	△ 8	△ 12
	全　　焼	10	7	3	43
	半　　焼	5	5	0	0
	部 分 焼	16	23	△ 7	△ 30
	ぼ　　や	27	31	△ 4	△ 13
り災世帯（世帯）		32	27	5	19
	全　　損	8	3	5	167
	半　　損	4	3	1	33
	小　　損	20	21	△ 1	△ 5
り災人員（人）		58	64	△ 6	△ 9
死 傷 者 （ 人 ）		13	9	4	44
	死　　者	4	0	4	—
	負 傷 者	9	9	0	0
	30日死者	0	0	0	—
焼損	床 面 積（㎡）	1,602	1,934	△ 332	△ 17
	表 面 積（㎡）	120	801	△ 681	△ 85
損害額（千円）		148,135	189,276	△ 41,141	△ 22
	建　　物	114,807	100,834	13,973	14
	収 容 物	19,754	83,270	△ 63,516	△ 76
	車　　両	4,682	4,838	△ 156	△ 3
	そ の 他	8,892	334	8,558	2,562
出 火 率 （ 件 ）		3.4	3.3	0.1	3

（注）1　死者とは、火災により負傷した後、48時間以内に死亡したものをいう。

2　30日死者とは、負傷者のうちで火災に起因する原因により、48時間を経過して30日以内に死亡したものをいう。

3　焼損面積は、建物のみ。

4　出火率とは、人口1万人当たりの出火件数をいう。

5　△は減少を示す。

市町別出火状況

（令和3年中）

		伊勢崎市	玉村町	合　計
出火件数（件）		76	8	84
	建　　物	39	5	44
	車　　両	13	0	13
	そ の 他	24	3	27
焼損棟数（棟）		51	7	58
	全　　焼	7	3	10
	半　　焼	4	1	5
	部 分 焼	15	1	16
	ぼ　　や	25	2	27
り災世帯（世帯）		26	6	32
	全　　損	6	2	8
	半　　損	3	1	4
	小　　損	17	3	20
り災人員（人）		50	8	58
死 傷 者 （ 人 ）		13	0	13
	死　　者	4	0	4
	負 傷 者	9	0	9
	３０日死者	0	0	0
焼損	床面積（㎡）	1,105	497	1,602
	表面積（㎡）	108	12	120
損害額（千円）		94,754	53,381	148,135
	建　　物	67,264	47,543	114,807
	収 容 物	15,834	3,920	19,754
	車　　両	4,455	227	4,682
	そ の 他	7,201	1,691	8,892
出 火 率 （ 件 ）		3.6	2.2	3.4

（注）　1　死者とは、火災により負傷した後、48時間以内に死亡したものをいう。

2　30日死者とは、負傷者のうちで火災に起因する原因により、48時間を経過して30日以内に死亡したものをいう。

3　焼損面積は、建物のみ。

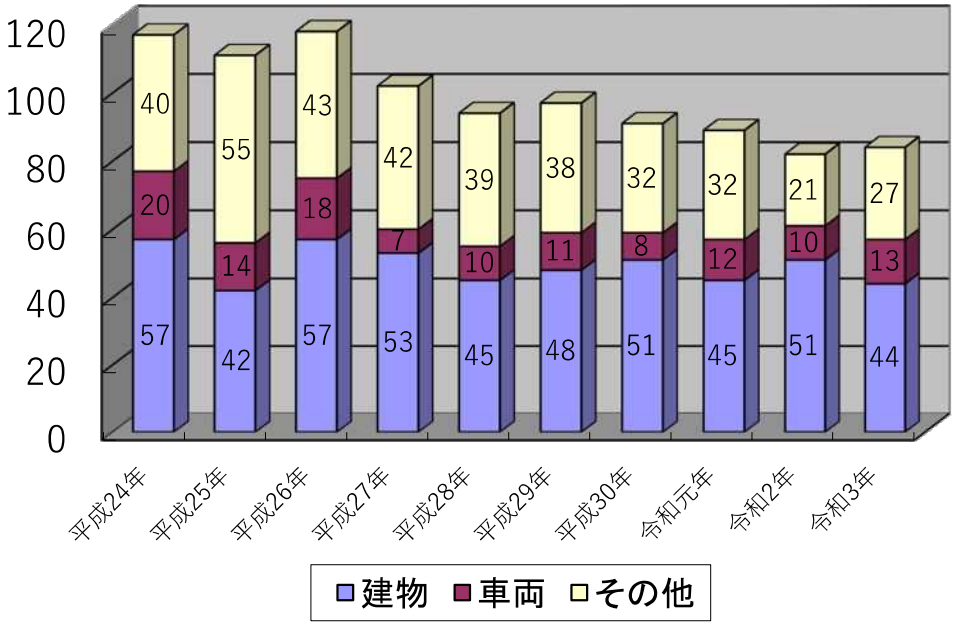
4　出火率とは、人口1万人当たりの出火件数をいう。

火 災 状 況 の 推 移

（過去10年間）

	件　　数	焼損面積（㎡）		損害額（千円）	死者（人）	負傷者（人）		出火率
平成24年	117	床	3,530	151,010	2	17		4.7
		表	258			30日死者	0	
平成25年	111	床	1,457	75,362	2	23		4.5
		表	651			30日死者	0	
平成26年	118	床	1,530	102,893	5	19		4.8
		表	663			30日死者	0	
平成27年	102	床	4,049	170,081	5	11		4.1
		表	855			30日死者	0	
平成28年	94	床	3,086	224,768	6	15		3.8
		表	759			30日死者	1	
平成29年	97	床	2,478	236,449	3	11		3.9
		表	600			30日死者	0	
平成30年	91	床	3,491	394,191	6	7		3.6
		表	304			30日死者	0	
令和元年	89	床	3,013	149,737	6	15		3.6
		表	300			30日死者	1	
令和2年	82	床	1,934	189,276	0	9		3.3
		表	801			30日死者	0	
令和3年	84	床	1,602	148,135	4	9		3.4
		表	120			30日死者	0	

火災件数の推移



火　災　件　数

建物火災

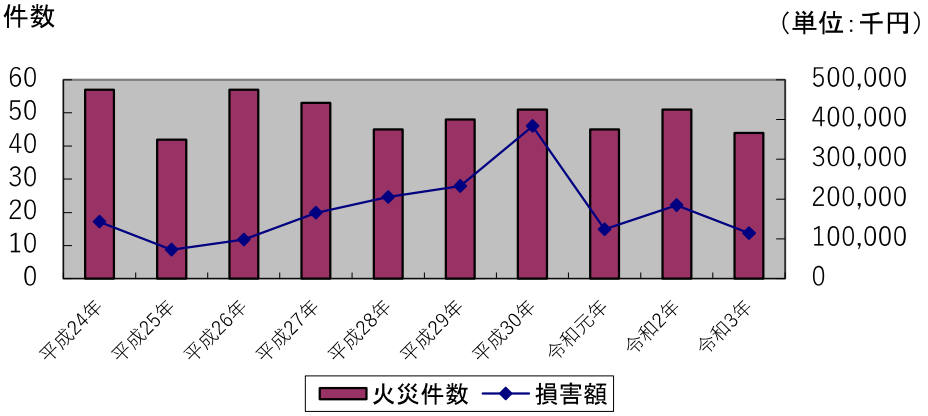
建物火災は44件で前年に比べ7件減少している。損害額は13,479万円で前年と比べ4,917万円減少している。

建物火災の推移

（単位：千円）

	火災件数	※損害額
平成24年	57	142,963
平成25年	42	72,629
平成26年	57	98,207
平成27年	53	165,792
平成28年	45	205,352
平成29年	48	232,531
平成30年	51	383,132
令和元年	45	125,737
令和2年	51	184,515
令和3年	44	134,797

※建物火災に関連した損害を含む。



車両火災

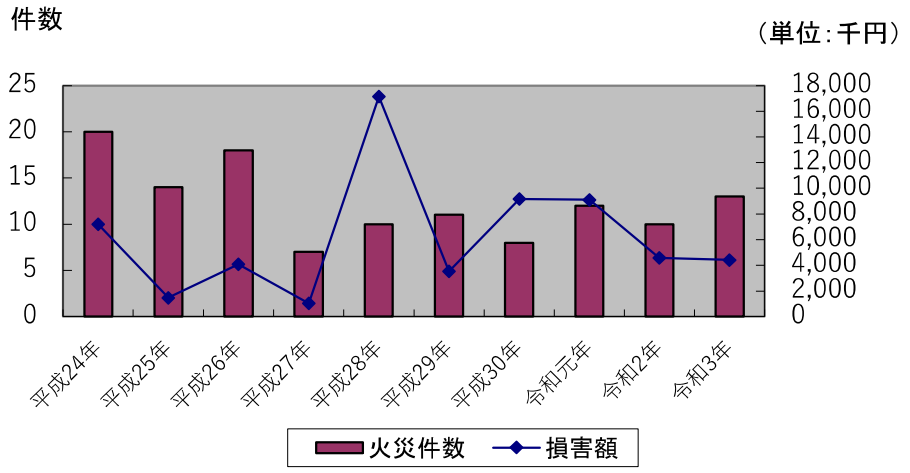
車両火災は13件で前年に比べ3件増加している。損害額は442万円で前年と比べ15万円減少している。

車両火災の推移

（単位：千円）

	火災件数	※損害額
平成24年	20	7,195
平成25年	14	1,476
平成26年	18	4,066
平成27年	7	1,028
平成28年	10	17,142
平成29年	11	3,526
平成30年	8	9,179
令和元年	12	9,114
令和2年	10	4,579
令和3年	13	4,423

※車両火災に関連した損害を含む。



その他の火災

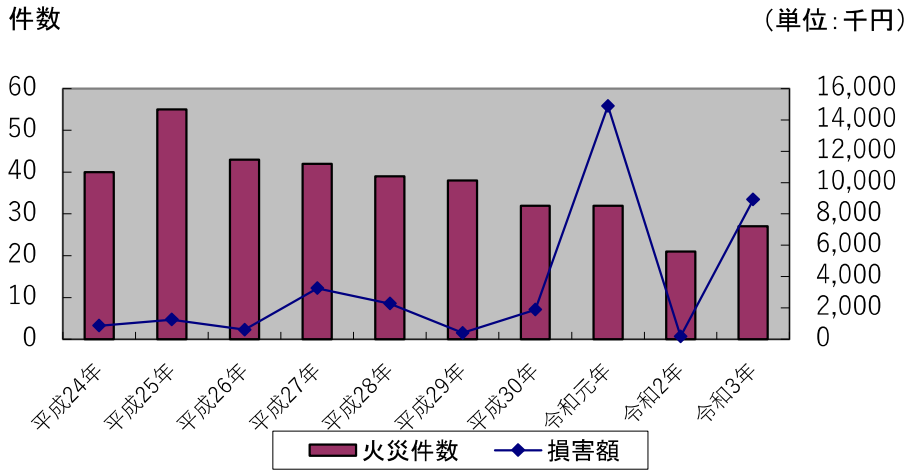
その他の火災は27件で前年と比べ6件増加している。損害額は891万円で前年と比べ873万円増加している。

その他の火災の推移

（単位：千円）

	火災件数	※損害額
平成24年	40	852
平成25年	55	1,257
平成26年	43	607
平成27年	42	3,261
平成28年	39	2,274
平成29年	38	392
平成30年	32	1,880
令和元年	32	14,886
令和2年	21	182
令和3年	27	8,915

※その他の火災に関連した損害を含む。



出　火　原　因

令和3年中における全火災84件中を原因別に見ると、出火原因の第1位は「電気に起因するもの（15件・全体の18%）」、第2位は「たばこ（10件・全体の12%）」、第3位は「たき火（9件・全体の11%）」となっている。

※電気に起因するものとは、出火原因が「電気機器」「電気装置」「電灯・電話等の配線」「配線器具」の火災のことをいう。

1　電気に起因するものの損害状況

電気に起因するものによる火災は15件で前年に比べ1件増加している。電気に起因するものによる主な経過別出火件数を見ると、「スパークする」が6件で1番多く、全体の40%を占めている。

電気に起因するものによる火災の損害額は1,713万円で前年に比べ504万円減少している。

	単位	電気に起因するものの損害状況		
		令和3年	令和2年	増減値
出火件数	件	15	14	1
建物火災	件	11	12	△ 1
車両火災	件	1	2	△ 1
その他の火災	件	3	0	3
建物焼損床面積	㎡	44	444	△ 400
建物焼損表面積	㎡	0	111	△ 111
損害額	千円	17,139	22,182	△ 5,043

2　たばこによる火災の損害状況

たばこによる火災は10件で前年に比べ2件減少している。たばこによる主な経過別出火件数を見ると、「不適当なところに捨て置く」が8件で全体の80%を占めている。

たばこによる火災の損害額は16万円で前年に比べ2,099万円減少している。

	単位	たばこによる火災の損害状況		
		令和3年	令和2年	増減値
出火件数	件	10	12	△ 2
建物火災	件	4	7	△ 3
車両火災	件	2	1	1
その他の火災	件	4	4	0
建物焼損床面積	㎡	0	376	△ 376
建物焼損表面積	㎡	35	161	△ 126
損害額	千円	168	21,161	△ 20,993

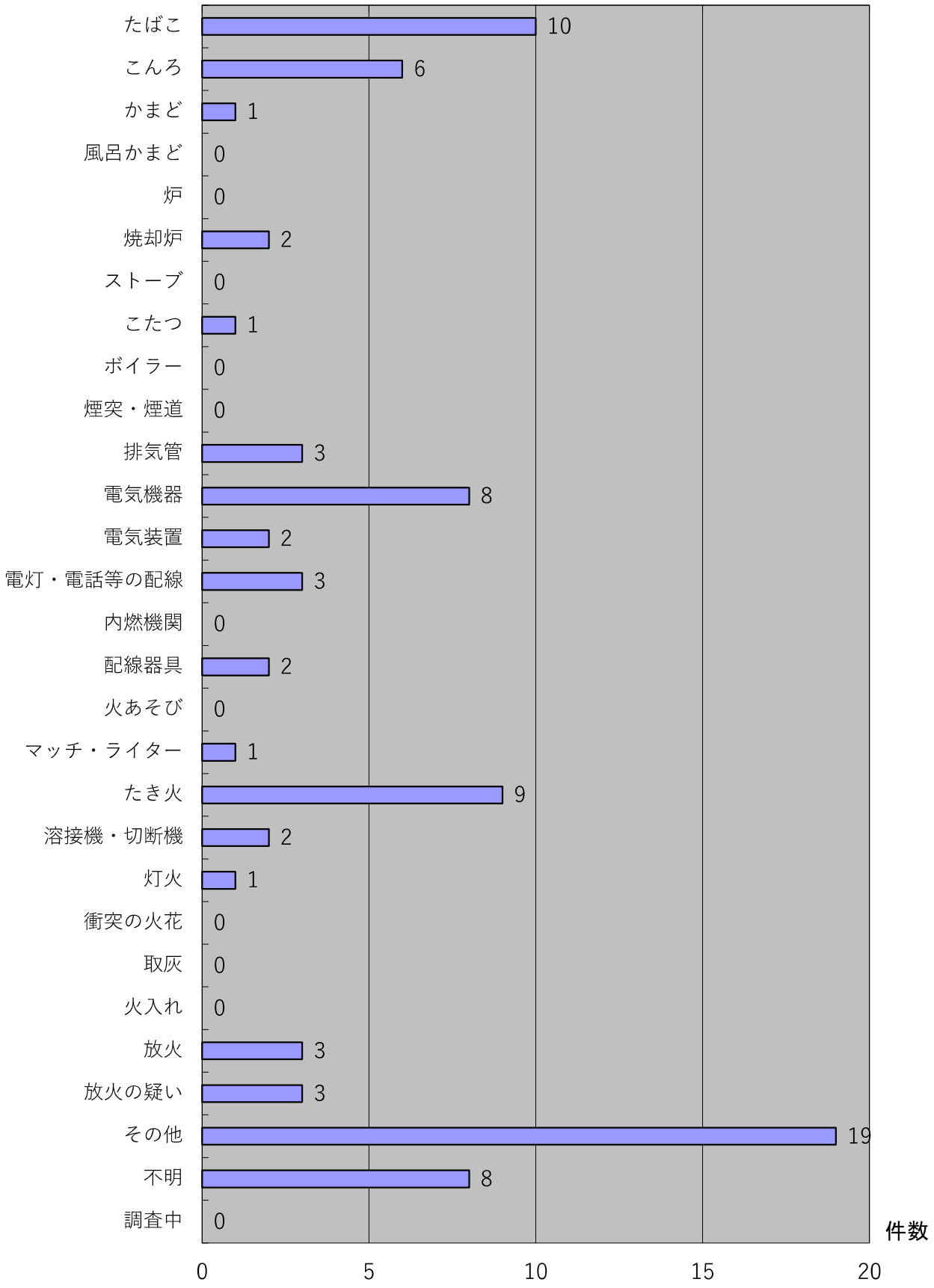
3　たき火による火災の損害状況

たき火による火災は9件で前年に比べ2件増加している。たき火による主な経過別出火件数を見ると、「火源が動いて接触する」が4件で全体の44%を占めている。

たき火による火災の損害額は434万円で前年に比べ314万円増加している。

	単位	たき火		
		令和3年	令和2年	増減値
出火件数	件	9	7	2
建物火災	件	1	3	△ 2
車両火災	件	0	1	△ 1
その他の火災	件	8	3	5
建物焼損床面積	㎡	17	60	△ 43
建物焼損表面積	㎡	7	5	2
損害額	千円	4,343	1,198	3,145

出 火 原 因


たばこ 10
こんろ 6
かまど 1
風呂かまど 0
炉 0
焼却炉 2
ストーブ 0
こたつ 1
ボイラー 0
煙突・煙道 0
排気管 3
電気機器 8
電気装置 2
電灯・電話等の配線 3
内燃機関 0
配線器具 2
火あそび 0
マッチ・ライター 1
たき火 9
溶接機・切断機 2
灯火 1
衝突の火花 0
取灰 0
火入れ 0
放火 3
放火の疑い 3
その他 19
不明 8
調査中 0
件数
0
5
10
15
20

火 災 に よ る 死 傷 者

令和3年中の火災による死者は4人で、負傷者は9人である。

火災種別ごとの死傷者発生状況

	建物火災	車両火災	その他の火災
死　者(人)	4		
割　合(%)	100		
負傷者(人)	8		1
割　合(%)	89		11

全火災の区分別死傷者数

	消防吏員	消防団員	応急消火義務者	消防協力者	その他	計
死 者（人）			2		2	4

		消防吏員	消防団員	応急消火義務者	消防協力者	その他	計
負傷者(人)				8		1	9
	重　症			2			2
	中等症			1		1	2
	軽　症			5			5

全火災の死傷者の性別・年齢区分

	死　　者　(人)			負　　傷　　者　(人)		
	男	女	計	男	女	計
5歳以下(人)						
6 ～ 10 歳					1	1
11 ～ 15 歳						
16 ～ 20 歳						
21 ～ 25 歳				1		1
26 ～ 30 歳						
31 ～ 35 歳	1		1			
36 ～ 40 歳					1	1
41 ～ 45 歳	1		1			
46 ～ 50 歳				2		2
51 ～ 55 歳					1	1
56 ～ 60 歳						
61 ～ 65 歳	1		1			
66 ～ 70 歳				1		1
71 ～ 75 歳					1	1
76 ～ 80 歳				1		1
81歳以上		1	1			
合　　計	3	1	4	5	4	9

署・分署別火災発生状況

	伊勢崎消防署	北分署	南分署	西分署	赤堀消防署	東消防署	境消防署	玉村消防署	計
火災件数（件）	13	11	14	8	6	10	14	8	84
建物	9	4	11	3	1	5	6	5	44
車両	3	3	0	2	2	1	2	0	13
その他	1	4	3	3	3	4	6	3	27
焼損棟数（棟）	10	5	14	7	1	6	8	7	58
全焼	1	1	2	1	0	1	1	3	10
半焼	0	0	3	1	0	0	0	1	5
部分焼	2	3	4	2	1	0	3	1	16
ぼや	7	1	5	3	0	5	4	2	27
り災世帯（世帯）	5	4	8	6	1	0	2	6	32
り災員（人）	11	7	12	11	3	0	6	8	58
焼損床面積（㎡）	68	143	626	120	13	45	90	497	1,602
焼損表面積（㎡）	5	24	71	6	0	1	1	12	120
死者（人）	2	0	1	0	0	0	1	0	4
負傷者（人）	1	4	2	0	0	0	2	0	9
損害額（千円）	3,136	30,794	39,745	13,123	3,306	1,395	3,255	53,381	148,135

装 備・施 設

【令和３年度　整備車両】

資機材運搬車

消防本部配備　本部機材１号車

水槽付消防ポンプ自動車

東消防署配備　東１号車

消防車両等現有配置状況

（令和４年４月１日現在）

車種別／所属	水槽付消防ポンプ自動車	普通消防ポンプ自動車	梯子自動車	化学消防車	救急車	救助工作車Ⅱ型	救助工作車Ⅲ型	指揮車	小型動力ポンプ付水槽車	資機材運搬車	指令車	火災調査車	広報連絡車	乗用車	マイクロバス	消火通報訓練指導車	被牽引車（トレーラー）	合計
消防本部					2			1		2	4	1	4	1	1	1		17
伊勢崎消防署	1		1	1	2	1	1		1	1	1							10
伊勢崎消防署北分署	1				1								1					3
伊勢崎消防署南分署	1				1					1			1				1	5
伊勢崎消防署西分署	1				1								1					3
赤堀消防署	1	1			1						1							4
東消防署	1	1			1						1							4
境消防署	1		1		1				1	1	1							6
玉村消防署	1				1				1		1							4
合計	8	2	2	1	11	1	1	1	3	5	9	1	7	1	1	1	1	56

消 防 車 両 一 覧 表

（令和４年４月１日現在）

所属	車両名	メーカー 車種	登録番号	取得年月日	ポンプ性能 製作所	車両総 重量(kg)	緊急消防 援助隊	備考
消防本部	本部１ （指令車）	三菱 パジェロ	800 す 9965	H20. 2. 8		2,495		四輪駆動
	本部２ （広報連絡車）	トヨタ ノア	503 す 4678	H29. 2.10		2,010		
	本部３ （指令車）	ニッサン キャラバン	800 せ 9610	R 2. 3.10		3,115		
	本部４ （指令車）	ホンダ ステップワゴン	800 せ 3284	H23. 8.23		2,150		
	本部５ （指令車）	ニッサン ＡＤバン	800 せ 4532	H25. 2.22		1,745		
	本部６ （マイクロバス）	ニッサン シビリアン	200 さ 1014	H16. 8.20		5,365		乗車定員２９人
	本部支援１ （資機材運搬車）	日野 レンジャー	800 は 1922	H28. 3. 4		10,905	登録	支援車Ⅱ型 四輪駆動
	本部機材１ （資機材運搬車）	三菱 キャンター	800 そ 1148	R 4. 3.15		4,255	登録	四輪駆動
	救急伊勢崎３ （高規格救急自動車）	トヨタ ハイメディック	800 せ 909	H21. 1.26		3,265		非常用救急自動車
	救急伊勢崎４ （高規格救急自動車）	ニッサン パラメディック	800 せ 3645	H24. 2.14		3,245		非常用救急自動車
	本部指揮１ （指揮車）	トヨタ ハイエース	800 せ 4535	H25. 2.22		3,020		
	本部調査１ （火災調査車）	トヨタ ハイメディック	800 す 1246	H15. 3.27		2,555		
	乗用車	トヨタ マークⅡ	300 ま 3569	H16. 3.12		1,745		
	消火通報訓練車	マツダ タイタン	88 ぬ 3819	H 8. 9.10		2,585		寄贈車両
	危険物安全協会車 （広報連絡車）	トヨタ プロボックス	502 ぬ 3916	H22.11.30		1,315		寄贈車両
	危険物安全協会車２ （広報連絡車）	スズキ エブリイ	480 て 8595	H30. 5.28		1,330		寄贈車両
	水防車 （広報連絡車）	ダイハツ ハイゼット	41 む 6600	H17. 1.21		1,210		

【令和３年度　整備車両】

※救急課により整備

消防本部配備
資機材運搬車
（本部機材１号車）

東消防署配備
水槽付消防ポンプ自動車
（東１号車）

玉村消防署配備
高規格救急自動車
（救急玉村１号車）

所属	車両名	メーカー 車種	登録番号	取得年月日	ポンプ性能 製作所	車両総 重量(kg)	緊急消防 援助隊	備考
伊勢崎消防署	伊勢崎指令1 (指令車)	トヨタ ノア	800 す 7250	H18. 3.15		1,970		
	伊勢崎1 (水槽付Ⅱ型)	日野 レンジャー	800 は 1272	H21. 1.28	A－2級 モリタ	11,180		四輪駆動　積載水量2,000ℓ CAFS装置
	伊勢崎水槽1 (小型動力ポンプ付水槽車)	三菱 スーパーグレート	800 は 664	H16. 3.12	B－2級 シバウラ	21,985		積載水量10,000ℓ
	伊勢崎化学1 (化学Ⅱ型)	日野 レンジャー	800 は 2055	H30. 1.29	A－2級 モリタ	11,420	登録	四輪駆動　積載水量1,500ℓ 積載薬剤　500ℓ
	伊勢崎救助1 (救助Ⅲ型)	日野 レンジャー	800 は 1574	H24. 2.20		11,865	登録	四輪駆動
	伊勢崎救助2 (救助Ⅱ型)	日野 レンジャー	88 ら 1490	H 7. 2.16		9,700		非常用救助工作車
	伊勢崎梯子1 (38m級)	日野	88 ら 2190	H11. 3.10		20,390		全伸梯　41m
	伊勢崎機材1 (資機材運搬車)	三菱 キャンター	800 す 1206	H15. 3.27		5,525		クレーン付
	救急伊勢崎1 (高規格救急自動車)	ニッサン パラメディック	800 せ 5277	H26. 1. 7		3,275		
	救急伊勢崎2 (高規格救急自動車)	ニッサン パラメディック	800 せ 7555	H29. 2.16		3,285		
北分署	伊勢崎北指令1 (広報連絡車)	ニッサン クリッパー	880 あ 2159	R 2. 3.10		1,350		
	伊勢崎北1 (水槽付Ⅱ型)	日野 レンジャー	800 は 2289	R 3. 2. 9	A－2級 モリタ	11,960	登録	四輪駆動 積載水量2,000ℓ CAFS装置 救助資機材
	救急伊勢崎北1 (高規格救急自動車)	ニッサン パラメディック	800 せ 8914	H31. 2.20		3,245		
南分署	伊勢崎南指令1 (広報連絡車)	スズキ ハスラー	880 あ 2161	R 2. 3. 9		1,060		四輪駆動
	伊勢崎南1 (水槽付Ⅱ型)	日野 プロフィア	800 は 1375	H22. 3.12	A－2級 モリタ	14,940		積載水量3,500ℓ CAFS装置
	伊勢崎南機材1 (資機材運搬車)	トヨタ ダイナ	88 に 5728	H 4. 5.26		4,450		四輪駆動
	救急伊勢崎南1 (高規格救急自動車)	ニッサン パラメディック	800 そ 267	R 3. 1.21		3,255	登録	
	水上バイク 被牽引車	スペシャル トレーラーズ	80 を 1267	H14.11. 8		490		水難救助用
西分署	伊勢崎西指令1 (広報連絡車)	ニッサン クリッパー	880 あ 2158	R 2. 3.10		1,360		
	伊勢崎西1 (水槽付Ⅱ型)	日野 レンジャー	800 は 1074	H19. 3.15	A－2級 モリタ	11,520	登録	四輪駆動 積載水量2,000ℓ 救助資機材
	救急伊勢崎西1 (高規格救急自動車)	トヨタ ハイメディック	800 せ 3417	H23.10.23		3,255		

所属	車両名	メーカー 車種	登録番号	取得年月日	ポンプ性能 製作所	車両総 重量(kg)	緊急消防 援助隊	備考
赤堀消防署	赤堀指令1 (指令車)	ホンダ ステップワゴン	800せ 3285	H23. 8.23		2,150		
	赤堀1 (水槽付Ⅱ型)	日野 プロフィア	831 た 119	H18. 3.15	A－2級 モリタ	14,645		積載水量3,500ℓ 救助資機材
	赤堀2 (CD－Ⅰ 水槽付)	いすゞ エルフ	88 ぬ 7217	H 9.11.25	A－2級 モリタ	5,510		積載水量900ℓ
	救急赤堀1 (高規格救急自動車)	ニッサン パラメディック	800 せ 6800	H28. 1. 5		3,285	登録	
東消防署	東指令1 (指令車)	ニッサン セレナ	800 す 1073	H15. 3.10		2,060		
	東1 (水槽付Ⅱ型)	日野 レンジャー	800 は 2382	R 3.12.15	A－2級 モリタ	10,950		積載水量2,000ℓ
	東2 (CD－Ⅰ 水槽付)	いすゞ エルフ	88 ぬ 5247	H 9. 3.14	A－2級 モリタ	5,510		積載水量900ℓ
	救急東1 (高規格救急自動車)	ニッサン パラメディック	800 せ 9599	R 2. 2.27		3,205	登録	
境消防署	境指令1 (指令車)	ニッサン セレナ	800 さ 7811	H13.10.25		2,100		
	境1 (水槽付Ⅱ型)	日野 レンジャー	800 は 1073	H19. 3.15	A－2級 モリタ	11,500	登録	四輪駆動 積載水量2,000ℓ CAFS装置
	境2 (小型動力ポンプ付水槽車)	日野 レンジャー	800 は 1467	H23. 3.10	B－2級 トーハツ	12,995		積載水量4,700ℓ
	境梯子1 (15m級)	日野 レンジャー	800 は 1185	H20. 2.25	A－2級 モリタ	10,480		積載水量900ℓ 伸縮式固定水管路付
	境機材1 (資機材運搬車)	日野 デュトロ	800 せ 5410	H26. 3. 7		6,155		四輪駆動
	救急境1 (高規格救急自動車)	ニッサン パラメディック	800 せ 4541	H25. 2.26		3,265		
玉村消防署	玉村指令1 (指令車)	スズキ ランディ	800 せ 4533	H25. 2.22		2,200		
	玉村1 (水槽付Ⅱ型)	日野 プロフィア	800 は 1079	H19. 3.20	A－2級 モリタ	14,715		積載水量3,500ℓ 救助資機材
	玉村2 (小型動力ポンプ付水槽車)	日野 プロフィア	800 は 423	H14. 3.25	B－2級 シバウラ	11,265		積載水量4,500ℓ
	救急玉村1 (高規格救急自動車)	ニッサン パラメディック	800 そ 986	R 4. 2. 3		3,225		

装 備 品 一 覧 表

（令和４年４月１日現在）

品名		所属	消防本部	伊勢崎消防署	北分署	南分署	西分署	赤堀消防署	東消防署	境消防署	玉村消防署	計
測定資機材等	ピトーゲージ		2					1		1	1	5
	コンプレッションゲージ		2					1		1	1	5
	騒音計		1									1
	可燃性ガス検知器・酸素濃度測定器		1	4	1	1	1	1	1	1	1	12
	有毒ガス検知器			2								2
	放射線測定器		4	5	1		1	1	1	1		14
	非接触式・放射温度計		2	1		1	1	1	1		1	8
消火・救助活動資機材等	消火ホース	４０㎜		22	15	10	14	13	20	8	18	120
		５０㎜		79	46	45	40	51	65	47	59	432
		６５㎜		60	60	28	30	29	38	43	50	338
		６５㎜（梯子車用）		1								1
	放水銃			1	1	1						3
	ラインプロポーショナー				1	1	1	1			1	5
	ＲＰ型エアーフォームノズル		1			1			1			3
	背負式消火水のう（手動式）			20	2	2	2	2	2	6	3	39
	送排風機			2								2
	酸素呼吸器			5								5
	空気呼吸器	Ｌ３０型	17	26	5	5	5	8	8	10	6	90
		Ｋ３０型	23									23
	空気ボンベ	FRP複合（5ℓ 30MPa）		13	7	5	0	7	10	10	4	56
		FRP複合（7ℓ 30MPa）		56	23	22	22	28	27	21	24	223
		FRP複合（9ℓ 30MPa）		3								3
		スチール（4～8ℓ）		10	4	2		3		8	8	35
		潜水用（12ℓ）		6								6
	防護服等	耐熱服		3	1	1	1	1	1	2	1	11
		耐電服		4								4
		絶縁ゴム手袋		19	6	4	5	2	5	8	4	53
		防毒マスク	17	11	3	3	3	3	3	3	3	49
		防塵メガネ		6		10					8	24
		化学防護服	35	5								40
		陽圧式化学防護服		5								5
		放射線防護服		7								7
	エンジンカッター			4	1	1	1	1	1	2	1	12
	チェーンソー			3	1	1	1	2	1	2	1	12
	鉄線カッター		8	5	3	2	2	1	1	4	1	27
	携帯発電機		4	5	1	3	1	2	3	4	2	25
	投光器		4	7	1	2	1	2	2	3	2	24
	携帯投光器		5	14	1		5	2	6	6	2	41
	三連はしご		1	4	2	2	1	1	1	1	1	14
	かぎ付はしご			4	2	1	2	2	2	3	1	17
	救命索発射銃			2								2
	画像探索機（Ｉ型）			1								1
	簡易画像探索機			1								1

品名 ＼ 所属			消防本部	伊勢崎消防署	北分署	南分署	西分署	赤堀消防署	東消防署	境消防署	玉村消防署	計
救助活動資機材等	熱画像直視装置		1	3	1							5
	油圧式救助器具（電動含む）			3	1	1	1	1	1	1	1	10
	エアーソー			2								2
	マット型空気ジャッキ			2	1		1	1			1	6
	携帯用コンクリート破壊器具			2		1	1	1	1	1	1	8
	万能斧			8	3	2	1	1	2	4	1	22
	ハンマー			4	1	1		1	1	1		9
	救助用滑車			14	5	3	3	3	3	3	3	37
	空気式救助マット			1								1
	安全マット		1	5	2	4	1	3	1	1	2	20
	バスケット担架			2	1							3
	サバイバースリング・救命用縛帯			10	3	3	3	2	2	1	4	28
	可搬式ウインチ		1	3	1	3	1	2			1	12
	張力計		1	1				1				3
	緩降機			2						1		3
	ゴムボート（船外機を含む）			1						1	2	4
	水上バイク					1						1
	潜水器具一式			6								6
	救命胴衣		22	38	8	18	8	13	15	22	22	166
	救命浮環		1	5	1	4	1	2	1	8	4	27
	浮標			3								3
救急資機材等	携帯用人工呼吸・酸素蘇生器		2	2	1	1	1	1	1	1	1	11
	携帯用電動吸引器		2	2	1	1	1	1	1	1	1	11
	ビデオ喉頭鏡		2	2	1	1	1	1		1	1	10
	血糖測定器		1	2	1	1	1	1	1	1	1	10
	患者監視装置	Ｄａｓｈ３０００	1									1
		ライフスコープ	1	2	1	1	1	1	1	1	1	10
	自動体外式除細動器（二相波形式）	ＴＥＣ－２５１３等	2	2	1	1	1	1	1	1	1	11
	ＡＥＤ	ＡＥＤ－２１５１等	2	4	3	3	3	3	3	3	3	27
	紫外線殺菌装置				1	1		1	1	1	1	6
	殺菌線ロッカー			1			1			1	1	4
	高度救命処置訓練人形		3	1								4
	気管挿管モデル		1		1	1	1	1	1	1	1	8
	静脈採血注射モデル			1	1	1	1	1	1	1	1	8
その他	衛星電話		1			1		1	1			4
	コンプレッサー		1	2	1	1	1	1	1	1	1	10
	ガレージジャッキ		2	1	1	1	1	1	1	1	1	10
	バッテリー充電器			1	1	1	1	1	1	1	1	8
	ホース修理機（リング式かしめ機）			1				1	1	1	1	5
	携帯拡声器		8	6	2	2	1	4	4	3	3	33

消 防 水 利 施 設 現 況

種別 / 管轄別	消火栓（令和3年4月1日現在） 埋設管口径（φ） 150未満	150以上	合計	防火水槽（令和4年4月1日現在） 公設（㎥） 20未満	20～40未満	40～60未満	60～100未満	100以上	私設（㎥） 20未満	20～40未満	40～60未満	60～100未満	100以上	合計	プール
伊勢崎市	2,773	1,342	4,115	25	85	556	9	1	42	83	83	3	1	888	37
（伊勢崎消防署）	1,925	893	2,818		10	235	8	1		5	9	1		269	20
（赤堀消防署）	272	105	377	4	13	152			41	71	40	1	1	323	4
（東消防署）	236	152	388	21	60	74	1		1	6	27	1		191	4
（境消防署）	340	192	532		2	95				1	7			105	9
玉村町（玉村消防署）	332	137	469	13	32	145	4	3			2			199	8
計	3,105	1,479	4,584	38	117	701	13	4	42	83	85	3	1	1,087	45

年 度 別 新 設 消 火 栓 現 況

（令和3年4月1日現在）

布設年度 / 管轄別	埋設管口径（φ）	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	計	合計
伊勢崎消防署	150以上		2		13	20	35	93
	150未満	1	22	19	6	10	58	
赤堀消防署	150以上				2	3	5	37
	150未満	5	2	4	8	13	32	
東消防署	150以上				1		1	7
	150未満		3	1	1	1	6	
境消防署	150以上					2	2	51
	150未満	5	10	19	13	2	49	
計	150以上		2		16	25	43	188
	150未満	11	37	43	28	26	145	

伊勢崎市

【令和３年度　消防水利整備事業】

防火水槽設置工事　　赤堀小学校　耐震性貯水槽　４０㎥　１基（鋼板＋FRP）

救　急

令和４年度　救急隊員生涯教育効果確認訓練
開催地：伊勢崎市消防本部

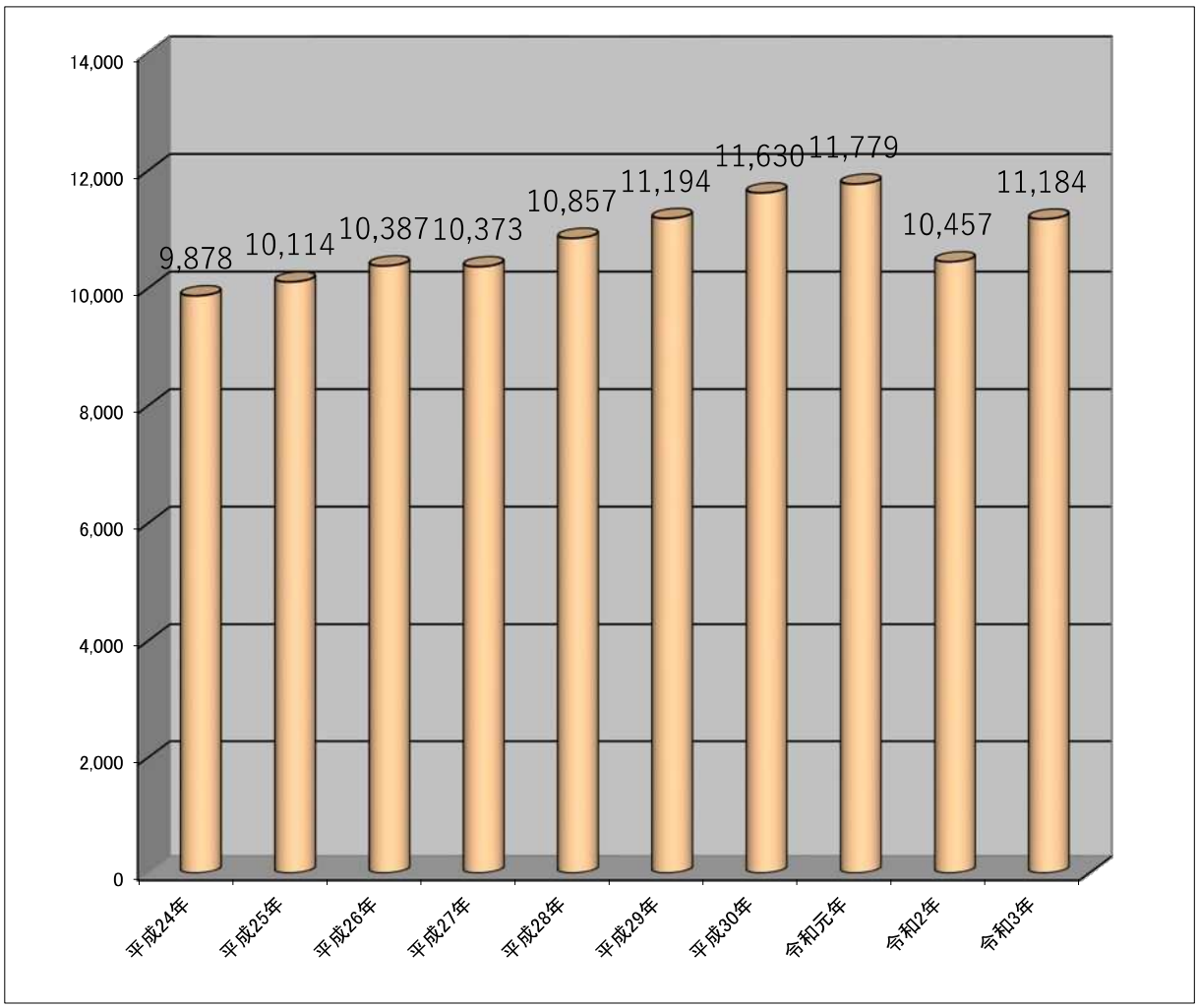
救　急　概　要

令和3年中の救急出動件数は、11,184件、搬送人員は、10,062人で前年と比較すると出動件数は727件増加、搬送人員は582人の増加となっています。

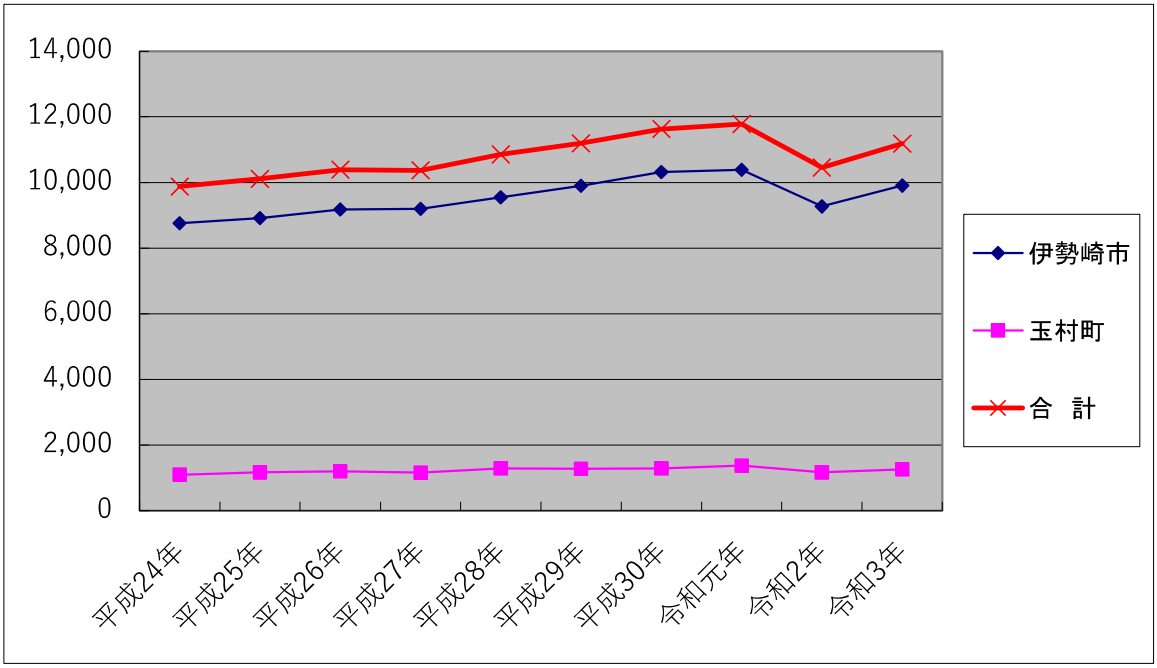
搬送状況を事故種別ごとにみると、急病が6,617人で全体の65.8%を占め、ついで一般負傷1,400人（13.9%）、転院搬送826人（8.2%）、交通事故819人（8.1%）の順となっています。

救急隊により搬送された方々の程度別の状況については、中等症が5,031人で全体の50.0%を占め、ついで軽症が3,461人（34.4%）、重症が1,422人（14.1%）の順となっています。

救　急　出　動　件　数　の　推　移



市町別救急出動件数の推移（過去10年間）



市町別 年	伊勢崎市	玉村町	管　外 （高速含む）	合　計
平成24年	8,760	1,100	18	9,878
平成25年	8,921	1,171	22	10,114
平成26年	9,175	1,204	8	10,387
平成27年	9,197	1,164	12	10,373
平成28年	9,551	1,293	13	10,857
平成29年	9,897	1,277	20	11,194
平成30年	10,315	1,292	23	11,630
令和元年	10,392	1,379	8	11,779
令和2年	9,274	1,168	15	10,457
令和3年	9,910	1,264	10	11,184

救急活動概要

（令和3年中）

区分		令和3年 A	令和2年 B	前年比較 増減 A − B = C	前年比較 増減率 C ÷ B
出動件数		11,184 件	10,457 件	727 件	7.0 %
傷病者搬送件数		9,971 件	9,386 件	585 件	6.2 %
傷病者不搬送件数		1,213 件	1,071 件	142 件	13.3 %
医師搬送件数		0 件	0 件	0 件	0.0 %
資器材等輸送件数		16 件	16 件	0 件	0.0 %
傷病者搬送人員		10,062 人	9,480 人	582 人	6.1 %
性別	男性	5,119 人	4,845 人	274 人	5.7 %
	女性	4,943 人	4,635 人	308 人	6.6 %
一日平均出動件数		30.6 件	28.7 件		
発生率		47 分に１件	50 分に１件		
救急車利用率		22 人に１人	24 人に１人		
人口1万人当たりの出動件数		450 件	419 件		

伊勢崎佐波管内人口
令和3年1月1日現在 249,586 人
令和4年1月1日現在 248,642 人
前年比 944 人減

救急隊別出動状況

（令和3年中）

救急隊＼区分		出動件数	構成比(%)	前年出動件数	増減	1ヶ月平均	1日平均	搬送人員	不搬送
伊勢崎消防署	伊勢崎署救急隊	2,975	26.60	2,850	125	248	8.2	2,566	430
	北分署救急隊	1,551	13.87	1,478	73	129	4.3	1,384	181
	南分署救急隊	1,248	11.16	1,200	48	104	3.4	1,165	101
	西分署救急隊	1,177	10.52	1,160	17	98	3.2	1,094	98
赤堀消防署救急隊		1,119	10.01	1,071	48	93	3.1	1,034	92
東消防署救急隊		1,075	9.61	866	209	90	3.0	955	128
境消防署救急隊		1,032	9.23	893	139	86	2.8	943	91
玉村消防署救急隊		1,007	9.00	939	68	84	2.8	921	92
合計		11,184	100	10,457	727	932.0	30.6	10,062	1,213

発生市町別救急出動件数

（令和3年中）

事故種別＼市町別		合　計	伊勢崎市	玉村町	管　外（高速含む）
合　計		11,184	9,910	1,264	10
火　災		49	40	8	1
自然災害事故		0	0	0	0
水難事故		5	5	0	0
交通事故		881	789	85	7
労働災害事故		138	114	24	0
運動競技事故		68	62	6	0
一般負傷		1,545	1,344	201	0
加　害		35	31	4	0
自損行為		130	118	12	0
急　病		7,325	6,465	860	0
その他	転院搬送	825	770	55	0
	医師搬送	0	0	0	0
	資器材等輸送	16	16	0	0
	その他	167	156	9	2

発生市町別救急搬送人員

（令和3年中）

事故種別＼市町別	合　計	伊勢崎市	玉村町	管　外（高速含む）
合　計	10,062	8,904	1,151	7
火　災	11	11	0	0
自然災害事故	0	0	0	0
水難事故	3	3	0	0
交通事故	819	732	82	5
労働災害事故	136	113	23	0
運動競技事故	69	63	6	0
一般負傷	1,400	1,212	188	0
加　害	27	25	2	0
自損行為	95	84	11	0
急　病	6,617	5,837	780	0
その他（転院搬送等を含む）	885	824	59	2

現場到着までの所要時間

（令和3年中）

所要時間 / 事故種別	３分未満	３分以上 ５分未満	５分以上 １０分未満	１０分以上 ２０分未満	２０分以上	合計（件）	平均（分）
急　　病	46	357	5,640	1,244	38	7,325	8.2
交通事故	7	52	608	187	27	881	9.0
一般負傷	11	77	1,178	277	2	1,545	8.2
そ の 他	27	188	911	285	22	1,433	8.3
合　　計	91	674	8,337	1,993	89	11,184	8.3

病院収容までの所要時間

（令和3年中）

所要時間 / 事故種別	１０分未満	１０分以上 ２０分未満	２０分以上 ３０分未満	３０分以上 ６０分未満	６０分以上	合計（人）	平均（分）
急　　病	0	25	997	4,900	695	6,617	42.8
交通事故	0	0	99	613	107	819	44.1
一般負傷	0	8	184	1,081	127	1,400	42.1
そ の 他	1	24	297	786	118	1,226	40.5
合　　計	1	57	1,577	7,380	1,047	10,062	42.6

月別救急出動件数

（令和3年中）

月 / 事故種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
急　　病	629	480	598	575	621	549	720	774	603	562	554	660
交通事故	51	56	65	81	55	70	81	64	80	90	98	90
一般負傷	123	115	137	107	128	101	145	134	124	127	134	170
そ の 他	99	103	132	105	121	118	124	157	118	126	105	125
合　　計	902	754	932	868	925	838	1,070	1,129	925	905	891	1,045

曜日別救急出動件数

（令和3年中）

曜日 / 事故種別	月	火	水	木	金	土	日
急　　病	1,110	1,029	1,034	1,032	1,039	1,020	1,061
交通事故	109	126	128	124	170	119	105
一般負傷	234	205	218	242	214	195	237
そ の 他	236	207	234	191	257	183	125
合　　計	1,689	1,567	1,614	1,589	1,680	1,517	1,528

時間別救急出動件数

（令和3年中）

時間＼事故種別	合　計	急　病	交通事故	一般負傷	その他
0時 ～ 2時	461	371	16	41	33
2時 ～ 4時	399	322	9	41	27
4時 ～ 6時	442	338	19	45	40
6時 ～ 8時	745	501	95	112	37
8時 ～ 10時	1,340	857	124	206	153
10時 ～ 12時	1,417	824	98	229	266
12時 ～ 14時	1,323	801	126	153	243
14時 ～ 16時	1,188	705	98	174	211
16時 ～ 18時	1,213	733	120	183	177
18時 ～ 20時	1,117	757	95	157	108
20時 ～ 22時	888	637	55	131	65
22時 ～ 24時	651	479	26	73	73
合　計	11,184	7,325	881	1,545	1,433

救急隊員の行った応急処置件数

（令和3年中）

応急処置等項目＼事故種別	合　計	急　病	交通事故	一般負傷	その他
応急処置対象人員	10,056	6,616	819	1,400	1,221
止血	205	26	24	118	37
固定	705	36	415	175	79
人工呼吸	74	61	1	5	7
心臓マッサージ	28	22	1	1	4
（うち自動式）	14	12	0	1	1
心肺蘇生	258	210	2	23	23
（うち自動式）	116	96	1	9	10
酸素吸入	1,827	1,429	36	93	269
気道確保	376	306	5	35	30
1. 経鼻エアウェイ	36	27	1	2	6
2. 喉頭鏡／鉗子	9	5	0	4	0
3. ラリンゲアルマスク等	11	11	0	0	0
4. 気管挿管	14	10	0	3	1
保温	1,068	722	65	138	143
被覆	480	26	103	260	91
在宅療法の継続	75	70	0	4	1
ショックパンツ	0	0	0	0	0
除細動	23	19	0	3	1
静脈路確保	142	117	3	13	9
薬剤投与	76	61	1	8	6
その他の処置	8,636	5,728	708	1,187	1,013
血圧測定	9,292	6,118	787	1,255	1,132
聴診器	3,219	2,401	265	316	237
血中酸素飽和度	9,742	6,393	803	1,353	1,193
心電図	6,844	5,213	265	606	760
血糖測定	121	114	1	3	3
エピペン投与	2	1	0	0	1
ブドウ糖投与	24	24	0	0	0
合　計	43,217	29,097	3,485	5,596	5,039

事故種別年齢区分別搬送人員

（令和3年中）

年齢区分	事故種別 / 傷病程度	火災	自然災害事故	水難事故	交通事故	労働災害事故	運動競技事故	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
新生児	死　亡										1		1
	重　症											1	1
	中等症										4	18	22
	軽　症										3	3	6
	その他												0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	22	30
乳幼児	死　亡										1		1
	重　症							2			8	3	13
	中等症				2			19			133	8	162
	軽　症				22			114			190		326
	その他												0
	計	0	0	0	24	0	0	135	0	0	332	11	502
少年	死　亡												0
	重　症				2		1	2		1	5	1	12
	中等症				24		14	20		6	64	11	139
	軽　症	1			69		25	33	1	1	83	2	215
	その他												0
	計	1	0	0	95	0	40	55	1	8	152	14	366
成人	死　亡	1								7	21		29
	重　症	2		1	16	7		19	3	12	156	78	294
	中等症	1		1	137	50	11	79	4	35	994	178	1,490
	軽　症	3			371	57	14	138	14	20	820	24	1,461
	その他								1		2	3	6
	計	7	0	2	524	114	25	236	22	74	1,993	283	3,280
高齢者	死　亡				1			6		1	94	3	105
	重　症	1		1	14	3	1	122		6	771	183	1,102
	中等症	1			51	13	1	438	1	2	2,381	330	3,218
	軽　症	1			110	6	2	406	3	4	883	38	1,453
	その他							2			3	1	6
	計	3	0	1	176	22	4	974	4	13	4,132	555	5,884
合計	死　亡	1			1			6		8	117	3	136
	重　症	3		2	32	10	2	145	3	19	940	266	1,422
	中等症	2		1	214	63	26	556	5	43	3,576	545	5,031
	軽　症	5			572	63	41	691	18	25	1,979	67	3,461
	その他							2	1		5	4	12
	計	11	0	3	819	136	69	1,400	27	95	6,617	885	10,062

急病に係る疾病・傷病程度別搬送人員

（令和3年中）

分類項目 / 傷病程度	脳疾患	心疾患	消化系	呼吸系	精神系	感覚系	泌尿系	新生物	その他	不明確の状態	合　計
死　亡	0	24	1	0	0	0	0	2	60	30	117
重　症	140	164	52	161	5	1	15	41	262	99	940
中等症	333	218	320	369	34	58	94	54	1,471	625	3,576
軽　症	87	68	134	67	60	78	80	2	997	406	1,979
その他	0	0	1	0	0	0	0	0	3	1	5
合　計	560	474	508	597	99	137	189	99	2,793	1,161	6,617

住民に対する応急手当普及啓発活動の実施状況

区分 / 所属	平成6年～令和元年		令和2年中		令和3年中		累計（平成6年から令和3年）	
	回数	参加人員	回数	参加人員	回数	参加人員	回数	参加人員
消防本部	0	0	0	0	6	80	6	80
伊勢崎消防署	827	18,311	5	133	4	65	836	18,509
北分署	385	7,548	0	0	2	25	387	7,573
南分署	354	6,701	1	12	2	17	357	6,730
西分署	196	3,709	2	50	1	5	199	3,764
赤堀消防署	293	5,796	5	88	1	3	299	5,887
東消防署	226	4,501	3	50	1	7	230	4,558
境消防署	491	8,050	0	0	2	7	493	8,057
玉村消防署	432	9,175	0	0	2	11	434	9,186
合計	3,204	63,791	16	333	21	220	3,241	64,344

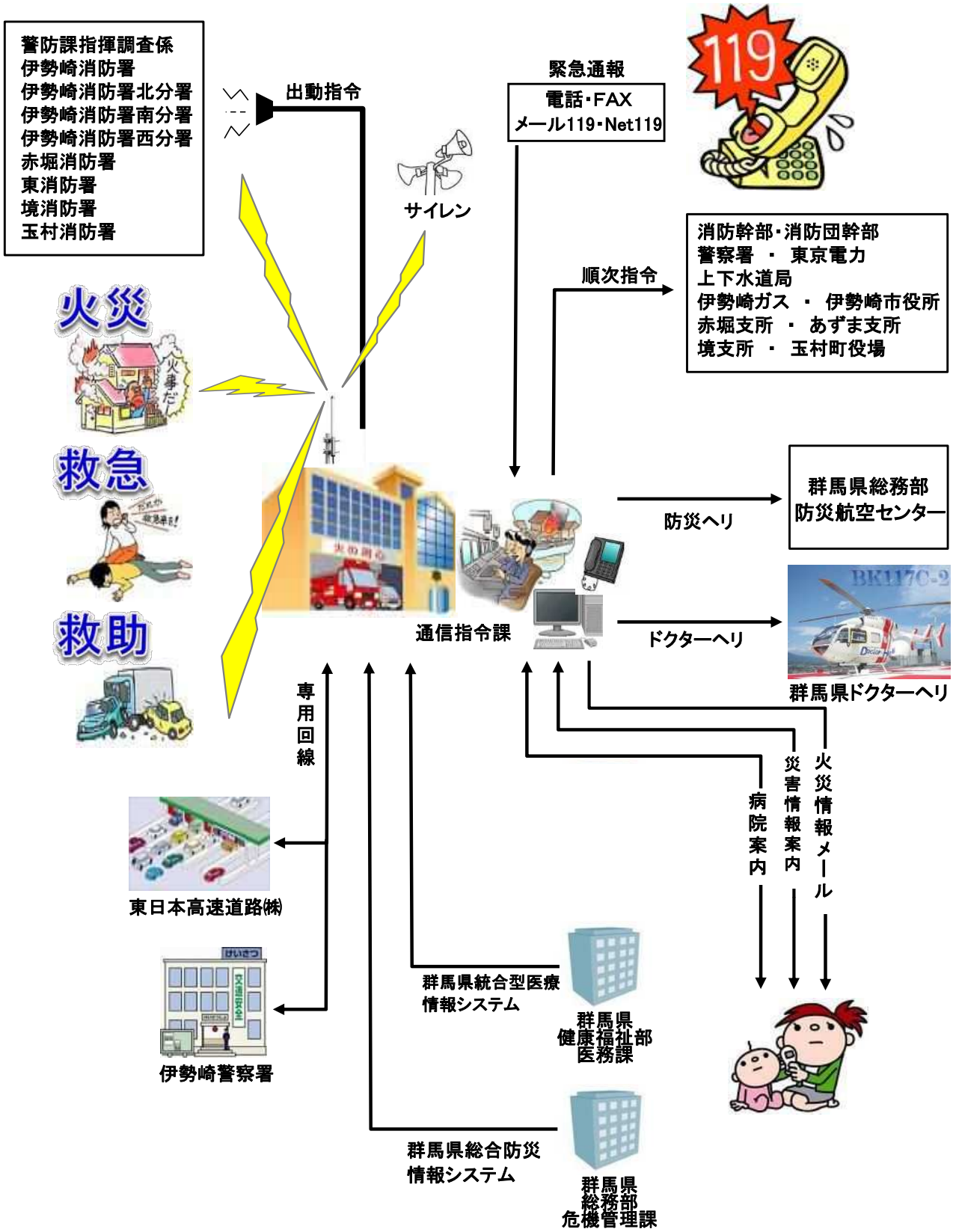
応急手当普及啓発活動の推移　（過去10年間）

区分 / 年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
実施回数	170	144	182	151	141	144	125	110	16	21
受講者数	3,211	2,822	3,547	2,582	2,661	2,519	2,362	1,916	333	220

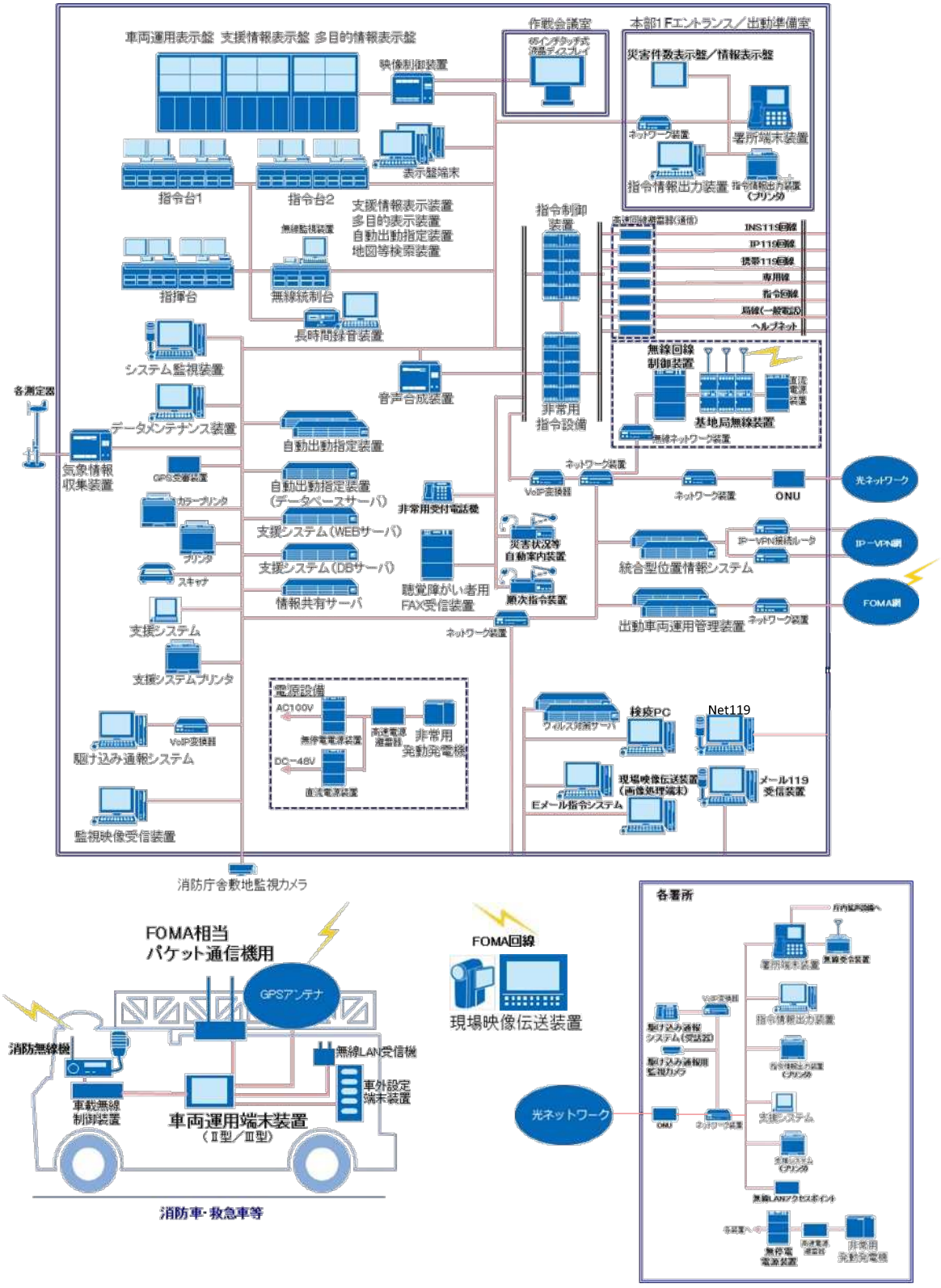
通 信 指 令

高機能消防指令センター

通 信 指 令 系 統 図


警防課指揮調査係
伊勢崎消防署
伊勢崎消防署北分署
伊勢崎消防署南分署
伊勢崎消防署西分署
赤堀消防署
東消防署
境消防署
玉村消防署
出動指令
サイレン
緊急通報
電話・FAX
メール119・Net119
119
消防幹部・消防団幹部
警察署 ・ 東京電力
上下水道局
伊勢崎ガス ・ 伊勢崎市役所
赤堀支所 ・ あずま支所
境支所 ・ 玉村町役場
順次指令
火災
救急
救助
通信指令課
防災ヘリ
群馬県総務部
防災航空センター
ドクターヘリ
群馬県ドクターヘリ
専用回線
東日本高速道路㈱
伊勢崎警察署
病院案内
災害情報案内
火災情報メール
群馬県統合型医療
情報システム
群馬県
健康福祉部
医務課
群馬県総合防災
情報システム
群馬県
総務部
危機管理課

高機能消防指令センター　システム系統図



無 線 通 信 設 備 一 覧

デジタル波：活動波１～３／主運用波７／統制波１～３

所属	車両名等	装置
消防本部	指令センター	基地
	伊勢崎本部１	車載
	伊勢崎本部２	車載
	伊勢崎本部３	車載
	伊勢崎本部４	車載
	伊勢崎本部５	車載
	伊勢崎本部６	車載
	伊勢崎本部支援１	車載
	伊勢崎本部機材１	車載
	救急伊勢崎３	車載
	救急伊勢崎４	車載
	伊勢崎本部調査１	車載
	伊勢崎本部指揮１（２台）	車載
	警防課（１台）	可搬
	通信指令課（２台）	可搬
	警防課（５台）	携帯
	通信指令課（２台）	携帯
伊勢崎消防署	伊勢崎指令１	車載
	伊勢崎１	車載
	伊勢崎水槽１	車載
	伊勢崎化学１	車載
	伊勢崎救助１	車載
	伊勢崎救助２	車載
	伊勢崎梯子１	車載
	伊勢崎機材１	車載
	救急伊勢崎１	車載
	救急伊勢崎２	車載
	伊勢崎消防署（９台）	携帯

所属	車両名等	装置
北分署	伊勢崎北指令１	車載
	伊勢崎北１	車載
	救急伊勢崎北１	車載
	伊勢崎消防署北分署（４台）	携帯
南分署	伊勢崎南指令１	車載
	伊勢崎南１	車載
	伊勢崎南機材１	車載
	救急伊勢崎南１	車載
	伊勢崎消防署南分署（４台）	携帯
西分署	伊勢崎西指令１	車載
	伊勢崎西１	車載
	救急伊勢崎西１	車載
	伊勢崎消防署西分署（４台）	携帯
赤堀消防署	赤堀指令１	車載
	赤堀１	車載
	赤堀２	車載
	救急赤堀１	車載
	赤堀消防署（５台）	携帯
東消防署	東指令１	車載
	東１	車載
	東２	車載
	救急東１	車載
	東消防署（５台）	携帯

所属	車両名等	装置
境消防署	境消防署	卓上
	境指令１	車載
	境１	車載
	境２	車載
	境梯子１	車載
	境機材１	車載
	救急境１	車載
	境消防署（６台）	携帯
玉村消防署	玉村消防署	卓上
	玉村指令１	車載
	玉村１	車載
	玉村２	車載
	救急玉村１	車載
	玉村消防署（６台）	携帯

119番通報受信状況

（令和3年中）

回線種別＼種別	火災	救急	救助	その他の災害	災害等問合せ	病院等問合せ	いたずら	間違い無言等	通報訓練	試験	携帯転送	その他	合計
119 加 入	39	2,363	9	27	21	21	1	141	296	679	4	168	3,769
119 携 帯	133	5,300	47	105	25	145	8	554	67	68	235	488	7,175
119 Ｉ Ｐ	31	3,044	11	10	5	40	1	75	423	33	0	130	3,803
合 計	203	10,707	67	142	51	206	10	770	786	780	239	786	14,747

災害情報案内テレホンサービス利用状況
☎0180-99-2999

（令和元年～令和3年）

年別＼月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
令和元年	306	480	543	324	512	224	293	420	332	283	206	480	4,403
令和２年	438	285	198	190	523	294	199	379	231	250	390	348	3,725
令和３年	370	220	605	352	366	144	142	190	166	176	124	233	3,088

火災情報メール配信サービス利用状況

（令和元年～令和3年）

年別＼月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
令和元年	登録件数	6,390	6,444	6,557	6,596	6,675	6,712	6,724	6,758	6,774	6,819	6,858	6,936
	配信回数	8	16	12	6	6	2	4	6	4	8	4	12
令和２年	登録件数	7,016	7,080	7,105	7,126	7,214	7,249	7,293	7,386	7,427	7,501	7,565	7,645
	配信回数	18	14	6	2	9	9	8	20	6	10	12	10
令和３年	登録件数	7,717	7,768	7,943	8,020	8,100	8,120	8,124	8,143	8,155	8,179	8,188	8,211
	配信回数	16	8	22	14	8	0	12	8	4	6	2	10

※配信回数については建物火災の情報を配信したものです。

救急病院等案内テレホンサービス利用状況
☎0270-23-1299

（令和元年～令和3年）

年別＼月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
令和元年	839	485	465	611	822	523	620	721	678	575	633	740	7,712
令和2年	742	473	382	297	489	390	517	609	520	399	428	407	5,653
令和3年	424	394	453	531	602	464	693	686	457	444	494	546	6,188

救急病院等案内テレホンサービス科目別案内状況

（令和3年中）

科目＼月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
内科	60	53	56	86	107	47	93	87	65	49	57	66	826
小児科	60	67	81	112	127	115	197	242	109	102	112	122	1,446
外科	30	31	43	44	44	36	43	35	33	35	32	31	437
脳神経外科	43	41	46	41	38	35	56	33	39	49	42	58	521
産婦人科	0	2	3	4	4	0	1	3	1	5	1	0	24
整形外科	144	120	145	157	160	142	169	143	127	134	163	163	1,767
泌尿器科	3	11	3	17	11	10	10	13	5	5	12	8	108
耳鼻咽喉科	14	23	24	18	25	18	27	35	23	16	23	19	265
眼科	29	10	18	20	36	29	34	29	16	21	17	25	284
精神科	2	4	2	3	3	0	3	3	3	1	2	1	27
皮膚科	20	11	18	15	25	22	48	36	17	12	15	30	269
歯科	7	11	3	7	7	4	7	13	7	1	8	8	83
その他	12	10	11	7	15	6	5	14	12	14	10	15	131
合計	424	394	453	531	602	464	693	686	457	444	494	546	6,188

気 象 情 報 発 表 状 況

（令和3年中）

項目 ＼ 月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
特別警報	暴風													
	暴風雪													
	大雨													
	大雪													
	高潮													
	波浪													
	小計													
警報	暴風													
	暴風雪													
	大雨													
	大雪													
	高潮													
	波浪													
	洪水													
	小計													
注意報	風雪													
	強風	2	6	5	3								1	17
	大雨						2	7	4					13
	大雪	1												1
	高潮													
	波浪													
	洪水						1	4	2					7
	着雪	1												1
	乾燥	2	2	5	3	3							1	16
	濃霧	2		1		6	6	7	5	2	5	2	2	38
	霜				2									2
	なだれ													
	融雪													
	低温	3												3
	着氷													
	雷			3	5	8	10	15	17	5	1	1	1	66
	小計	11	8	14	13	17	19	33	28	7	6	3	5	164

消防音楽隊

消防音楽隊は音楽を通じて「火災予防の普及」及び「消防士気の高揚」、「住民との融合」などを目的として昭和３９年に設立されたものである。

全国的にもその歴史は古く、隊発足時には１５名の隊員構成であったが、新旧交代を幾度か繰り返し、現在は５９名で活動している。

若い隊員が多く消防職員としての仕事の傍ら、消防行事から各種公式行事、市民行事まで幅広く参加し、消防広報の一翼を担っている。

（名称の変遷）

伊勢崎市消防音楽隊	昭和３９年　２月　７日発足
伊勢崎佐波消防組合消防音楽隊	昭和４６年　４月　１日
伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合消防音楽隊	昭和４７年１０月　１日
伊勢崎市消防音楽隊	平成１７年　１月　１日

創立５０周年記念コンサート　（伊勢崎市境総合文化センター）

消 防 音 楽 隊 編 成 表

（令和4年4月1日現在）

階級／パート	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合　計
指揮者	1				1
フルート・ピッコロ	2	1	1	1	5
オーボエ					0
クラリネット	2	2	3	1	8
ソプラノサックス					0
アルトサックス	1	3			4
テナーサックス		2	1		3
バリトンサックス			1	1	2
トランペット	2	2	4	1	9
フレンチホルン	1		5		6
トロンボーン	1	2	2	1	6
ユーフォニウム			1	2	3
テューバ	1	1	1		3
パーカッション	1	3	4	1	9
合　計	12	16	23	8	59

歴 代 の 音 楽 隊 長

代	氏　名	期　間
初代	栗原　秀夫　氏	昭和３９年　２月　７日～昭和４４年　３月３１日
2代	木口　　実　氏	昭和４４年　４月　１日～昭和４９年　３月３１日
3代	新井　周雄　氏	昭和４９年　４月　１日～昭和５１年　３月３１日
4代	井埜　宗市　氏	昭和５２年　４月　１日～昭和５３年　３月３１日
5代	多田　紀一　氏	昭和５３年　４月　１日～昭和５４年　３月３１日
6代	栗原　秀夫　氏	昭和５４年　４月　１日～昭和５６年　３月３１日
7代	栗原　康二　氏	昭和５６年　４月　１日～昭和５７年　３月３１日
8代	新井　周雄　氏	昭和５７年　４月　１日～平成　３年　３月３１日
9代	栗原　清二　氏	平成　３年　４月　１日～平成　８年　５月３１日
10代	竹澤　　茂　氏	平成　８年　６月　１日～平成１１年　３月３１日
11代	細井　喜也　氏	平成１１年　４月　１日～平成２１年　３月３１日
12代	西野目心吾	平成２１年　４月　１日～平成２８年　９月３０日
13代	倉金　寛政	平成２８年１０月　１日～令和　３年　３月３１日
14代	阿久津友寛	令和　３年　４月　１日～

派 遣 状 況 の 推 移

年　　度	派遣回数	年　　度	派遣回数
平成２４年度	11	平成２９年度	14
平成２５年度	15	平成３０年度	11
平成２６年度	12	令和 元 年度	8
平成２７年度	11	令和 ２ 年度	0
平成２８年度	14	令和 ３ 年度	0

令 和 ３ 年 度 派 遣 状 況

令和３年度の派遣については、令和２年度と同様に新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点からすべて中止となりました。

※≪参考≫令和元年度派遣状況

日　　時	行　　事　　名	派遣隊員数	場　　所
8月10日（土）14時00分～	いせさきまつりオープニングイベント	23	伊勢崎市本町通り
8月12日（月）17時00分～	群馬オープンソフトボール開会式	26	伊勢崎市ソフトボール場
9月21日（土）　8時15分～	関東選抜古希還暦軟式野球開会式	27	伊勢崎市野球場
9月27日（金）　9時00分～	玉村町戦没者追悼式	30	玉村町文化センター
11月 4日（月）　8時00分～	伊勢崎市シルクトーナメント開会式	26	伊勢崎市野球場
11月14日（木）13時30分～	伊勢崎市戦没者追悼式	25	境総合文化センター
1月13日（月）11時00分～	伊勢崎市消防出初式	30	境総合文化センター
2月 2日（日）10時30分～	玉村町消防出初式	22	玉村八幡宮

消　防　団

団本部員指揮研修

（令和３年４月２３日　伊勢崎市消防本部）

伊勢崎市消防本部管轄区域の消防団

伊勢崎市消防団・玉村町消防団

伊勢崎市消防本部管轄区域の消防団現況配置図

（令和4年4月1日現在）

所在地〔事務局〕

伊勢崎市消防団	群馬県伊勢崎市今泉町二丁目８９５	［消防本部総務課消防団係］	TEL.0270-25-3511
第１・第２方面隊	〃　伊勢崎市今泉町二丁目８９５	［伊勢崎消防署総務係］	TEL.0270-25-3918
赤堀方面隊	〃　伊勢崎市西久保町二丁目３４１－３	［赤堀消防署総務係］	TEL.0270-62-0230
東方面隊	〃　伊勢崎市東小保方町３２３８	［東消防署総務係］	TEL.0270-62-8980
境方面隊	〃　伊勢崎市境荻原１７５３	［境消防署総務係］	TEL.0270-74-0012
玉村町消防団	〃　佐波郡玉村町大字下新田２０１	［玉村町環境安全課］	TEL.0270-65-2511

伊勢崎市消防団の沿革

１．市町村合併以前

○伊勢崎市消防団

明治２７年　８月　従来の伊勢崎火防組を伊勢崎消防組と改編し、３部制、定数１８３人、腕用ポンプ３台となる。
大正１５年１２月　３部制を６部制に改組、定数７７人に減員する。
昭和　３年１１月　６部制を５部制に改組、定数７３人に減員する。
昭和１５年　９月　殖蓮村・茂呂村合併により伊勢崎市警防団に改組、８個分団、定数８４６人となる。
昭和２１年　７月　伊勢崎市警防団改編により、定数４３２人に減員する。
昭和２２年１２月　伊勢崎市警防団を伊勢崎市消防団に改称する。
昭和２６年１０月　全分団に自動車ポンプを配置、定員１個分団１５人、自動車ポンプ１３台、定数１８５人となる。
　　１２月　伊勢崎市消防団常備消防部を１０人増員し、計２６人となる。
昭和３０年　１月　三郷村合併により、手引きガソリンポンプ３台、団員５０人を増員する。
　　３月　宮郷村・名和村・豊受村合併により、伊勢崎市消防団は、１８個分団３４１人、自動車ポンプ１６台、手引きガソリンポンプ５台となる。
昭和４６年　４月　組織再編により、伊勢崎市消防本部伊勢崎消防団から伊勢崎佐波消防組合伊勢崎消防団となる。（１８個分団（うち２部制３個分団）３１９人）
昭和４７年１０月　組織再編により、伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合伊勢崎消防団となる。
昭和５３年　７月　第２分団１部を第２の１分団に第２分団２部を第２の２分団に、第９分団１部を第９の１分団に第９分団２部を第９の２分団に組織改編し、分団数が１８個分団から２０個分団（１個分団のみ２部制）となる。
昭和５４年　４月　団本部に分団長級３人増員、定数３２０人となる。
昭和６０年　４月　消防団が市に帰属、伊勢崎市消防団となる。
平成　８年　４月　第１分団１部を第１の１分団に第１分団２部を第１の２分団に組織改編し、分団数が２０個から２１個分団となる。

○赤堀町消防団

明治２７年１１月　赤堀消防組を設置する。
昭和１４年　４月　赤堀警防団に改称、定数４３４人となる。
昭和２２年　４月　赤堀消防団に改称する。
昭和３９年　１月　赤堀消防団編成６個分団、定数１０４人となる。
昭和４６年　４月　組織再編により伊勢崎佐波消防組合赤堀消防団となる。（６個分団１０４人）
昭和４７年　９月　群馬県消防ポンプ操法大会において、赤堀消防団第２分団が優勝する。
　　１０月　組織再編により、伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合赤堀消防団となる。
昭和４８年　４月　赤堀消防団が優秀消防機関として、県知事から表彰状及び表彰旗を授与される。
昭和６０年　４月　消防団が町に帰属、赤堀町消防団となる。

○東村消防団

明治２８年　　消防組６部を設置する。（警察の管理下）
昭和１４年　１月　警防団令が公布され、警防団となる。
昭和２３年　３月　消防組織法が施行され、消防団となる。（４個分団８９人）
昭和４５年　４月　東村消防団４個分団、８８人となる。
昭和４６年　４月　組織再編により、伊勢崎佐波消防組合東消防団となる。
昭和４７年１０月　組織再編により、伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合東消防団となる。
昭和６０年　４月　消防団が村に帰属、東村消防団となる。

○境町消防団

明治２７年１１月　公設消防組を５組（境・采女・剛志・島・世良田）設置する。
昭和１４年　４月　公設消防組合を廃止、公設警防団となる。
昭和２２年　４月　公設警防団廃止、消防団となる。
昭和３０年　３月　町村合併により境町・采女村・剛志村・島村が廃止され境町になり、境消防団を設置する。
昭和３２年１１月　新田郡世良田村の一部を合併、７個分団を増設して、２３個分団となる。
昭和３６年　４月　消防団改編（分団統合）２３個分団を１８個分団に改編する。
昭和３７年　４月　消防団改編（分団統合）１８個分団を１４個分団に改編、定数２６５人となる。
昭和４２年　４月　消防団改編９分団９部制、定数２３４人に改編する。
昭和４６年　４月　組織再編により伊勢崎佐波消防組合境消防団となる。（９個分団（うち３部制１個分団、２部制３分団２３４人）
昭和４７年１０月　組織再編により、伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合境消防団となる。
昭和５５年　４月　消防団組織改編により部制を廃止、９分団９部制から１４分団となる。定数２３４人となる。
昭和６０年　４月　消防団が町に帰属、境町消防団となる。
平成　２年　４月　消防団条例の改正により、副団長３人、団員定数２１９人となる。

２．市町村合併後

平成１７年　１月　市町村合併に伴い、伊勢崎市消防団（定数３２０人）が伊勢崎市伊勢崎消防団に、赤堀町消防団（定数１０４人）が伊勢崎市赤堀消防団に、東村消防団（定数９１人）が伊勢崎市東消防団に、境町消防団（定数２１９人）が、伊勢崎市境消防団に改称する。

１月　玉村町と消防団相互応援協定を締結する。

３月　太田市と消防相互応援協定を締結する。

平成１８年　２月　前橋市及び桐生市と消防団相互応援協定を締結する。

３月　みどり市と消防団相互応援協定を締結する。

１２月　伊勢崎市伊勢崎消防団第１の２分団及び第１７分団に消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型を更新し配備する。

平成１９年　４月　消防団の一元化と組織の改編に伴い、４消防団を統合し伊勢崎市消防団（１本部５方面隊、定数７３４人）を配置する。

４月　初代消防団長に吉岡伸也氏が就任する。

１２月　伊勢崎第１方面隊第４分団及び伊勢崎第２方面隊第１６分団に消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型を更新し配備する。

平成２０年　２月　伊勢崎第１方面隊第１の１分団詰所を赤石地区整備事業に伴い、曲輪町２８番２３号から曲輪町２７番７号に新築移転する。

４月　第２代消防団長に小堀和行氏が就任する。

４月　深谷市及び本庄市と消防団相互応援協定を締結する。

１２月　伊勢崎第１方面隊９の１分団詰所を北関東自動車道波志江スマートインター設置に伴い、波志江町２５７４番地から波志江町２６３８番地２に新築移転する。

平成２１年　１月　伊勢崎第１方面隊第１１分団及び伊勢崎第２方面隊第２の１分団に消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型を更新し配備する。

４月　組織の改編により団本部員の副方面隊長の階級を副団長から分団長に改め、副団長階級を１６人から５人、分団長階級を４５人から５６人とする。併せて、伊勢崎第１方面隊及び伊勢崎第２方面隊から伊勢崎を削除し、それぞれ第１方面隊、第２方面隊に改称する。

４月　第３代消防団長に矢内昌春氏が就任する。

５月　消防庁長官表彰を受章する。

７月　組織の改編により、部長階級を廃止し定数を７３５人とする。

１２月　第２方面隊第２の２分団及び第１８分団に消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型を更新し配備する。

平成２２年　３月　境方面隊第１分団に消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型（９００リットル水槽付）を更新し配備する。（経済危機対策臨時交付金事業）

４月　第４代消防団長に齋藤本目氏が就任する。

４月　伊勢崎市消防団の災害対応車として、境消防署配備の普通ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型９００リットル水槽付）を配置換えし、車両運用の効率化を図るため、消防本部配備の防火号を伊勢崎消防署に、東方面隊本部配備の水防車を東消防署に、境方面隊本部配備の水防車を境消防署に配置換えをする。

平成２３年　１月　境方面隊第２分団及び第８分団に消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型を更新し配備する。

４月　第５代消防団長に矢内豊氏が就任する。

５月　群馬県知事総合表彰を受章する。

平成２４年　１月　東方面隊第３分団及び境方面隊第１４分団に消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型を更新し配備する。

平成２５年　２月　第２方面隊第８分団に消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型、赤堀方面隊第１分団に消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型（９００リットル水槽付）を更新し配備する。

４月　伊勢崎市消防団の組織等に関する規則の一部改正を行い、副団長と方面隊長の兼務を解き、副団長及び方面隊長を専任とする。また、団本部を１７名から１８名に増員する。

平成２６年　２月　第１方面隊第１２分団に消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型、境方面隊第１１分団に消防ポンプ自動車水Ⅰ－Ａ型（１，５００リットル水槽付）を更新し配備する。

１１月　境消防署に総務省消防庁より借受した救助資機材搭載型消防ポンプ自動車を、伊勢崎市消防団の災害対応車として更新し配備する。

平成２７年　２月　第１方面隊第１の１分団及び第１０分団に消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型を更新し配備する。

平成２８年　２月　東方面隊第４分団及び境方面隊第１３分団に消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型を更新し配備する。

平成２９年　２月　第２方面隊第１３分団及び境方面隊第５分団に消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型を更新し配備する。

３月　日本消防協会定例表彰を受章する。

４月　伊勢崎市消防団の組織等に関する規則の一部改正を行い、赤堀方面隊本部の副方面隊長職を２人から１人とし、団本部の定数が１８人から１７人に減員する。

平成３０年　２月　第１方面隊第５分団及び赤堀方面隊第６分団に消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型を更新し配備する。

４月　第６代消防団長に諏訪耕平氏が就任する。

平成３１年　２月　第２方面隊第６分団及び第１４分団に消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型を更新し配備する。

令和　２年　２月　第１方面隊第３分団及び境方面隊第１０分団に消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型（普通免許対応）を更新し配備する。

４月　伊勢崎市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正を行い、機能別消防団員制度を導入する。

１０月　救助活動用資機材（エンジンカッター、チェーンソー、油圧切断機）を第１方面隊、赤堀方面隊及び東方面隊に各１台配備する。

１２月　第１方面隊第９の１分団及び東方面隊第２分団に消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型（普通免許対応）を更新し配備する。

１２月　第１方面隊第１１分団詰所の老朽化に伴い、東上之宮町３２７から東上之宮町４３９－２に新築移転する。

令和　３年　２月　水災活動用資機材として、ボートを第１、第２両方面隊で１艇、境方面隊に１艇配備する。また、排水ポンプを第１、第２両方面隊で１台、境方面隊で１台配備する。

３月　総務大臣感謝状を受領する。

令和　４年　１月　第１方面隊、赤堀方面隊、東方面隊及び境方面隊に方面隊本部車を更新し配備する。

１月　赤堀方面隊第４分団詰所を老朽化に伴い、新築する。

４月　第７代消防団長に金井健一氏が就任する。

伊勢崎市消防団組織表

（令和4年4月1日現在）

名称		所在地	区域	団員配置						
				団長	副団長	分団長	副分団長	班長	団員	計
	団本部	今泉町二丁目８９５ （消防本部総務課内）	伊勢崎市管内一円	1	8	8				17
第1方面隊	方面隊本部	今泉町二丁目８９５ （伊勢崎消防署内）	第１方面隊管内一円		隊長 （1）	副隊長 （2）				(3)
	１の１分団	曲輪町２７－７	曲輪町一区・二区・三区・大手町一区・二区・三区・四区・平和町一区・二区・三区・若葉町一区			1	1	2	11	15
	１の２分団	柳原町７０－１	喜多町区・宗高町区・柳原町区 寿町区・華蔵寺町区・末広町区			1	1	2	11	15
	３分団	宮前町１６１	昭和町区・宮前町区 東本町区・下植木町区			1	1	2	11	15
	４分団	上植木本町２３０９－１１	三和町曙区・三和町堤区・三和町書上区・本関町区・鹿島町植木区・鹿島町中下区・上植木本町区			1	1	2	11	15
	５分団	上諏訪町１５８８	豊城町区・上諏訪町区・日乃出町下諏訪町区・日乃出町神谷区			1	1	2	11	15
	９の１分団	波志江町２６３８－２	波志江町一丁目区・波志江町二丁目区・波志江町三丁目区			1	1	2	11	15
	９の２分団	安堀町２６４	安堀町区・太田町区			1	1	2	11	15
	１０分団	宮子町１１７０－６	稲荷町区・宮子町区			1	1	2	11	15
	１１分団	東上之宮町４３９－２	田中町区・上之宮町区・宮古町区			1	1	2	11	15
	１２分団	連取町３３３１－１	連取本町区・連取元町区 連取町区・田中島町区			1	1	2	11	15
第2方面隊	方面隊本部	今泉町二丁目８９５ （伊勢崎消防署内）	第２方面隊管内一円		隊長 （1）	副隊長 （2）				(3)
	２の１分団	三光町７－５０	本町一区・三光町区・若葉町二区			1	1	2	11	15
	２の２分団	中央町２４－１０	本町二区・中央町一区・二区・三区・緑町区			1	1	2	11	15
	６分団	今泉町一丁目１２３３－１	上泉町区・八坂町区 今泉町一丁目区・今泉町二丁目区			1	1	2	11	15
	７分団	茂呂町二丁目３３１８－５	北千木町区・南千木町区 茂呂町一丁目区・茂呂町二丁目区			1	1	2	11	15
	８分団	茂呂南町４４７９	美茂呂町区・ひろせ町区 茂呂南町区・新栄町区			1	1	2	11	15
	１３分団	山王町３９３－６	今井町区・山王町区			1	1	2	11	15
	１４分団	柴町６２９－３	韮塚町区・阿弥大寺町区・柴町区			1	1	2	11	15
	１５分団	福島町２９－１	堀口町区・中町区・戸谷塚町区 福島町区・八斗島町区			1	1	2	11	15
	１６分団	富塚町２４１９－５	除ヶ町区・大正寺町区・富塚町区 下道寺町区			1	1	2	11	15
	１７分団	馬見塚町１０４６	馬見塚天神町区・馬見塚三ツ橋町区・馬見塚中町区・馬見塚本町区・馬見塚渕町区・馬見塚清水町区・リバータウン広瀬区・羽黒町区			1	1	2	11	15
	１８分団	下蓮町１８－６	長沼本郷町区・長沼町区・上蓮町区・下蓮町区・国領町区・飯島町区			1	1	2	11	15

名称		所在地	区域	団員配置						
				団長	副団長	分団長	副分団長	班長	団員	計
赤堀方面隊	方面隊本部	西久保町二丁目３４１－３（赤堀消防署内）	赤堀方面隊管内一円		隊長（1）	副隊長(1)				(2)
	１分団	西久保町一丁目５５－１	西久保町一丁目区・西久保町二丁目区・曲沢町区・赤堀今井町一丁目区・赤堀今井町二丁目区			1	1	3	15	20
	２分団	赤堀鹿島町５２３－２	赤堀鹿島町区・間野谷町区			1	1	2	11	15
	３分団	香林町二丁目１２９５－８	香林町一丁目区・香林町二丁目区			1	1	2	11	15
	４分団	西野町４９５	野町区・磯町区・西野町区			1	1	2	11	15
	５分団	下触町９９９－１	下触町区・五目牛町区			1	1	2	11	15
	６分団	市場町二丁目３６０	西久保町三丁目区・堀下町区 市場町一丁目区・市場町二丁目区			1	1	3	15	20
東方面隊	方面隊本部	東小保方町３２３８（東消防署内）	東方面隊管内一円		隊長（1）	副隊長(1)				(2)
	１分団	東町２５９７－２	小泉町区・東町区・八寸町区 西小保方町区			1	1	3	17	22
	２分団	東小保方町３３３９－１	下代区・平井町区・下谷区・下区 新町区・三室町区			1	1	3	17	22
	３分団	田部井町一丁目１４３３－１	田部井上区・田部井下区・向原区 上田町区			1	1	3	17	22
	４分団	国定町一丁目１２５０－３２	東国定上区・東国定下区 西国定上区・西国定下区			1	1	3	17	22
境方面隊	方面隊本部	境萩原１７５３（境消防署内）	境方面隊管内一円		隊長（1）	副隊長(2)				(3)
	１分団	境東２７９	境東町区・諏訪町区・元町区 南町区・境仲町区・上町区 萩原町区・清水町区・美原区			1	1	3	15	20
	２分団	境伊与久２５３７－１	伊与久一区・二区・三区			1	1	2	11	15
	３分団	境木島４２４－６	百々東区・百々区・木島区			1	1	2	11	15
	４分団	境上渕名１１４３－１	上渕名区			1	1	2	11	15
	５分団	境下渕名１８５７－８	下渕名六区・下渕名七区			1	1	2	11	15
	６分団	境東新井４５２－１	東新井区			1	1	2	11	15
	７分団	境下武士４６０－１	上武士区・下武士西区・下武士東区			1	1	2	11	15
	８分団	境保泉８８０－２	保泉区・保泉一丁目区			1	1	2	11	15
	９分団	境小此木４６３－４	小此木区			1	1	2	11	15
	１０分団	境島村４３－１	中島区・北向区・西島前河原区			1	1	2	11	15
	１１分団	境島村２５９４－１	新地区・新野新田区・立作区			1	1	2	11	15
	１２分団	境平塚１２２１－５	平塚区・南米岡区・北米岡区			1	1	2	11	15
	１３分団	境三ツ木２３９－９	境新栄区・栄町区・女塚区・三ツ木区			1	1	2	11	15
	１４分団	境上矢島９０５－１	西今井区・上矢島区			1	1	2	11	15
合計				1	8	53	45	97	531	735

※　表中の（　）は兼務者を示す。

※　表中の隊長は方面隊長、副隊長は副方面隊長を示す。

※　機能別消防団員は、本部又は方面隊本部若しくは分団に所属し、条例定数（７３５人）の範囲内とする。

伊勢崎市消防団車両一覧表

（令和4年4月1日現在）

所属	車両名	メーカー	登録番号	登録年月日	ポンプ			原動機		備考
					製作所	型式	級別	燃料	排気量	
団本部	団本部車	ニッサン	800 あ 2378	R3.12.9				ガソリン	650	第１・第２方面隊と兼用
	団本部２号車	トヨタ	800 せ 8886	H31.1.25				ガソリン	2,690	第１・第２方面隊と兼用
	災害対応車	いすゞ	800 せ 6001	H26.11.27	モリタ	二段バランスタービン	Ａ－２	軽油	2,990	ＣＤ－Ⅰ型（救助資機材搭載）
第1方面隊	１の１分団	トヨタ	800 せ 6119	H27.2.5	〃	〃	〃	〃	4,000	ＣＤ－Ⅰ型（可搬Ｃ－１積載）
	１の２分団	日野	830 た 1102	H18.12.7	〃	〃	〃	〃	〃	ＣＤ－Ⅰ型
	３分団	トヨタ	800 せ 9551	R2.1.21	〃	〃	〃	〃	2,980	ＣＤ－Ⅰ型（可搬Ｃ－１積載）（普通免許対応）
	４分団	日野	800 す 9801	H19.12.18	〃	〃	〃	〃	4,000	ＣＤ－Ⅰ型
	５分団	トヨタ	800 せ 8190	H30.1.19	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	９の１分団	トヨタ	800 そ 187	R2.11.19	〃	〃	〃	〃	2,980	ＣＤ－Ⅰ型（普通免許対応）
	９の２分団	ニッサン	800 さ 1696	H11.11.24	〃	〃	〃	〃	4,000	ＣＤ－Ⅰ型（可搬Ｃ－１積載）
	１０分団	トヨタ	800 せ 6120	H27.2.5	〃	〃	〃	〃	〃	ＣＤ－Ⅰ型
	１１分団	トヨタ	800 せ 768	H20.11.19	〃	〃	〃	〃	〃	ＣＤ－Ⅰ型（可搬Ｃ－１積載）
	１２分団	トヨタ	800 せ 5322	H26.2.4	〃	〃	〃	〃	〃	ＣＤ－Ⅰ型
第2方面隊	２の１分団	トヨタ	800 せ 767	H20.11.19	〃	〃	〃	〃	〃	ＣＤ－Ⅰ型（可搬Ｃ－１積載）
	２の２分団	トヨタ	800 せ 1723	H21.11.16	〃	〃	〃	〃	〃	ＣＤ－Ⅰ型
	６分団	トヨタ	800 せ 8916	H31.2.13	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	７分団	いすゞ	88 ね 143	H10.11.30	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	８分団	トヨタ	800 せ 4990	H25.2.6	〃	〃	〃	〃	〃	ＣＤ－Ⅰ型（可搬Ｃ－１積載）
	１３分団	トヨタ	800 せ 7510	H29.1.12	〃	〃	〃	〃	〃	ＣＤ－Ⅰ型
	１４分団	トヨタ	800 せ 8915	H31.2.13	〃	〃	〃	〃	〃	ＣＤ－Ⅰ型（可搬Ｃ－１積載）
	１５分団	いすゞ	88 ね 144	H10.11.30	〃	〃	〃	〃	〃	ＣＤ－Ⅰ型
	１６分団	日野	800 す 9802	H19.12.18	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	１７分団	日野	830 そ 1017	H18.12.7	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	１８分団	トヨタ	800 せ 1722	H21.11.17	〃	〃	〃	〃	〃	ＣＤ－Ⅰ型（可搬Ｃ－１積載）
赤堀方面隊	方面隊本部車	ニッサン	880 あ 2377	R3.12.9				ガソリン	650	
	１分団	トヨタ	800 せ 4491	H25.2.6	モリタ	二段バランスタービン	Ａ－２	軽油	4,000	ＣＤ－Ⅰ型（900ℓ水槽付）
	２分団	いすゞ	88 ね 897	H11.3.8	〃	〃	〃	〃	4,570	ＣＤ－Ⅰ型
	３分団	いすゞ	800 さ 2207	H12.1.31	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	４分団	いすゞ	88 ぬ 6896	H9.10.13	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	５分団	いすゞ	88 ぬ 6897	H9.10.13	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	６分団	トヨタ	800 せ 8191	H30.1.19	〃	〃	〃	〃	4,000	〃

所属	車両名	メーカー	登録番号	登録年月日	ポンプ			原動機		備考
					製作所	型式	級別	燃料	排気量	
東方面隊	方面隊本部車	ニッサン	880 あ 2380	R3.12.9				ガソリン	650	
	１分団	ミツビシ	800 す 2923	H15.12.5	モリタ	二段バランスタービン	Ａ－２	軽油	8,200	水Ⅱ型 (2,000ℓ水槽付)
	２分団	トヨタ	800 そ 188	R2.11.19	〃	〃	〃	〃	2,980	ＣＤ－Ⅰ型 (普通免許対応)
	３分団	トヨタ	800 せ 3619	H24.1.25	〃	〃	〃	〃	4,400	ＣＤ－Ⅰ型
	４分団	トヨタ	800 せ 6841	H28.1.26	〃	〃	〃	〃	4,000	〃
境方面隊	方面隊本部車	ニッサン	880 あ 2379	R3.12.9				ガソリン	650	
	１分団	トヨタ	800 せ 2081	H22.3.16	モリタ	二段バランスタービン	Ａ－２	軽油	4,000	ＣＤ－Ⅰ型 (900ℓ水槽付)
	２分団	トヨタ	800 せ 2762	H23.1.11	〃	〃	〃	〃	〃	ＣＤ－Ⅰ型
	３分団	いすゞ	800 さ 1271	H11.10.4	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	４分団	いすゞ	800 さ 7620	H13.9.28	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	５分団	トヨタ	800 せ 7511	H29.1.12	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	６分団	いすゞ	88 ぬ 6816	H9.9.29	〃	〃	〃	〃	4,570	〃
	７分団	いすゞ	88 ぬ 6817	H9.9.29	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	８分団	トヨタ	800 せ 2763	H23.1.11	〃	〃	〃	〃	4,000	〃
	９分団	いすゞ	800 さ 1272	H11.10.4	〃	〃	〃	〃	4,570	〃
	１０分団	トヨタ	800 せ 9552	R2.1.21	〃	〃	〃	〃	2,980	ＣＤ－Ⅰ型 (普通免許対応)
	１１分団	日野	800 せ 5327	H26.2.5	〃	〃	〃	〃	6,400	水Ⅰ－Ａ型 (1,500ℓ水槽付) (可搬Ｃ－１積載)
	１２分団	いすゞ	800 さ 7621	H13.9.28	〃	〃	〃	〃	4,570	ＣＤ－Ⅰ型
	１３分団	トヨタ	800 せ 6843	H28.1.26	〃	〃	〃	〃	4,000	ＣＤ－Ⅰ型 (可搬Ｃ－１積載)
	１４分団	トヨタ	800 せ 3622	H24.1.25	〃	〃	〃	〃	4,400	ＣＤ－Ⅰ型

伊勢崎市消防団ポンプ車等の配備状況及び現有台数

（令和4年4月1日現在）

水槽付ポンプ車			普通ポンプ車	方面隊本部車	合計	小型動力ポンプ Ｃ－１級
水－Ⅱ型	水－Ⅰ型	ＣＤ－Ⅰ型	ＣＤ－Ⅰ型			
Ａ－２級			Ａ－２級			
1	1	2	42	5	51	10

伊勢崎市消防団無線配備一覧表

（令和4年4月1日現在）

所属	消防救急デジタル携帯無線機	デジタル簡易無線機	消防救急デジタル受令機
正副団長		4	4
第１方面隊	2	23（本部3、各分団2）	63（本部3、各分団6）
第２方面隊	2	25（本部3、各分団2）	69（本部3、各分団6）
赤堀方面隊	2	14（本部2、各分団2）	38（本部2、各分団6）
東方面隊	2	10（本部2、各分団2）	26（本部2、各分団6）
境方面隊	2	31（本部3、各分団2）	87（本部3、各分団6）
合計	10	107	287

伊勢崎市消防団資機材配備一覧表

（令和4年4月1日現在）

所　　属	エンジンカッター	チェンソー	油圧救助資機材	排水ポンプ	救助用ボート
第1方面隊	1	1	1	1	1
第2方面隊	1	1	1		
赤堀方面隊	1	1	1		
東 方 面 隊	1	1	1	1	
境 方 面 隊	1	1	1	2	2
合　　計	5	5	5	4	3

１. 伊勢崎市消防団員年齢別状況

（令和4年4月1日現在）

18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳
0	1	9	10	0	9	6	10	7	10
28歳	29歳	30歳	31歳	32歳	33歳	34歳	35歳	36歳	37歳
13	13	12	14	21	25	15	31	18	38
38歳	39歳	40歳	41歳	42歳	43歳	44歳	45歳	46歳	47歳
32	30	36	46	21	30	33	34	18	31
48歳	49歳	50歳	51歳	52歳	53歳	54歳	55歳	56歳	57歳
16	22	14	14	13	7	6	8	3	3
58歳	59歳	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳	66歳	67歳以上
2	3	2	4	1	0	1	1	0	2

平均年齢	うち女性	合計
39.9	33.9	695

２. 伊勢崎市消防団員階級別在団年数状況

（令和4年4月1日現在）

年数／階級別	1年未満	1年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上20年未満	20年以上25年未満	25年以上30年未満	30年以上	合計
団　　長							1		1
副 団 長						4	1	3	8
分 団 長			11	14	9	8	10	1	53
副分団長		1	15	10	7	11	1		45
班　　長		8	32	22	23	11	1		97
団　　員	20	117	117	119	77	25	11	5	491
合　　計	20	126	175	165	116	59	25	9	695

３. 伊勢崎市消防団員の職業構成別状況

（令和4年4月1日現在）

農業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	卸売・小売・飲食店	サービス業	公務員	その他	合計
56	93	190	15	57	99	42	143	695

４. 伊勢崎市消防団員の就業形態別状況

（令和4年4月1日現在）

被用者	自営業	家族従業者	その他		合計
				うち学生	
472	109	60	54	12	695

５. 伊勢崎市消防団出動状況

（令和3年中）

区分	火災	演習訓練	特別警戒	警防調査	その他	合計
出動回数	273	1,285	152	52	1,046	2,808
出動延人数	1,237	5,502	1,150	261	3,475	11,625

６. 伊勢崎市消防団充足率

（令和4年4月1日現在）

定数	実員	充足率
735人	695人	94.6%

消防関係団体

お出かけは　マスク戸締り　火の用心　　（令和４年度　全国統一防火標語）

一連の　確かな所作で　無災害　　（令和４年度　危険物安全週間推進標語）

消 防 関 係 団 体 の 現 況

（令和4年4月1日現在）

名　　称	結成年月日	会　員　数	事　務　局
群馬県消防協会伊勢崎佐波支部 支部長　　金　井　健　一 （伊勢崎市消防団長）	S47.10. 1	1,103	消防本部総務課

（令和4年4月1日現在）

名　　称	結成年月日	会　員　数	事　務　局
伊勢崎地区危険物安全協会 会　長　　古　郡　　登	H30. 4. 1	183	消防本部予防課

（令和4年4月1日現在）

名　　称	結成年月日	会　員　数	事　務　局
伊勢崎佐波防火協会 会　長　　城　田　孝　雄	H 9. 4. 1	528	消防本部予防課

（令和4年4月1日現在）

名　　称	結成年月日	会　員　数	事　務　局
伊勢崎佐波少年女性防火委員会 会　長　　秋　山　晴　彦 （消防長）	S55.11.20	11	消防本部予防課

（委員構成：消防関係2名、消防協力団体8名、教育関係1名）

（令和4年4月1日現在）

名　　称	結成年月日	会　員　数	事　務　局
伊勢崎佐波救急医療連絡協議会 会　長　　大　澤　　誠 （伊勢崎佐波医師会長）	H10. 9.17	20	消防本部救急課

（委員構成：伊勢崎佐波医師会2名、告示7病院14名、伊勢崎市健康推進部長、消防関係3名）

女性防火クラブの現況

（令和4年4月1日現在）

名称	本部・支部名	班名	会員数(実数)
伊勢崎市女性防火クラブ 会　長　　原　田　初　枝	本　　部		(6)
	伊勢崎第1支部	北班・南班・殖蓮班 ・茂呂班	70
	伊勢崎第2支部	三郷班・宮郷班 ・名和班・豊受班	87
	赤　堀　支　部	北班・南班	50
結成年月日 平成17年4月1日 事務局 　消防本部総務課	東　　支　　部	北班・南班	50
	境　　支　　部	北班・中央班・南班	73
	合計		330

※表中の（ ）は兼務者を示す

（令和4年4月1日現在）

名称	結成年月日	会員数	事務局
玉村町女性防火クラブ 会　長　　岩丸　多美恵	S50. 3.28	145	玉村町役場

少年消防クラブの現況

（令和4年4月1日現在）

名称	結成年月日	会員数
西国定地区少年消防クラブ 指導者　　金　澤　伸　矢	S55.11.20	52
平井地区少年消防クラブ 指導者　　佐　藤　しのぶ	S58. 3.21	32
境上矢島地区少年消防クラブ 指導者　　藤　村　辰　雄	S56. 4. 1	20